

平成16年 (2004年)

久米島町議会会議録

第3回臨時会 (8月26日)	1日間
第4回定例会 (9月16日～30日)	15日間

久米島町議会

目 次

目 次	I
平成16年第3回久米島町議会臨時会会期日程	IV
平成16年第4回久米島町議会定例会会期日程	V
平成16年第4回定例会一般質問通告一覧表	VI

〈平成16年第3回久米島町議会臨時会〉

第1号（8月26日）

出席議員	1
議事日程第1号	2
開会	3
日程第1 会議録署名議員の指名	3
日程第2 会期の決定	3
日程第3 発議第7号 民間地域への米軍ヘリコプター墜落事故に関する意見書	3
閉会	5

〈平成16年第4回久米島町議会定例会〉

（1日目）

第1号（9月16日）

出席議員	7
議事日程第1号	8
開会	9
日程第1 会議録署名議員の指名	9
日程第2 会期の決定	9
日程第3 議長諸般の報告	9
日程第4 一般質問	9
散会	58

平成16年 第4回久米島町議会定例会

（2日目）

第2号（9月17日）

出席議員	61
議事日程第2号	62
開会	63
日程第1 会議録署名議員の指名	63

日程第 2	承認第 9 号	専決処分の承認について（平成16年度久米島町一般会計補正予算（第 1 号）について	63
日程第 3	議案第 43 号	平成16年度久米島町一般会計補正予算（第 2 号）について	65
日程第 4	議案第 45 号	平成16年度久米島町下水道事業特別会計補正予算（第 2 号）について	76
日程第 5	議案第 46 号	仲里漁港漁船保全修理施設建築工事請負契約について	77
散会			79

〈平成16年第 4 回久米島町議会定例会〉

（ 3 日 目 ）

第 3 号（ 9 月 22 日 ）

出席議員			81
議事日程第 3 号			82
開会			83
日程第 1	会議録署名議員の指名		83
日程第 2	議案第 44 号	平成16年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）について	83
日程第 3	議案第 47 号	基盤整備促進事業（基幹水利施設補修工事）計画について	84
日程第 4	認定第 1 号	平成15年度久米島町一般会計歳入歳出決算認定について	86
日程第 5	認定第 2 号	平成15年度久米島町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	93
日程第 6	認定第 3 号	平成15年度久米島町老人保健特別会計歳入歳出決算認定について	97
日程第 7	認定第 4 号	平成15年度久米島町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	98
日程第 8	認定第 5 号	平成15年度久米島町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	100
日程第 9	認定第 6 号	平成15年度久米島町水道事業会計歳入歳出決算認定について	101
日程第 10	報告第 4 号	平成15年度沖縄県町村土地開発公社事業報告及び決算報告について	103
散会			104

〈平成16年第 4 回久米島町議会定例会〉

（ 4 日 目 ）

第 4 号（ 9 月 27 日 ）

出席議員			107
------	--	--	-----

議事日程第4号	108
開会	109
日程第1 会議録署名議員の指名	109
日程第2 会期の決定	109
散会	109

〈平成16年第4回久米島町議会定例会〉

(5日目)

第5号(9月30日)

出席議員	111
議事日程第5号	112
開会	113
日程第1 会議録署名議員の指名	113
日程第2 認定第1号 平成15年度久米島町一般会計歳入・歳出決算認定について	113
日程第3 認定第2号 平成15年度久米島町国民健康保険特別会計歳入・歳出決算認定について	113
日程第4 認定第3号 平成15年度久米島町老人保健特別会計歳入・歳出決算認定について	113
日程第5 認定第4号 平成15年度久米島町下水道事業特別会計歳入・歳出決算認定について	113
日程第6 認定第5号 平成15年度久米島町農業集落排水事業特別会計歳入・歳出決算認定について	113
日程第7 認定第6号 平成15年度久米島町水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	113
日程第8 議案第48号 第一次久米島町総合計画(基本構想)について	119
日程第9 議案第49号 儀間漁港海岸整備工事請負契約について	124
日程第10 議案第50号 兼城農村総合施設建築工事請負契約について	127
日程第11 議案第51号 議決内容の一部変更について(町道奥武島1号線1号橋(P4橋脚)工事請負契約)	130
日程第12 議案第52号 議決内容の一部変更について(町道奥武島1号線1号橋(A1、P2橋脚)工事請負契約)	131
日程第13 議案第53号 平成16年度久米島町一般会計補正予算(第3号)について	132
日程第14 報告第5号 平成15年度株式会社オーランドの経営状況報告について	134
日程第15 発議第8号 地域高規格道路・南部東道路の早期実現に関する要請決議	136
日程第16 発議第9号 農林水産関係補助金廃止に反対する意見書	137
閉会	139

平成16年 第3回久米島町議会臨時会 会期日程

開 会 平成16年 8月26日 (木)
 閉 会 平成16年 8月26日 (木) 会期 1日間

月 日	曜日	会議区分	開議時刻	摘 要
8月26日	木	本会議	午前10時	<ul style="list-style-type: none"> ○開会 ○会議録署名議員の指名 ○会期の決定 ○発議第7号 ○閉会

平成16年 第4回久米島町議会定例会 会期日程

開 会 平成16年 9月16日 (木)
 閉 会 平成16年 9月30日 (木) 会期15日間

月 日	曜日	会議別	開議時刻	摘 要
9月16日	木	本会議	午前10時	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開会 ○ 会議録署名議員の指名 ○ 会期の決定 ○ 議長諸般の報告 ○ 一般質問 ○ 散会
9月17日	金	本会議	午前10時	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開議 ○ 会議録署名議員の指名 ○ 一般質問 ○ 議案審議 (即決案件) 議案第46号 ○ 散会
9月18日	土	休 会		
9月19日	日	休 会		
9月20日	月	休 会		
9月21日	火	休 会		
9月22日	水	本会議	午前10時	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開議 ○ 会議録署名議員の指名 ○ 承認第9号 ○ 議案審議 (即決案件) 議案第43号 議案第44号 議案第45号 議案第47号 ○ 議案審議 (委員会付託) 認定第1号 認定第2号 認定第3号 認定第4号 認定第5号 認定第6号 ○ 散会
9月23日	木	休 会		
9月24日	金	委員会	午前10時	決算審査特別委員会
9月25日	土	休 会		
9月26日	日	休 会		
9月27日	月	委員会	午前10時	決算審査特別委員会
9月28日	火	委員会	午前10時	決算審査特別委員会
9月29日	水	休 会	予 備 日	
9月30日	木	本会議	午前10時	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開議 ○ 会議録署名議員の指名 ○ 認定 認定第1号 認定第2号 認定第3号 認定第4号 認定第5号 認定第6号 ○ 議案審議 (即決案件) 議案第48号 ○ 報告第4号 ○ 発議第8号 ○ 閉会

平成16年第4回定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	頁
1	内間久栄議員	1. 字久間地公民館前からカンジダム河口までの環境整備について	9p～12p
		2. 山城9号線の道路拡幅整備について	
2	本永朝辰議員	1. 旧不燃物処理場の跡利用について	12p～13p
3	崎村稔議員	1. ハイビスカスの島に	13p～17p
		2. 空港線路線バスについて	
4	幸地良雄議員	1. シルバー人材センター設立について	17p～20p
5	上里総功議員	1. ISOシステム導入について	20p～22p
6	大田哲也議員	1. 久米島町行財政改革の進捗状況と今後の取り組みについて	22p～23p
7	仲村昌慧議員	1. 花の名所づくりについて	23p～28p
8	平良朝幸議員	1. 行政改革について	28p～33p
		2. 農業委員会について	
9	平田勉議員	1. グループホームの建設について	33p～40p
		2. 真泊ターミナルの利活用について	
		3. バーデハウスの町民の活用について	
10	宮田勇議員	1. 町行政改革について	40p～44p
		2. 歌碑の建立について	
11	上江洲盛元議員	1. 町立慰霊塔の建設について	44p～52p
		2. 道路行政について	
		3. 内閣府沖縄05年度概算要求について	
		4. 県道ンマウイーの電線の地中化について	
		5. 茂木長官の久米島視察目的について	
12	仲原健議員	1. 白瀬二号ダム上方の公園について	52p～58p
		2. 上阿嘉六号線の水兼道路について	

平成 1 6 年 (2 0 0 4 年)

第 3 回 久 米 島 町 議 会 臨 時 会

1 日 目

8 月 2 6 日

平成16年 第3回久米島町議会臨時会

会議録 第1号

招集年月日	平成16年8月26日 (木曜日)			
招集の場所	久米島町議会議事堂			
開閉会日時 及び宣言	開会	8月26日 午前10時04分	議長 仲地宗市	
	閉会	8月26日 午前10時13分	議長 仲地宗市	
応招議員 出席議員 出席17名 欠席1名	議席番号	氏名	議席番号	氏名
	1番	山城 宗太郎	10番	上江洲 盛元
	2番	翁長 英夫	11番	内間 久栄
	3番	宮里 洋一	12番	大田 哲也
	4番	仲村 昌慧	13番	真栄平 勝政
	5番	宮田 勇	14番	平良 朝幸
	6番	上里 総功	15番	仲原 健
	7番	崎村 稔	16番	本永 朝辰
			17番	國吉 弘志
	9番	平田 勉	18番	仲地 宗市
(不応招) 欠席議員				
	8番	幸地 良雄		
会議途中退席議員	番		番	
開議後出席議員	番		番	
公務欠席議員	番		番	
	番			
会議録署名議員	7番	崎村 稔	9番	平田 勉
職務のため会議に 出席した者	職名	氏名	職名	氏名
	事務局長	仲宗根 秀吉	係長	日高 清有
			書記	上原 あゆみ

(午前 10時04分 開議)

○ 議長 仲地宗市

おはようございます。本日の会議を開きます。

ご報告します。8番幸地良雄議員から欠席届が出ております。また、盛長容子さんから議会傍聴の申出がありましたので、許可しました。

日程第1 会議録署名議員の指名

○ 議長 仲地宗市

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本臨時会の会議録署名議員は、会議規則第120条の規定によって、7番崎村稔議員、9番平田勉議員を指名します。

日程第2 会期の決定

○ 議長 仲地宗市

日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。

本臨時会の会期は、本日8月26日の1日限りにしたいと思います。

ご異議ありませんか。

(多数の「異議なし」の声あり)

○ 議長 仲地宗市

異議なしと認め、本日1日間に決定しました。

日程第3 民間地域への米軍ヘリコプター墜落事故に関する意見書

○ 議長 仲地宗市

日程第3、発議第7号、民間地域への米軍ヘリコプター墜落事故に関する意見書について。

提出者の説明を求めます。

10番上江洲盛元議員。

○ 10番 上江洲盛元議員

発議第7号

米軍ヘリコプター墜落事故に関する意見書

平成16年8月26日

久米島町議会議長 仲地宗市殿

提出者 久米島町議会議員 上江洲盛元

賛成者 久米島町議会議員 内間久栄

上記の議案を、別紙のとおり会議規則第14条の規定により提出します。

提案理由

別紙、意見書を実現するため本案を提出する。

米軍ヘリコプター墜落事故に関する意見書

平成16年8月13日の午後2時15分頃、普天間飛行場に隣接する宜野湾市の沖縄国際大学構内に、アメリカ海兵隊所属CH-53D型大型輸送ヘリコプター1機が墜落炎上し、乗員3人が負傷する事故が発生した。

絶対にあってはならない最悪な事故である。

墜落現場周辺は、小学校から大学までの数多くの教育機関をはじめ、病院、商店及び住宅が密集する民間地域となっており、一步誤れば県民多数の命さえ奪いかねない大惨事になるところであり、激しい憤りを覚えるものである。

今回の事故により、住民には負傷者が見られないものの、精神的な被害も大きく、現場では広範囲にわたって機体の一部や破片が飛び散り、民家の鉄製のドアを貫通したり、ガラスが割れるなど基地の存在そのものが安全でないことが証明された。

更に、日米地位協定を盾に、米軍による事

故現場への立ち入りが制限され、沖縄県警をはじめ、日本側の関係者が事故の検証さえ出来ないほど異常な状態が続いている。

そのようななか、県や県内各地の議会、各団体によるヘリの飛行停止を強く求められているが、またもや県民の切実な声を無視しての飛行再開である。

墜落した同型機が米軍自らが約束した「事故原因の究明」や「事故再発防止策」をとらずに「イラクでの米軍の作戦上」を口実にした飛行再開は、沖縄県民を愚弄するものであり言語道断である。

従って、このような米軍の行為を絶対許すことは出来ない。

よって、久米島町議会は、県民の生命と財産を守る立場から、今回の重大な事故に対し、米軍当局に厳重に抗議するとともに、下記事項について強く要請する。

記

1. 事故原因を徹底究明し、県民への公表を求める。
1. 被害者への謝罪と補償を強く要求する。
1. 市街地上空での航空機の飛行をただちに中止すること。
1. 日米地位協定の見直しの早期実現を求める。
1. 普天間基地の早期返還を求める。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成16年 8月26日

沖縄県島尻郡久米島町議会

提出先

内閣総理大臣 外務大臣 防衛庁長官
防衛施設庁長官 衆議院議長 参議院議長
長 外務省沖縄事務所長 那覇防衛施設

局長 沖縄県知事

○ 議長 仲地宗市

これで説明を終わります。

本案につきましては、質疑を省略したいと思います。

ご異議ありませんか。

(多数の「異議なし」の声あり)

○ 議長 仲地宗市

異議なしと認め、質疑を省略します。

これから討論を行います。

まず最初に、反対者の発言を許します。

○ 議長 仲地宗市

次に、賛成者の発言を許します。

進行してよろしいですか。

(「進行」の声あり)

○ 議長 仲地宗市

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

○ 議長 仲地宗市

これから発議第7号、民間地域への米軍ヘリコプター墜落事故に関する意見書を裁決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 仲地宗市

全員賛成です。従って、発議第7号、民間地域への米軍ヘリコプター墜落事故に関する意見書は採決されました。

○ 議長 仲地宗市

ここで、会議録署名議員のところで訂正をします。先ほど「8番平田勉議員」と指名しましたが、「9番平田勉議員」に訂正させていただきます。

○ 議長 仲地宗市

これで平成16年第3回久米島町議会臨時会
を閉会します。

(午前 10時13分)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

久米島町議会議長 仲地 宗市

署名議員（議席番号7番） 崎 村 稔

署名議員（議席番号9番） 平 田 勉

平成 1 6 年 (2 0 0 4 年)

第 4 回 久 米 島 町 議 会 定 例 会

1 日 目

9 月 1 6 日

平成16年 第4回久米島町議会定例会

会議録 第1号

招集年月日	平成16年9月16日 (木曜日)			
招集の場所	久米島町議会議事堂			
開閉会日時 及び宣言	開会	9月16日 午前10時00分	議長	仲地宗市
	散会	9月16日 午後4時30分	議長	仲地宗市
応招議員 出席議員 出席18名 欠席0名	議席番号	氏名	議席番号	氏名
	1番	山城 宗太郎	10番	上江洲 盛元
	2番	翁長 英夫	11番	内間 久栄
	3番	宮里 洋一	12番	大田 哲也
	4番	仲村 昌慧	13番	真栄平 勝政
	5番	宮田 勇	14番	平良 朝幸
	6番	上里 総功	15番	仲原 健
	7番	崎村 稔	16番	本永 朝辰
	8番	幸地 良雄	17番	國吉 弘志
	9番	平田 勉	18番	仲地 宗市
(不応招) 欠席議員				
会議途中退席議員	番		番	
開議後出席議員	番		番	
公務欠席議員	番		番	
	番			
会議録署名議員	10番	上江洲 盛元	11番	内間 久栄
職務のため会議に 出席した者	職名	氏名	職名	氏名
	事務局長	仲宗根 秀吉	係長	日高 清有
			書記	上原 あゆみ
地方自治法第121条により説明のため議場に出席した者の職氏名				
職名	氏名	職名	氏名	
町長	高里 久三	教育総務課長	太田 喜功	
助役	長井 聡	生涯学習課長	吉元 幸信	
収入役		文化課長	与座 勇	
教育長	喜久里 幸雄	住民課長	神里 勇	
総務課長	平田 光一	福祉課長	平良 進	
行政改革推進室長	仲村渠 一男	保健衛生課長	山城 英明	
企画財政課長	山城 保雄	水道課長	又吉 敏雄	
建設課長	神里 稔	税務課長	比嘉 眞	
商工観光課長	盛本 實	出納室長	伊良皆 眞秀	
農林水産課長	大田 治雄	空港課長	仲地 泰	
農業委員会事務局長	宮里 剛	消防長	幸地 猛	

平成16年 第4回久米島町議会定例会

議事日程〔第1号〕

平成16年9月16日(木)

午前10時00分 開会

日程	議案番号	件名	頁
第1		会議録署名議員の指名	9p
第2		会期の決定	9p
第3		議長諸般の報告	9p
第4		一般質問	9p
		1. 内間久栄議員	9p～12p
		2. 本永朝辰議員	12p～13p
		3. 崎村稔議員	13p～17p
		4. 幸地良雄議員	17p～20p
		5. 上里総功議員	20p～22p
		6. 大田哲也議員	22p～23p
		7. 仲村昌慧議員	23p～28p
		8. 平良朝幸議員	28p～33p
		9. 平田勉議員	33p～40p
		10. 宮田勇議員	40p～44p
		11. 上江洲盛元議員	44p～52p
12. 仲原健議員	52p～58p		
		散会	58p

(午前 10時00分 開議)

○ 議長 仲地宗市

おはようございます。ただいまから平成16年第4回久米島町議会定例会を開会します。

日程第1 会議録署名議員の指名

○ 議長 仲地宗市

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、10番上江洲盛元議員、11番内間久栄議員を指名します。

日程第2 会期の決定

○ 議長 仲地宗市

日程第2、会期の決定を議題とします。
お諮りします。

本定例会の会期は、本日9月16日から9月30日までの15日間にしたいと思います。

ご異議ありませんか。

(多数の「異議なし」の声あり)

○ 議長 仲地宗市

異議なしと認めます。従って、会期は本日9月16日から9月30日までの15日間に決定しました。

日程第3 議長諸般の報告

○ 議長 仲地宗市

日程第3、議長諸般の報告。

平成16年6月30日、久米島町議会定例会以降、私が出席しました会議等の概要をお手元に配布してありますので、ご覧になっていただきたいと思っております。

これで諸般の報告を終わります。

次に、地方自治法第235条の2第3項の規

定により、例月出納検査の結果報告をお手元にお配りしました。朗読は省略します。

日程第4 一般質問

○ 議長 仲地宗市

日程第4、ただいまから一般質問を行います。一般質問の発言時間は、会議規則第56条第1項の規定によって30分以内とします。また、質問の回数は一括質問を含め、質問事項ごとに3回まで行います。

順次発言を許します。

11番内間久栄議員。

(内間久栄議員登壇)

○ 11番 内間久栄議員

おはようございます。本定例会に一般質問を行いたいと思います。私は今回の質問は2点でございます。よろしくお願ひします。

1点目、字久間地公民館前からカンジダム河口までの環境整備について。カンジダムの整備により地域環境が美しく新たな景観ができ、久米島の観光地である五枝松が一段と美しくなり大変喜ばしい限りで、事業主体である県に感謝申し上げたいと思っております。そこで質問致しますが、字久間地公民館前からカンジダム河口までの環境整備が望まれるが、町長の所信をお伺ひします。

2番目に、山城9号線の道路拡幅整備について。山城9号線道路の拡幅整備について地域からの声がありますが、町長の所信についてお伺ひします。

(内間久栄議員降壇)

○ 議長 仲地宗市

高里久三町長。

(高里久三町長登壇)

○ 町長 高里久三

11番内間議員のご質問にお答えします。1点目、現地は上流に池があり、テレピア、コイなども生息しており、また、周辺は水の浄化作用のシュロガヤツリ等が生い茂っていき、その場所はクメジマボタルの生息地でもありますので、自然をそのまま残した方が良く考えております。

2点目、山城9号線につきましては、以前にも要望がありましたが、農道としての採択基準に合わないの、それで補助事業での整備は厳しいものがあります。現在、大型車両が通行できるように入口は拡幅してあります。現在、大型車両の通行も可能になっております。

(高里久三町長降壇)

○ 議長 仲地宗市

11番内間久栄議員。

○ 11番 内間久栄議員

字久間地公民館前からの環境整備については、新たに水の流れを抑制する意味からも今の方がいいのではないかということの答弁でございますが、地域に私達の畑がありましたのでよくわかりますけど、そこはツツジの花とかが咲いて非常にきれいなところでした。その時は稲作されておりましたので、そのへんのツツジはきちっと剪定されておりました、川から人間が行き帰りできるくらい整備されてましたが、今そこを見た場合、そこにマグサとかいろいろありまして、その間に二つ浅い井戸があるんですね、これはさくま河と久間地河ですが、そこは夏の乾燥した場合に字西銘あたりからその井戸を利用して水を汲んだとか、そういったゆかりの地でもございます。そういうことで、そこは聖地み

たいなところがございますので、ぜひその環境浄化をして整備していただきたいと思っております。ホタルも大切ではあるんですけど、やはり最低限度の環境整備はやるべきではないかと思っておりますので、ひとつ考えていただきたいと思っております。

○ 議長 仲地宗市

神里稔建設課長。

○ 建設課長 神里稔

ただいまの質問にお答え致します。そちらは現地を調査したら、きれいに池も作られていて、その浄化のためにコイも放されていたということで、けっこうコイもいたんですよ。水はそうとうきれいんですよ。そして、できたら部落の区長さんにも話をしたら、そこは先程議員からもありました聖所、要するに神川ということで、なるべく触らないでそのまま残した方がいいという意見がございまして、もし、浄化というのだったら、部落でもそれくらいの草刈りはやってもいいからという話もお聞きしているんですよ。できましたら、先程、町長から答弁がございましたように、せっかくクメジマボタルも生息するきれいな水もあるんですよ。泉からの。そういうことで、部落の方と相談しましたら、そのまま残した方がいいのではないかという話もありますので、もう一度相談したいと考えております。

○ 議長 仲地宗市

11番内間久栄議員。

○ 11番 内間久栄議員

私の考えとしては、その地域は、やっぱり五枝松は観光地でございますので、そのへんは一部埋立して、桜の木を植えるとか、そういった整備が必要ではないかと思っております。そ

して、ツツジも植栽していただいて、今、久米島のツツジはありますので、ぜひそのへんは、五枝松は観光客から見て、ああ、良かったという、非常にそういった一つの名所で、カンジダムを含めて、今後、カンジダム周辺に花を植えたり、桜を植えるところもあると思いますけど、それを含めて、今後検討していただきたいと思います。以上、この件については、今の考え方について、何らかのお答えができれば、桜を植えるとか、ツツジの植栽とかを考えていらっしゃるのか、お答えできればお願いしたいと思います。

○ 議長 仲地宗市

神里稔建設課長。

○ 建設課長 神里稔

今のカンジダム周辺につきましては、平成17年度より地域水環境整備事業という事業の導入は考えております。それはカンジダムの浄化と、それから上の方の棚田、それから今のところの水道からの水の浄化のためにも棚田等も整備しております。それから、周辺につきましては、今桜というお話もありましたけど、桜、あるいはサルスベリ等、樹種の選定はこれからでございますけど、そういう計画は今考えているところでございます。

○ 議長 仲地宗市

11番内間久栄議員。

○ 11番 内間久栄議員

この件は、ぜひそのように実現して、名実ともに美しいダムの自然環境整備をしていただきたいと思います。

次、山城9号線道路拡幅整備についてなんですけど、この道路は、聞きますと、ダムの管理道路だと聞いております。これは建設課長さんに聞いたら、全長が882mあって、今

現在の幅が4mですか。そして、私は今日も見たんですけど、今日と3日前にも1回見て確認したんですけど、上水道がありますけど、その間の道路が途中で管整備、管を敷設したためにその道路が非常に悪くなったかと思うんですけども、その間の道路が非常に悪いですね。それと排水溝が50cmのU字溝を使って、あちこち畑を耕したところで欠けたりして、非常に排水が機能していないという感じも致します。私は道路はそういった基幹的な道路ですね、小字の地域には基幹的な道路、5m以上の道路が縦横にあって、そこに道路を結びつけて、その地域の活性化が図られると思うんですけど、ぜひこういうところは、そういった機能を持っていますので、それが管理すべき、ダムを管理するための道路でございますので、ぜひ町道に格上げして、5m道路くらいの道路にして、ぜひそのように今後の計画に入れていただきたいと思いますが、どういった考えか、町長のお考えをお聞きしたいと思います。

○ 議長 仲地宗市

神里稔建設課長。

○ 建設課長 神里稔

今の山城9号線ですが、答弁が前後しますが、町道に格上げということでございますが、既に町道になっております。ですから、山城9号線という名称の町道でございます。

あと、勾配がきついということで、確かにそこは勾配がきつくて、道路構造令からいくと、12%、13%以上についてはコンクリート舗装しなさいということで、下のポンプ小屋から上のポンプ場の間はアスファルト舗装しております。

それから、U字溝が割れて水の機能をして

ないということですが、そうとう勾配があるものですから、けっこう流れているんですよ、実際は、大雨に。一部ゴミが詰まったりして、それを取り除けば可能になります。

それから、あとは、今、大型車輛が通っていく場合にも、交互ではなくて直列で行って戻って来るといふことと、観光バスについても、直接はもちろんすれ違えないけど支障はないと思う。それから、さとうきびについての大型車輛は、一応こちらの方で積んで、教会の方から回っていくということでありますので、将来的に交通量が相当増えてきたら、またその時に検討してまいりたいと考えております。

○ 議長 仲地宗市

11番内間久栄議員。

○ 11番 内間久栄議員

こういった狭い道路は、やはり今のU字溝は、先程も言ったんですけど、厚さが5cm、幅が15cm～20cmくらいだと思うんですけど、ぜひ蓋ができるような状態にして、車が自由に2台は、小さい軽自動車でもよろしいんですけど、自由に出入りできるような、交互になった場合に、今、ご承知のとおり、高齢化社会でございまして、年配の方々も車を持っています。大変上から来る方は、車がバックするにも大変難儀が伴いますので、それと事故を未然に防ぐためにも、ぜひ道路拡張できなければ排水路の整備をして、拡張して、そこに蓋をかけて、蓋の上からも車が一時停止できるような状態にすれば、車が行き来し、機能性の発揮できる道路になるのではないかと思います。そして地域の活性化ができるものだと思いますので、ぜひそこは町が浄水路の管理とかダムの管理とかでよく利用している

道路でございますので、ぜひそのへんの道路は、すぐみんなやりなさいということではないんですけど、わずかな距離でも、20mとかそういった計画的な整備でも望ましいと思います。今回、新町の建設計画に、農道は生産の場合の進入道路として重要な役割を担っているため、新町において新たな整備計画を策定し、年次的に整備を推進すると、こうあります。ぜひ、こういった大切な道路は整備計画の中に盛り込んでいただいて年次的に整備を進めていただきたいと要望いたしまして、私の質問を終えたいと思います。

○ 議長 仲地宗市

これで11番内間久栄議員の一般質問を終わります。

次、16番本永朝辰議員。

(本永朝辰議員登壇)

○ 16番 本永朝辰議員

16番本永でございます。旧不燃物処理場の跡利用についてです。これは大原にありました不燃物処理場ですね。ここは去る4月に閉鎖されたんですけども、その後、周囲の柵の撤去ははじめ整地の気配もないんです。そこで、今後の整地を含めた跡利用について伺いたい。

(本永朝辰議員降壇)

○ 議長 仲地宗市

高里久三町長。

(高里久三町長登壇)

○ 町長 高里久三

16番本永議員のご質問にお答えします。大原不燃物処理場については、去る4月から閉鎖しています。今のところまだ残骸がありますが、今後、分別して撤去しながら関係課と跡地利用を協議して検討していきたいと思っ

ています。

(高里久三町長降壇)

○ 16番 本永朝辰議員

ただいま答弁で、今後、整地していききたいということなんですけれども、いつ頃までに整地する考えなのか、そこらへんを伺いたい。

○ 議長 仲地宗市

山城英明保健衛生課長。

○ 保健衛生課長 山城英明

いつ頃までということではありますが、現在、財政等とも関連がありますので、財政の方と相談しながらということになります。

○ 議長 仲地宗市

16番本永朝辰議員。

○ 16番 本永朝辰議員

特に大原地域につきましては、土地改良をしたために墓地の確保が非常に難しいという状況にあります。これは昨年の12月定例会にも出したんですけれども、特に土地改良する時点で、その地域にあった墓地を黙認というかたちで浜の方に移して作ったんです。そういうことでありまして、そこは本当は法律的にもそこにはできないと思うんですが、やむを得なくといいますか、黙認という状況で作ったような経緯があります。そういうことで、今のこれまでの処理場跡の敷地につきましては、非常にそのあたりが大原地域の墓地としてあったわけです。ですから、今、不燃物処理場跡が敷地的にも、あるいは地域的にも非常に墓地としていいのではないかなというふうに、地域でもそういうふうに言っております。そういうことで、できれば我々の地域としても、その地域に墓地公園みたいなものを作れないかなというような話をしております。そういうことで、ぜひ今後、そこらへん、

予算との関係もあると思うんですが、整地をされておけば、我々地域としても、そこらへんも話し合いをしまして、そのあたりに墓地もできないかなということで協議をしていききたいというふうに思いますので、そこらへん整地も含めて、早めにやっていただければと、こういうふうに思います。

○ 議長 仲地宗市

これで16番本永朝辰議員の一般質問を終わります。

次、7番崎村議員。

(崎村稔議員登壇)

○ 7番 崎村稔議員

7番崎村です。壇上の上から2点だけ質問を致します。最初に、ハイビスカスの島について。県道一周線や飛行場線、イーフ線、島尻線など、主要幹線道路をハイビスカス街道にする考えはないか。観光のお客さんから「南国の島にしてはあんまり花がないですね」とよく言われます。本土の人から見た沖縄の魅力は海、空、花が中心だと思います。町長のやる気を伺いたい。

2点目、空港路線バスについて。タクシー観光をしたお客さんから「空港からバスに乗ったら車内放送もなく、初っぱなから不安な思いと不愉快な思いをした」とお叱りを何度も受けました。この件は、旧仲里村議会でも取り上げたが、まだ改善されていません。どこのバス会社でもやっていることで、なぜやらないのか。早急に車内放送整備を優先的に整備すべきと思うが、経営者としての町長の考えを伺いたい。

(崎村稔議員降壇)

○ 議長 仲地宗市

高里久三町長。

(高里久三町長登壇)

○ 町長 高里久三

7番崎村議員のご質問にお答えします。1点目、県道久米島一周線や久米島空港真泊線等々の主要幹線の道路植栽及び管理については県が行っております。現在、県道沿いの植栽についてはほぼ完了しており、既存の植栽をハイビスカスや南国風な花木に変更できるかどうか調整を図ってまいりたいと思いません。結論として、私も町を花いっぱいにしたいと思っております。フラワーアイランドにしたいと思っております。

2点目、運転手の生の声で車内放送をしている運転手もおります。たまたましなかったということか、それとも運転手が車内放送をしてなかったかもあります。さらに利用者がほとんど町民で、バスも全てわかっているということで、運転手がいわゆる、方言で言うフューマーティやらないのか、そのへんも調査してみたいと思いません。

それから、テープによる車内放送の整備を前に見積書を聞いたらどのくらいの予算ができるかと聞いたら、何百万円もかかるということで、現在の財政事情でできるかどうか、さらに安くてできる方法がないか検討をしていきたいと思いません。当分の間は運転手を指導して、生の声で放送するということが親しみもあっていいのではないかと思っております。そのへんは運転手の指導を徹底して、しかも観光の窓口最先端でおつき合いするバスでありますので、そのへんを徹底して指導していきたいと思っております。

(高里久三町長降壇)

○ 議長 仲地宗市

7番崎村稔議員。

○ 7番 崎村稔議員

どうもありがとうございます。この1件目の県道一周線道路のハイビスカスの植栽については、飛行場線など、ほとんど花の咲かない黄金ガジュマルや低木がほとんど植えられております。県道の山城あたりにはハイビスカスが植えられておりますけれども、あまり面積が多くて、ハイビスカスより雑草が生い茂るようなかたちになっておりますので、山城の方としては、例えば30m、20m間隔に一株ずつ植えていって、あとはセメント舗装するとか、そうしたら見通しも良くて交通安全面からもいいと思いませんので、担当課長、建設課長、あとの方で答弁をお願いしたいと思います。

そして、イーフ線の野球場の前あたり、そこはイーフ線にはほとんどハイビスカスを植えられておりますけれども、そこの子どもの交通安全という面で20cm、30cmくらい低く毎回カットしていて、ハイビスカスはカットした場合、花が咲かないんですよ。そのまましておくと夏は100%、冬は2割くらいいつも咲いておりますので、そこもずっと連続的にハイビスカスを植えてありますので、見通しが悪いという悪条件です。そこもさっき言ったみたいに一株一株離して植えていって見通しも良くて素晴らしい花の観賞もできると思いませんので、それも考える余地があると思いません。そして、島尻線もだだっ広く道を整備してありますけれども、タコノキですか、今、大きな外来種のタコノキみたいなやつを植えてありますが、殺風景で、そのへんもぜひハイビスカスを植えて、ハイビスカス街道の一翼を担うようなやり方ができると思うんですが、どうでしょうか。

また、いろんな花を植えてもいいんですけども、ヤマユリ、グラジオラスなんかもいいですけども、これはどうしても1カ月とか2カ月間の短い期間で花は終わりますので、1年中咲いているのはハイビスカス以外にありません。特に私が好きなのは、試験場で掛け合わせで作った花ではなくて、島内にある元々ある原種、原種は小振りで葉っぱも小さくて丈夫な花ですので、植える時にはぜひ原種を植えてほしいと思います。建設課長、担当課長としての所見を伺いたいと思います。

○ 議長 仲地宗市

盛本實商工観光課長。

○ 商工観光課長 盛本實

建設課長ではございませんが、観光という面から商工観光課の方でお答えしたいと思います。先程も町長の方からお話があったとおり、道路そのものが県道でございまして、島尻にしても久米島一周にしても、久米島空港真泊線、そしてイーフの前の道路にしても県道指定なんです。ですから、県との調整が必要になってきます。そういうことで、町長が先程おっしゃったんですけども、当然、花という部分に関しては非常に島を花いっぱいにしてほしいという気持ちはあるんですけども、ただし、道路植栽としてハイビスカスが適当かどうかという議論になるんですけども、このハイビスカスはかなり年から年中花が咲くという意味では非常に観光客から見れば非常にいい印象を与えると思うんですけども、管理からすると、成長も早くて、枝葉そのものが早い時期に歩道もしくは車道に出ていくと、張り出していくと。その刈り込みがかなり金を食うということで、県の方も

県道を年間5回転くらい以前はやっていたんですよ。ただ、予算の関係で、今は2回転くらいしかしてない。そういう中でハイビスカスが年から年中刈り込みを入れるとかなり費用もかかってくるという部分と、刈り込みを入れる時期に花までカットしていくということからすると、やはり見た目では、せっかく花が咲いているものを刈り込んでいって骨だけを見せると、葉っぱ、花もなくなるという部分で、県と内々の調整をしたんですけども、その分に関しては、今、既存の植栽を植え替えて、ハイビスカスにかえるというのはどうかなという話もございました。そういうことで、植栽そのものが久米島にとって道路植栽というのは必要かどうかということも問われているみたいですね。そこで、道路植栽に関しては全く緑がない地域、例えば集落内とか、こういう部分でやはり緑をそこで植えようという部分。ところがずっと山の中に入っていくと、周囲はほとんど緑なわけですよ。そこまで本当に道路の植栽としてこの緑の木を植える必要があるかどうか、そのへんの議論まで出されているようなんです。それも含めて、今後、県との調整に入るんですけど、はたして島にとってそれがいいかどうかという部分も含めて、今後、県と調整していきたいというふうに考えております。

○ 議長 仲地宗市

7番崎村稔議員。

○ 7番 崎村稔議員

こっちもいろいろ提案しておりますけれども、我々はもう慣れちゃって、近くにあるハイビスカスをきれいだとは思わないんですよ。思っている人もいるかも知れませんが、

慣れっこになってそういうふうを感じない。内地から来たお客さんにとっては一番印象に残る花なんですよ、一番身近にあって。手入れとか、そんなことを課長は言っていましたけれども、手入れも大変だったら、私がさっき言ったみたいに20、30mに一株ずつ植えれば経費も3分の1、5分の1ですみますので、手入れも十部にできると思います。今の状態では。これは観光面で、ぜひ観光客の意見を取り上げて行ってほしいと思います。そして、既存の植えたやつは、ハイビスカスとかの花に変えることはできないかも知れませんが、今から置くのは、比嘉、謝名堂、泊あたりの県道を今から造りますけれども、そういうところをどうでしょう、計画していけるかどうか、お願いします。

○ 議長 仲地宗市

盛本實商工観光課長。

○ 商工観光課長 盛本實

県の植栽計画がどういうふうになっているか調べまして、なるべく南国風な花、ハイビスカスも含めてなんですけれども、そのへんで計画できないかどうか、県の方に要請はしていきたいと思います。

○ 議長 仲地宗市

7番崎村稔議員。

○ 7番 崎村稔議員

空港路線バスについて再度お聞きしますが、質問状に書いてあるとおり、仲里村議会でもやりましたけれども、その時は課長から「検討してやっていくようにしていきたいと思います」という答弁でしたけれども、なかなかこれも検討しているかどうかはわかりませんが、町長は先程、島内の人が使う人が多いと言っていましたけれども、空港路線

についてはそうじゃないと思うんですよ。観光客がどうしても多いんですよ。特に直行便がある6月から9月までの間は、ほとんど観光団がいっぱいしている状態で、最初から荷物を持ってバスの中に入って行って、それでごったがえして、「車内放送もなくて、いつも不安でたまらない」という、前から私は毎日というくらい聞いております。それを聞くと本当に恥ずかしい思いで、それで観光振興を呼びかけをするかなと思っているんですが、ぜひこれも早急に改善して行って、観光振興につなげてほしいと思います。

そして、空港以外の路線バスもできれば、次どこに停まりますという車内放送をぜひ、これは基本だと思います。路線バスの。我々が本島に行ってバスに乗った時に案内がなければ心配ですよ。どんなバスにもついてきますこの案内は、最低限付けないと観光振興のよい材料にはなりませんので、これもぜひ検討して行ってほしいと思いますが、商工観光課長、もう一度お願いします。

○ 議長 仲地宗市

盛本實商工観光課長。

○ 商工観光課長 盛本實

これまで指導してきたつもりではあるんですが、なかなか実態が調査できなくて、議員さんがご指摘のとおり、やっている人もいればやってない運転手がいるということで、先だってこの質問が出てからなんですけれども、みんな集めまして、運転手を、徹底指導をしていくということで通告はしてございます。今日あたりからでもきちんとやっていると思いますので、随時そのへんはチェックしていきたいと思います。

○ 議長 仲地宗市

7 番 崎村稔議員。

○ 7 番 崎村稔議員

普通、運転手を指導して運転手にさせるといいますが、これは私は反対ですね。女性の声でアナウンスした方が全然いいですよ。バスの運転手が言うよりは、運転手はボタンを押して、女性のアナウンスで案内した方がどんなにいいかわかりません。そして、これを入れておくと、年寄りの皆さんがバスを使う人が多くなると思うんですよ。というのは、年寄りの皆さんも、自分の島の各部落の場所とか、ここはどこ、ここはどこという、これもわからない人が多いんですよ。これを勉強していくためにも、多分乗ってくる可能性も充分ありますので、子どもたちもほとんどわかりませんというが、これも一つの島内の年寄り、子どもたちの地理の勉強になるという一つの可能性もありますので、重々お願いしたいと思います。

○ 議長 仲地宗市

高里久三町長。

○ 町長 高里久三

補足答弁します。私は朝一便で通っていますけれども、ほとんどバスに乗っております。一番直近の一昨日の15日に、二人乗って、二人兼城で降りて、ここまで僕一人です。バスがこれまで何回乗ってもだいたい20名くらいが最高かなと思います。ですから、これが満席で頻繁に停まるようだったら、私はテープでもいいと思うんですが、これは感じ方の問題だと思いますけれども、生の声で、土地の声でやった方が親しみがあるのではないかなと、これは運転手を十分に徹底指導すればできると思うんですよ。今の財政の厳しいときに200、300万円もかけて本当にやった方がい

いのか、予算があればそれはいいと思うんですけれども、私は当分の間、運転手を指導して、それでもなおかつできない場合は、またこの方法も考えるべきではないかなと思っております。運転手にまず最初にホテルに行きますかということをお客さんがだいたい聞かれます。イーブビーチホテルも久米アイランドホテルも全部玄関まで横付けしますという放送もやっております。それから、値段についてもよく聞かれますけれども、それに答える運転手もいて、また、運転手の後ろの方に各区間の料金表がありますから、それを見てやっているとありますので、今すぐテープでやりなさいという議員の指摘がありますけれども、これは当分は私は運転手を指導して、これでまずければまた方法を考えていきたいと思っております。

○ 7 番 崎村稔議員

4年くらい前から言っていますよ、私は。今すぐと言ってませんが。

○ 議長 仲地宗市

崎村議員、崎村議員は既に3回ということですから、座っておっての質疑は遠慮していただきたいと思えます。

○ 7 番 崎村稔議員

終わります。

○ 議長 仲地宗市

これで7番崎村議員の一般質問を終わります。

次、8番幸地良雄議員。

(幸地良雄議員登壇)

○ 8 番 幸地良雄議員

8番幸地です。私から1点ほど質問致します。シルバー人材センター設立についてお伺

い致します。わが久米島町は急速に高齢化が進展しており、経済社会の活力を維持していくためには、高齢者の知識、技能等を地域社会に活かしていく必要がある。シルバー人材センターは常用雇用は望まないが、何らかのかたちの仕事に従事することを希望する高齢者に対し、地域社会に密着した臨時的かつ短期的な仕事またはその他軽易な業務に係る仕事を確保し、これを提供することにより地域の高齢者が働くことを通して健康や福祉の増進、社会参加に生き甲斐を得、高齢社会に活力を生み出そうとするものであると考えるが、町長としてシルバー人材センター設立についてどう考えているかお伺いします。

(幸地良雄議員降壇)

○ 議長 仲地宗市

高里久三町長。

(高里久三町長登壇)

○ 町長 高里久三

8番幸地議員のご質問にお答えします。久米島町においても年々高齢者は増えてきており、60歳で定年を迎え、第二の人生を過ごしている方々においては、定年後も仕事をしたいと考えている方々も少なくないと思われます。皆さんは学校、それから公務員、会社、それから農業、漁業と現役を退いていますけれども、彼らには知識と技術と豊富な経験を持った方々であります。皆さんのパワーを地域活動に活かしていくと地域の活性化につながるものだと私も思います。その場合に、町内にシルバー人材センターの設置となりますと、事務局体制を確立しなければなりません。町としても事務局設置の可能な関係団体と今後協議をして検討していきたいと考えております。

(高里久三町長降壇)

○ 議長 仲地宗市

8番幸地良雄議員。

○ 8番 幸地良雄議員

かなり前向きなかたちで検討するというところで、非常に頼もしいことだと思います。特に高齢者の就業形態は、都市地区と地方市町村とはかなり異なると思います。また、都市地区の高齢者はほとんどが退職者で、就労意欲はさまざまであるが、農村地区では必ずしもそうではなく、自営の農業の農業労働が多いため、高年齢になっても継続して就労している者も多く、あまり成果はないと思うが、しかし全てではない。仕事はしたいがさせていない農家。高齢になるとやらないのがあたりまえという風潮があります。しかし、一人ではやらないが団体であれば、みんなと一緒にやると。この考え方を農業支援に活かしてはどうかということでもあります。例えば農業を続けたいが、高年齢のため一人ではできないと、そこで農業を放棄する農家の出てくる。これを防止するためにもシルバー人材を農業に活かせば、農業を継続することができる。地域社会に貢献しているんだという誇りを持ち、生き甲斐を持つことになる。この農業については、就労時間は一日中でなく、午前中とか短期の交代制を取り、みんなに就労の機会を与えるのが、もちろん生活維持を目的としたものではなく、本格的な就業ではありませんので、みんなのコミュニケーションを図る場でもあると。仕事内容はさとうきびだけではなく、キクの栽培やニガウリ等の収穫、あるいは果樹の収穫等、これがいずれも収穫に人材がいる、人手がいると。これでは栽培拡大できないという状況にある。そこでシル

バー人材を活用することによって生産の拡大が図れる、農業所得の向上にもつながる。そうすることによって高齢者が社会参加したという生き甲斐を与え、また、地域社会に貢献するという目的もあるということであるので、そういった必ずしも都市地区とは変わった農村地帯でのシルバーの活かし方もあるということになり、そしてそれがあえてまた農業生産にもつながるということになるが、農林水産課長、どう考えているかお伺いしたいと思います。なければ、福祉課長でもよろしいです。

○ 議長 仲地宗市

高里久三町長。

○ 町長 高里久三

お答えします。これは大変素晴らしいことで、これは必ずしも農業だけではなくて、文化もあるし、漁業、いろいろなものがあります。そういう皆さんがそれなりの素晴らしい経験といいますか、知識を持っているわけですから、農業面においても、いうならば、今、議員がおっしゃるように、確かに素晴らしい経験を持っておりまして、今、若い者よりはむしろ皆さんの方が私は技術的にもあると。ただ、体力的にないだけで、現実に町祭りで表彰される場合も、ほとんど70代以上の皆さんが表彰されているような状況であります。私は老人クラブの会長にも、皆さんが野菜、例えばある部落はハウレンソウ、ある部落はキャベツ、ある部落はニンジンと、そういうのを作れば、両リゾートホテル、久米アイランド、イーブビーチホテルもいくらかでも採りますよということですから、ひとつ作りませんかということで、毎年それを呼びかけております。ですから、せっかくのこれまでの技

術を寝かすのはもったいないし、今はむしろ5時になったらゲートボールに走っていくような皆さんで、本当にもったいないなと思っているんですが。誰かが旗振りをして、事務局が面倒を見るというんですか、そういうものをお願いして、それから今の指摘のとおり、シルバー人材を立ち上げていけたらいいなと思っています。近々島の学校もできますので、その中身もいろいろな部門が講師として登録していて、その必要なものについては、観光団についても検討するという制度もありますし、できるだけ地元の皆さんでできるものについては、そういう無理のないような方向で進めて、シルバーを立ち上げていった方がいいのではないかなと思っています。

○ 議長 仲地宗市

8番幸地良雄議員。

○ 8番 幸地良雄議員

ぜひ立ち上げてほしいと思います。今年の4月に豊見城市が立ち上げて、豊見城市はやはり都市地区ではあるんだが、やはり農業もしていると。つきましては、今、そのシルバー人材の派遣は都市地区の方の作業よりは農家のキク栽培とか、あるいはマンゴーの収穫とか、ニガウリの収穫とか、これは一時的な非常に忙しいときに、午前中は午前中なりに作業やって、後に午後から余暇を利用してゲートボールに励むと。やはり何かして後の遊びというのは、一日中遊んでいての遊びよりはかなり喜びを感じる。そういった面からも、やはりその人たちに幸福感を味わわせるということが大事ではないかなと思います。そして、先程、崎村議員が話されておりました街路樹、いわゆるハイビスカスの手入れにしても、やはり町は予算がないから厳しいんだと

ということなんですけれども、そういったシルバースタッフ人材を活用すれば、わずかな費用で多くの人たちが参加できる。そして参加した人たちが、我々は久米島のために尽くしているんだという誇りを持たせるということが一番大事でありますので、ぜひ早めに立ち上げてやってほしいと思います。終わります。

○ 議長 仲地宗市

これで8番幸地良雄議員の一般質問を終わります。

ここで休憩します。(午前 10時55分)

○ 議長 仲地宗市

再開します。(午前 11時06分)

○ 議長 仲地宗市

引き続き一般質問を行います。

次、6番上里総功議員。

(上里総功議員登壇)

○ 6番 上里総功議員

6番上里です。1点ほど質問したいと思います。ISOシステム導入について。今、民間企業は、経営目的実現のために社内組織を整備し、外には顧客の満足を、内には財務体質の健全化・強化を図るなど、社会的評価を高めようと企業改革を強く求めている。また、地方自治体においては地方分権の時代といわれ、他の自治体との差別化が求められている。ISOシステム導入は第三者機関による審査を受けて認証取得をすることで、透明性と説明責任を果たす効果があるといわれている。そこで、ISOシステム導入を考えているのか伺いたい。

(上里総功議員降壇)

○ 議長 仲地宗市

高里久三町長。

(高里久三町長登壇)

○ 町長 高里久三

6番上里議員のご質問にお答えします。ISOの認証取得につきましては、行政分野においても、行政サービスの向上や行政の効率化に効果があるといわれております。

県内においても那覇市役所と名護市役所が認証を受けていますが、本町においても将来的に導入を検討してまいりたいと考えています。

(高里久三町長降壇)

○ 議長 仲地宗市

6番上里総功議員。

○ 6番 上里総功議員

今、町長の答弁で、行政運営で非常に重要なシステムだと、将来的には導入していきたいということですが、8月3日の新聞に名護市がISOを取得したということで新聞に載っております。その前に那覇市役所の方では住民課の方で進めている。また、名護市は全面的に課を進めて、その関係機関まで将来的には広げるといって載っております。地方自治体も民間企業的な考えでやっけないと生きていけない状態ということは絶えず言われているわけなんです。

それで、もう一つ新聞があるんですが、3月3日のタイムスに、「合併しても厳しさは同じ」ということで、町長のコメントが載っているんですが、その中で久米島町の場合には、合併特例債として50億円の特例債が使えるんですが、町が誕生してから2年間でいろんな施設、海洋深層水温浴施設、最終処分場などを造ったために、もう10億円も使っている。町の借金は100億円を超えるということも書かれております。それで、年間の返済額は年々上昇し、2008年には12億円に達すると

いう、本当に危機的状況であります。そこで、そういうことも勘案した場合には、どうしても第三者機関のチェックが必要であります。名護の状況とか那覇市の状況とかは一応把握したかをお聞きしたいと思います。

○ 議長 仲地宗市

仲村渠一男行政改革推進室長。

○ 行政改革推進室長 仲村渠一男

行政改革の検討の過程において、事務局段階では、このISOの導入について話題には上がりましたが、今現在のところ、具体的な検討は致しておりません。と申しますのは、このISOの認証取得に当然長所、短所があるわけでございます。まずは長所につきましましては、今、議員からご指摘があったとおり、非常に民間経営的な手法を導入するということで、顧客満足度、島民満足度を高めるという長所があります。また、コストダウンを図ることができるということです。あとは、当然、行政事務の効率化ということになります。あと、全ての業務をマニュアル化していきますので、誰が対応しても同じ行政サービスが提供できるというメリットがあります。その業務マニュアルを通して役場の職員の教育にも非常に大きな効果があるといわれています。

その反面、短所としてデメリットもあります。これにつきましては、まず、取得するのに相当のコストが掛かる。だいたい200、300万円掛かります。あと、その認証申請してから取得するまでに丸1年掛かるということです。あと、その仕組み作りは必ずしも簡単ではない、専門のコンサルの指導が必要だということでもあります。あと、一度仕組みを作ることは簡単ですが、その作った仕組みを維持

していくことはかなり困難が伴うところであるということ。あと、これまでのやり方をガラッと変えるわけですから、部内においてこのやり方に抵抗する人も当然出てくるということです。あと、一時的には、この作成の分掌をマニュアル化するわけですから、かなりの事務量が出るということもあります。

そういうメリット、デメリットを考えた上で、このISO導入の条件として、まず考えられるのは、久米島町の行政サービスの向上を図るためにこのISOを、多分9001番のことをおっしゃっていると思うんですが、9001番の認証を取得する必要があるという共通認識を職員、議会を含めてまずは持つことが前提条件だと考えています。そのためには、まず職員を含めて議会がこのISOの内容についてよく知ることが最低条件だと考えています。この内容を知った上で、そのコストの成果が出せるのかどうか。それから必要性があるのかどうかということにつながります。議会を含めて職員、必要であるという共通認識を持つことができれば、これは取得は2年以内にはできると考えております。

質問のあった那覇市、名護市の状況を把握しているかということにつきましては、今、インターネットや本で調べている範囲で、具体的な現場の実地の調査というのはまだ致しておりません。

○ 議長 仲地宗市

6番上里総功議員。

○ 6番 上里総功議員

確かに厳しい、やった場合には当然マイナス面も必ず出てくるかと思えます。ただ、確かに本土の企業においても、やはりコストが掛かりすぎるということで途中で投げ出して

いるところもあるということは聞いております。又、継続性がないとどうしようもないと、そういうことも言われております。

このシステムの中には二つのマネジメントシステムがあるわけなんです。一つはISO9000シリーズ、これは製品やサービスの質を保証するための標準化と、もう一つはISO14000シリーズ。これは地球環境を守るための標準ということが言われております。確かに全部となると厳しいかと思うんですが、一つひとつやればできないことはないかと思えます。確かに課長がおっしゃったように、議会も行政も一緒にならないとできないと思えます。

それで、九州の佐賀県の方では半年で取得している所もあるわけですね。2008年に12億円の返済があるということ考えた場合には、本当に真剣に考えてもらわないと困るということでもあります。確かにISOシステム導入は、メーカーや企業のするもので、なぜ行政でという意見は確かにあります。だけど民間に負けない努力をするとともに、行政の意識を改革するというのが目的であり、その行政における改革の基本は、町役場は町民に役立つ所で、行政もサービス産業だという、そういうのを自覚してもらいたい。その実行のためには、創造、挑戦、透明化を忘れず、日々新たな改革が欠かせないということでもあります。そこで、久米島町においても、平成17年に向けて行政改革が計画されておりますが、そうであるならば、なおさらISOシステムを導入して、第三者機関に認証してもらうというのが一つの方法かと思えます。ぜひ今後はみんな痛み分けをしないとこの改革はできませんので、ぜひご検討をお願いしまし

て、私の質問を終わります。

○ 議長 仲地宗市

これで6番上里総功議員の一般質問を終わります。

次、12番大田哲也議員。

(大田哲也議員登壇)

○ 12番 大田哲也議員

12番大田哲也、一般質問を1点だけ伺いたいと思います。久米島町行政改革の進捗状況と今後の取り組みについて。国の三位一体改革に伴う交付税の減額、補助金の削減等で地方を取り巻く情勢はますます厳しくなり、本町においても職員給与の減額、臨時職の削減、育成団体の補助金の見直し、議員報酬の減額等を実施しているところではありますが、現在取り組んでいる行政改革の進捗状況と今後の取り組みについて町当局のお考えを伺いたい。

(大田哲也議員降壇)

○ 議長 仲地宗市

高里久三町長。

(高里久三町長登壇)

○ 町長 高里久三

12番大田議員のご質問にお答えします。行政改革の進捗状況につきましては、これまで三役、課長等で構成する「行政改革推進本部会議」を5回、外部委員で構成する「行政改革推進委員会」を3回開催し、1. 効率的な事務事業の推進と行政サービス。2. 時代に即した組織管理、人事管理の見直し。3. 定員管理及び給与の適正化。4. 人材の育成及び確保について検討を終えています。

今後の取り組みにつきましては、12月までに行政改革推進委員会の答申を受けて、来年の2月までに久米島町行政改革大綱及び行政

改革実施計画を策定したいと考えています。
また、行政改革推進委員会の答申を待つことなく、緊急に実施すべき事項、すぐにできる事項については実施をしています。

(高里久三町長降壇)

○ 議長 仲地宗市

12番大田哲也議員。

○ 12番 大田哲也議員

今、町長から答弁がありました。今後、三役給与の減額、議員報酬の減額、職員の給与の減額、団体、臨時職等、今後もそういう方針であるのか、お答えいただきたいと思えます。

○ 議長 仲地宗市

仲村渠一男行政改革推進室長。

○ 行政改革推進室長 仲村渠一男

ただいまのご質問にお答え致します。今年度、職員、議員の報酬、給与のカット5%、3%それぞれ実施しておりますが、これはあくまでも緊急避難的な措置であって、これは1年限りだという認識を持っております。

それから、今後の職員の給与、あるいは三役の報酬、議員の報酬も含めましての適性化につきましては、これまた行政改革の中で、当然法律に基づいてということはもちろんですが、他市町村との均衡等も十分に考慮して、適正な給与のあり方を検討していきたいと考えております。

○ 12番 大田哲也議員

以上、終わります。

○ 議長 仲地宗市

これで12番大田哲也議員の一般質問を終わります。

次、4番仲村昌慧議員。

(仲村昌慧議員登壇)

○ 4番 仲村昌慧議員

花の名所づくりについて質問させていただきます。数年前、沖縄大学の山門健一先生が景観フォーラム、久米島のショウキズイセン、景観と街づくりの中で、次のように述べています。「昔は沖縄の野山にたくさんあった。しかしきれいなものだから採って自分の庭に植える人が絶えなかった。気がついてみると、自然界では見あたらなくなっている。自分の庭に取り込んでしまったら地域の資源ではなくなってしまう。増やして野に戻し、群落が作れないか、そうなればみんなが楽しめるようになる。そして、そこに住む人が楽しみ、誇りに思えるようなものができれば、観光資源としても活用できるのではないか。」と述べています。

旧具志川村では花の名所づくりを進めるかについて、村民が楽しめるようなものでなくてはならないが、他所の真似をするような花の名所づくりをやってもしょうがない。鑑賞価値の高い自生の植物を有効に活用する、そして四季を通じて花と緑を楽しむことができるようにする。村民の協力を得ながら基本的には村の産業振興、苗木の委託生産、植栽や維持管理工事、その他につながるような方法をとる。また、村の生活文化の向上、環境整備など、村を発展させるための総合的な視点を持って名所づくりを行う。ショウキズイセンはこのこの構想に合致しているとして、平成7年から平成9年にかけてダルマ山公園一帯に約3万球のショウキズイセンを植えています。毎年9月下旬から10月中旬にかけて黄色いきれいな花を咲かせて、人々を楽しませ、評判を聞いて訪れる人が増えています。しかし花の名所としては規模が小さく、まだまだ

不十分であります。

山門先生によると、ショウキズイセンは大変珍しいきれいな花ですから、オランダのチューリップ畑、国内でいえば北海道のひまわり畑、ラベンダー畑、宮崎県のコスモス、菜の花畑に匹敵するものと思われると言っています。

それから8月13日の沖縄タイムスに、生物資源利用研究所の根路銘国昭所長が、ショウキズイセンから抗ガン成分を抽出したと発表しています。根路銘所長は医薬品として認可を受けるため、米食品局に新薬として承認を申請する方針、承認取得後、日本へ逆輸入し、病院向けの薬品や漢方薬として商品化したい考えを明らかにしています。

このようにショウキズイセンの価値が高まってきており、島おこしにつながる期待が膨らんでいます。そこで町長にお伺いします。ダルマ山公園一帯のショウキズイセンの群落の規模を拡大してショウキズイセンの名所づくりをする考えはないか、ショウキズイセンの名所づくりについて町長の見解をお伺い致します。

(仲村昌慧議員降壇)

○ 議長 仲地宗市

高里久三町長。

(高里久三町長登壇)

○ 町長 高里久三

4番仲村議員のご質問にお答えします。ダルマ山公園一帯のショウキズイセンは平成7年度から植え付けられ、9月の下旬～10月の上旬にかけて開花し、この時期には、島民並びに観光客の皆さんから大変喜ばれております。今後において年次的に植え付け場所を確保し、増殖を行い久米島町の名所となるよう

に努力してまいりたいと思います。

それに、紹介がありました根路銘さんに昨日会いました。この花の観賞だけではなく、特に医学的に使えらる。注射をするのではなくて、飲んで効用があるということで素晴らしい花であるということで、「久米島から球根を分けてくれないか」ということでしたけれども、球根もですけれども、「ぜひ久米島の産業として、久米島で育てていってもらいたい、そういうことでいくらかでも買いますから、どうぞ作って下さい」ということで、大変すばらしい話を聞いて、また新しい産業につながるし、また、観光にもつながるし、一石二鳥ではないかなということで大変喜んでおります。

(高里久三町長降壇)

○ 議長 仲地宗市

4番仲村昌慧議員。

○ 4番 仲村昌慧議員

ただいまの答弁で、年次的に増やしていくという答弁がありましたので、これまでの名所づくりの事例、それから山門先生が発表した久米島の将来展望、そしてこれからのプロセスについてのことを紹介しながら、再質問させていただきますが、いろんなところの事例も、そしてまた写真も紹介しますが、ちょっと質問が長くなると思いますが、ご了承くださいと思います。

まず、その前に、これは去年開花した写真です。これがダルマ山公園、去年の10月5日頃が一番ピークになると思いますが、これを後ろの方に回して下さい。そして、8月13日に発表された新聞には、沖縄は抗ガン植物の宝庫ということで、大宜味村の一帯となっていますが、実はこのショウキズイセンの群生

は、山門先生に言わせますと、これくらいの群生があるのは久米島しかない、本土にはこれはないと、黄色いショウキズイセンはないと言っています。その当時、2000年、4年前に旧具志川村で沖縄大学の市民移動大学講座の中でそのことをお話ししておりました。おそらく球根を増やしてやると、本土の業者が大量的に買いますよということをその時に述べておりました。そういうことから、いろんな各地の事例を紹介しながら質問させていただきます。

先程も述べましたが、北海道のひまわり畑ですね、実はこれは1979年、農協職員がヨーロッパを視察しに行ったときに、機上から見たひまわり畑の美しさに感動して、そしてそれを、帰ってきてその感動を熱っぽく語った、それが地域おこしのドラマはここから始まったと言っております。儲からないけれども、ひまわりを植えて美しさを楽しみ、そこから絞った健康な油で農村の健康運動をしようではないかと提案したそうです。それに答えて農業婦人部が、環境美化と食生活の改善の一環として、1戸1アール運動を始めたのがひまわり畑の始まりだと言っております。

それから宮崎県は復帰以前までは南国宮崎の情緒を出そうということで、ピロウ、クバですね、それからフェニックスで南国宮崎らしさを出して売り出したのが宮崎県のこのピロウとフェニックスです。しかし復帰後、南国宮崎では不十分であるということに痛感して、沖縄観光に観光客が流れて行かして、それから作りだしたのが花の宮崎50万本のコスモスが秋に咲きます。そして、同じ畑に翌春になると菜の花が咲きます。そうやっているんな花の名称づくりをしております。

それから県内におきましては、1月に名護の桜祭、それから3月の東村のツツジ祭、実はこの東村のツツジ祭、僕も4、5年前に行きましたが、役場の職員の紹介で、乱獲されたツツジを、当時の村長が山にそれを戻していくということで、当時の村長が始めたそうです。そして、新任の職員の研修会は、午前中は山の方で木を植えることを始めたということも話しておりました。それから伊江島の4月、5月を見ますと、伊江島のテッポウユリですか、これも最近非常に有名になりました。そして、本部町のおばあちゃんが始めたアジサイ、これが名所になりました。

よく考えてみると、ほとんどが北部の方に集中しています。自然が豊かであるということ、資源があるということだと思いますが、それにしても久米島は非常に植物の資源が豊富です。この久米島にも珍しい植物がたくさんあって、島おこしにつながるような植物が考えられるのではないかとというふうに提言しております。そういったことから、もうちょっと時間が長くなりますが、山門先生が提案しているものを読まさせていただきたいと思っております。山門先生が2000年2月19日に移動市民大学講座久米島というふうにして、島おこしと緑化、久米島島おこしにおける緑化のプロセスの中で、「久米島の魅力、久米島の将来展望、それから、これからやるべきこと、そして、なぜ緑化をするのか、保護という考え方、そして緑化の道筋、プロセス」どういうふうにしてやっていくかということ、ここに資料がありますが、これを全部読み上げたら時間がございませんので、「久米島の将来展望、いろんな開発を進めてきた久米島だが、さて、これから先、どういう目標に向け

て進めればいだろうか。産業構造の大きな転換の時期に来た今、この目標を明らかにするのはどの地域にとっても大きな課題となっている。沖縄の自然環境の良さを活かして観光や健康産業が注目されている。ゆとりや癒しを商品化しようという考え方が、どこの地域にもある。しかし、沖縄の自己矛盾は、ゆとりや癒しの産業を掲げながらも、以前として右肩上がりの経済成長を望んでいる。その手段として、国家予算頼みのビックプロジェクト優先の姿勢がある。それではゆとりや癒しの産業を作り上げていく理念が本当にあるのか、疑いたくなる。その場しのぎの理論で、目標に到達することはできない。島おこしや地域の自立はありえない。(ここは省略します。)そして、これからやるべきことは、久米島町は開発の一方で多くの自然を損ねてきた。これからは残された自然を大事に守っていくこと、そこに自然を復元すること、そして産業とより快適な生活空間を作り自然との共生の中で作り上げていくことである。」というふうに述べています。そして、その道筋を非常にわかりやすく提案していますので、ぜひ参考にさせていただきたい。

「では、具体的にどういうプロセスを歩まなければならないのか、まず、緑化をきちんとした施策として位置づけることが大切である。住民参加がやりやすいから、苗代だけを準備すればいいというような安易な姿勢や考え方が実を結んだ例はあまり聞かない。緑化努力には住民努力も必要だが、それ以上に政策の中で位置付け、公共事業の中でもちゃんと実践するという姿勢がまず必要である。そのためには自然環境を守り、快適な村づくりを進めていくという具体的実践力のある施策

の確立を必要とする。さらにこれまでの縦割り行政から横つながりの行政に改めていくという必要がある。すなわち、総合行政が必要である。

計画づくりでは、村の総合計画の中で環境や景観づくりなどをちゃんと位置づけることである。それは決してうまい文章表現や当たり障りのない文章表現で安易にすませてはならない。計画は実践のためにある。実践は確かな技術に裏打ちされないといけない。緑の技術は、これまでの技術の世界の中ではないがしるにされてきた。今では重要性が認められつつある。その技術を有する者、その必要性を心の底から理解できる者は極めて少ない、そんな状況の中で、私たちは知恵を出し合って新しく築き上げるという作業が必要とされている。それができるのは、お互いの誠意であり、信頼であり、また、強い意志と柔らかい心を持つことである。総合計画ができた中で各個別の計画、即ち、4本の基本計画、生活排水対策計画、一般廃棄物処理計画、観光計画、農村環境計画などが作られる、そのどれもが情熱と科学的知恵を必要としている。緑化は私たちの思いが強い動機となるが、それを実践するためには科学的な見地、知見及び技術を必要とする。緑化は大型プロジェクトにも勝るとも劣らない立派な事業である。」というふうに述べております。

本当に本腰を入れて、先程も申し上げましたように、北海道や宮崎県に匹敵する名所づくりを作っていただきたいと思っています。まずそのためには、その量を増やすということが大事であります。今言いましたように、基本計画の中でちゃんとした位置付けをしてやっていただきたい。観光商工課の課長にも

お聞きしたいと思いますが、今後、このショウキズイセンについて、本当に本腰を入れてやっていただきたいと思うのは、今年花が咲きましたら、また実を結びます。この実からの繁殖も叶うと思いますので、そういった面も含めて、この繁殖をさせることが今大事だと思っておりますので、今後の展開について、課長の方から見解をお伺いしたいと思います。

○ 議長 仲地宗市

大田治雄農林水産課長。

○ 農林水産課長 大田治雄

議員からは商工観光課長の指名でしたが、私の方で所管していますので、答弁したいと思います。

今、いろいろ議員からも説明がありましたとおり、昨日はたまたま本当に偶然に根路銘先生がこの一般質問を受け付けた後に、直接私の方に電話がありまして、久米島でこの調査をしたいということで、昨日、9時の便で来島されて、5時の便で帰りました。その間、現地も見ながらいろんなお話を、また町長室で町長にもいろんな説明をしております。実は、抗ガン成分があるのはセンダンの木、その木が、今、名護の方で奨励して増殖すると。そして、久米島ではこのショウキズイセンが非常に抗ガン成分が高いものがあって、実際にマウスで人のガンをマウスに注射して、ガンを発生させ、それをこの抗ガン成分で駆除したら、2週間ほどで完全に治ったと、そういう実証が明らかに学会の中でも発表されて、新聞報道でも既に報道されておりますが、とにかくこのショウキズイセンというのは、多くの種類がありますが、その中でも久米島で普通言われている彼岸花、赤いのですね、

各屋敷に比嘉あたりにもありますが、各地域にあります。そういうのとこの黄色い花の咲くショウキズイセン、これは今、おっしゃるようにダルマ山一带、今の議会事務局長が平成7年から12年にかけて約30,300本植えられています。どうぞ議員の皆さんも、そろそろ芽が出て花が開花する、わずかに開花はしておりますが、これから中旬から10月上旬にかけて咲くかと思えます。ということで、非常に注目を浴びているこのショウキズイセンでありますので、我々としても、今、ある農家の方に7,000個くらいの球根が残っております。それも早い時期に確保して、随時いい場所を選定して、皆さんのお力をお借りしながらこの方を、将来非常に有望なものでもありますので、またそういう名所づくりの意味からも、観光にもつながりますし、いろんなかたちで知恵を出し合ってやっていきたいと思えます。

○ 議長 仲地宗市

4番仲村昌慧議員。

○ 4番 仲村昌慧議員

先頃新聞で発表されました根路銘先生、実は一昨年の全沖縄PTA連合会の研修会で講演をしておりました。本当に沖縄からすごい人だということを紹介されました。世界のワクチン開発の第一人者だそうであります。本当にすごい方の発表で、これは非常に素晴らしい発表だと思っておりますので、ぜひ繁殖をお願いしたいと思います。

私が目標にしているの自分の夢を語りたいと思えますけれども、実は彼岸花の球根が30万球植えられているのが埼玉県にあるそうです。先程も申し上げましたが、黄色いショウキズイセンは本土にはないと言っています

ので、久米島でそれを、今のところ3万球で
すか、できたら300万に増やしてほしいんで
すけど、とりあえず10倍の30万を目指して、
それからまた後というふうにして、ぜひやっ
ていただきたいなど。

名所というのは、本当に迫力あるものを作
らなければ、あまり人が来ないと思います。
山門先生は実は今現在の久米島のショウキズ
イセンの3万球、いずれテレビで紹介したい
なというふうにおっしゃっておりました。ま
だまだ紹介される時期ではないと思いますの
で、早い時期に、とりあえず10倍の30万に増
やして、全国的に紹介して、全国に久米島の
名前を売っていただきたいなどと思っております。

今朝行ってまいりました。数本は花が開
いております。茎が出てきてつぼみを付けて
おります。この花は非常に面白いもので、地
面から茎だけを出して花が咲いて、それが終
わったら葉っぱが出てきます。葉っぱで球根
を増やして、暑いときにその葉っぱが消えて、
そして長い期間はそこに何も無い状態であ
りますが、非常に面白い珍しい花であります。
非常に美しいです。ぜひこれを増やしてほ
しいなど。そして、新聞でこれが発表されて
から、おそらく乱獲されるのではないかと、
それが非常に危惧されます。役場の方でも、
繁殖と保護対策について、もう一度答弁を
お願いして、私の質問を終わりたいと思
います。

○ 議長 仲地宗市

大田治雄農林水産課長。

○ 農林水産課長 大田治雄

お答えします。増殖については、今、だ
いたい現地を見ますと、一株に4個、5個が
付いております。それを株分けしてやった方が

いいのか、そして種子から発芽ができるの
かどうか。そのへんも専門の皆さんの意見
をお聞きながらやっていきたいと思
います。

ただ、残念なのは、そこ一帯が草刈り作
業も今、商工観光の請負の皆さんにさせて
いるんですが、昨日現地を見たら、草刈機
で球根の頭が削り取られたようなかた
ちがだいぶ見受けられました。そのへん
も今後、手刈りでするかどうするかを、
これは金の掛かる話でもありますので、
そのへんもまた今後検討しながら
対処していきたいと思
います。

○ 議長 仲地宗市

午前は、4番仲村昌慧議員の一般質問
で終わります。

休憩します。(午前 11時50分)

○ 議長 仲地宗市

再開します。(午後 1時30分)

始まる前に、崎村議員の方が連絡あり
ませんが、時間が来ていますので、来
ましたね。

これから午後の部、一般質問をはじ
めたいと思
います。

次に、14番平良朝幸議員。

(平良朝幸議員登壇)

○ 14番 平良朝幸議員

2点ほど質問致します。第1、行政改
革について。町は合併に伴い、また国
の三位一体改革で厳しい財政状況で、
今年「行政改革推進室」を設置しま
したが、現在の専従職員はたったの
2名であり、本当に行政改革を積極
的にやろうという意気込みはあまり
感じられません。

行政改革推進委員会に諮って委員
会の答申で本格的に動こうとしてい
ると思うが、改革すべきところは
小さなものから大きいものまで
膨大な件数にのぼるはずであり、
委員会

に諮るまでもない案件から積極的に目に見える形で早く実施する必要がある。そのためには現在の行政改革推進室の組織を見直し、専従職員をもっと増やす等の必要があると思うが、町の考えを聞きたい。

第2、農業委員会について。農業委員会は、本来「法令業務」と「地域農業の振興をはかるための業務」、「意見の公表、建議、諮問に対する答申」の大きく3つの業務に区分されると思うが、現在、久米島町農業委員会は法令業務つまり許認可業務しか行われてないように見受けられ、町の農業者の高齢化、後継者育成、機械化推進の阻害事項等農業者個々が解決できない問題が山積しており、許認可業務以外の業務を積極的に行う必要があると思うが、これに対して農業委員会の考えを聞きたい。

(平良朝幸議員降壇)

○ 議長 仲地宗市

高里久三町長。

(高里久三町長登壇)

○ 町長 高里久三

14番平良議員のご質問にお答えします。

行政改革については、平成16年度の施政方針で申し上げたとおり、本年度の最重要課題であります。

行政改革推進室の体制は、専任2人、兼務10人の体制であります。行政改革の実施計画がまとまりつつありますので、今後の事務量や、進行スケジュール、事務の分担の広報等を検討し、専従職員の増強も含め体制の強化をしたいと考えています。

2点目、農業委員会の業務については、農地法関連等の法案業務が中心でありましたが、これまでの事務事業を踏まえ、より地域

の農地に責任を持つ農業委員会として遊休の内、担い手育成等など農業委員一人一人の活動する体制づくりに努め、これから本町の農業活性化の為に関係課等の連携を密にして農業従事者の農地の有効利用と農業経営の確立を推進してまいります。

(高里久三町長降壇)

○ 議長 仲地宗市

14番平良朝幸議員。

○ 14番 平良朝幸議員

ただいま、町長の答弁によりますと、計画を策定して、実施計画大綱計画案を策定しますと、組織を強化したいという答弁でしたけれども、行政改革の流れを簡単に言いますと、町長の諮問を受けて行政改革推進室が行政改革大綱と実施計画の素案、原案を作成して、その案を15名の行政改革推進委員が審議を行って、それを町長に答申し、町長は行政改革推進本部というまた別の組織でその案を審議して、必要であればこの答申された行政改革大綱実施計画案を調査・検討するために各分野別の部会をおいて検討すると、そこでできあがったものを議会に説明し意見を求める。簡単に言ったつもりですけど、非常にややこしいですね。これじゃあ行政改革はいつからやるのと本当は言いたいんですよ。行政改革の実施に関することについて、行政改革推進室設置規定というのがあるんですけども、これには実施に関することは全然明記されていないんですよ。ということは、行政改革推進室は行政改革の大綱実施計画案の原案作成や各委員会等の庶務業務だけということになるのか、実施についての係わりはないのか。また、行政改革についてどこまで係わるのか。そして行政改革推進室は一時期の組織なの

か。そうであれば期間はいつまでか、それをお聞きしたい。

○ 議長 仲地宗市

仲村渠一男行政改革推進室長。

○ 行政改革推進室長 仲村渠一男

まず、行政改革推進室の所掌事務についてお答え致します。行政改革推進室の所掌事務につきましては、行政改革の推進に関する事、あるいは行政改革の組織、機構に関する事、また事務事業の改善に関する事等ということで、「関すること」というような表現がされていますが、「関すること」というのは、これは計画の実施から進行、計画づくりからその実施まで全てを含めての規定でございます。

あと2点目に、行政改革推進室の位置付けなんですけど、これはプロジェクトチーム的な位置付けでございます。従って、今、特命事項として、これを一定の期限を設けて特定の事項に課内横断的に取り組むということで、当然一時的なチームでございますので、終期はあるということでございますが、今は明確な終期は設定しておりません。というのは、この行政改革の進捗状況がどの程度の早さでできるのか、いつ頃までに目途を付けることができるのかということが、今の状態で十分に把握できていませんので、具体的にいつまでの予定というのはございません。

○ 議長 仲地宗市

14番平良朝幸議員。

○ 14番 平良朝幸議員

いつまで行政改革推進室があるかどうかというのは、計画の進行具合で決めるということですね。例えば、行政改革推進室は町長の直属の組織になっているんですけれども、各

市町村では町長の直属の組織というのは、行政業務の回りくどくて時間が掛かりすぎるのを解消して、小回りがきいてすぐ実行に移す目的で作られるのが普通なんです。直属の組織というのは。例えばすぐやる課とか、住民の声課とか、そういうのがあられるらいいですよ。だから、今、行政改革、行政改革と言っているんですけども、もちろん施設の統廃合とか大きなもの以外は、小さな案件からすぐ実施できるように、それを行政改革推進室にある程度チェック機能、実施した後の確認とか指導とか、そういう権限まで与えないと、後々計画を作った、はい終わりというふうになりかねないかなと思います。それについてお願いします。

○ 議長 仲地宗市

仲村渠一男行政改革推進室長。

○ 行政改革推進室長 仲村渠一男

まずはこの行政改革なんですけど、すぐできる事項についてはすぐ随時実施しています。例えば、今年度ですと、職員の質を高めるために職員の部内研修、接遇研修であるとか、現任職員の第一部の研修というのは、これは職員の資質の向上を図るためにすぐできますから、すぐやっていく。あと、事務事業の評価ですね。既に作業を進めています。手数料等の見直し、これも答申を待つことなく既に手を付けています。全ての住民サービスの提供を行う上に必要ないろんな手数料がございますが、その見直しも進めているところです。あと、補助金等の見直し、これについても既に進めています。

そういうことで、必ずしもこの委員会の答申を待ってやるということではなくて、先程の町長の答弁にもあったとおり、できること

はすぐやりますというのが基本的な姿勢です。

それから、行政改革推進室の権限といたしましては、町長の直属ということで、手順的にはいろいろと各関係課と協議をして進めていくというのが基本スタイルでございます。これは今までのシステムを変えるわけですから、やはり部内的に十分な協議を行って進めるというのが基本的な姿勢になっております。

それから、その進捗状況のチェック機能につきましては、当然、行政改革推進室として主管課に対してその資料の提出を求めるという権限もございますので、当然そういった権限をフルに活用して行政改革の進行管理をしっかりとやってまいりたいと考えております。

○ 議長 仲地宗市

14番平良朝幸議員。

○ 14番 平良朝幸議員

組織の中で専任が2人、先程言ったとおり兼務の係が10名というふうになっていますけれども、この10名の名簿を見たらみんな係長クラスなんですね。これは各課の痛みを伴うものを本当に係長クラスでできるのかどうか。なぜ課長クラスに行政改革推進室の兼務をやらせなかったのか、そこらへんについてお願いします。

○ 議長 仲地宗市

平良朝幸議員、本件に対する質疑は3回までとなっておりますけど、会議規則55条但し書きの規定によって、特に発言を許します。

仲村渠一男行政改革推進室長。

○ 行政改革推進室長 仲村渠一男

それは、平良議員からご質問があったとお

り、この兼務発令は全て係長となっております。なぜ係長かといいますと、やはり各課の事務が一番実務的に細かく精通しているというのは、やはり係長だろうということから、係長に兼務発令しております。あと、課長につきましては、なぜ課長が入っていないかということなんですが、課長につきましては、三役、管理職で構成します行政改革推進本部というのがございますので、そこでまたさらに課長も含めて協議をするという仕組みになっています。

まずはその手順なんですが、まずどういったことでも兼務発令されています係長と、あとは行政改革推進室の専任、それから総務課長、企画財政課長を含めて事務局で素案を作成します。その素案作成の段階では係長が中心になっていただく、それを元にさらに管理職、三役等で構成する行政改革推進本部、そこでさらに検討する。その検討したものを町の案として、行政改革推進委員会に諮問をするというような手順になっていますので、いずれにせよ、係長の意思も反映されている、課長の意思も反映されているという仕組みになっております。

○ 議長 仲地宗市

14番平良朝幸議員。

○ 14番 平良朝幸議員

時間も金なりということ念頭に置いて、早く見える形で進めることを期待して、質問を終わります。

次、農業委員会について。農業委員会については、今まで住民から、法令業務以外に、その農業の振興に関することを積極的にやってほしいというのは多々あるんです。それについて、例えば久米島農業委員会は、名簿を

見ると現在19名、毎月1回の会合を持って、申請された3条、4条、5条、この許認可業務を行っています。19名で月1回の会合で、1人約4万円、約76万円ですよ。人数が多いとか、報酬が多いとか、そういうことを言っているんじゃないです。農業委員会の他の業務も積極的にやってほしいということを行っているんです。久米島に7つの農業法人ができましたけれども、主にさとうきび主体の経営で、各法人とも機械化のために補助事業でハーベスターやトラクターなどを導入しましたが、コストが非常に高く、非常に厳しい状況です。特にハーベスターは、頻繁な移動で機械的な消耗、時間のロス等、いつまでたっても1トン5千円以上の刈り取りはできないという状況です。原因は、耕作面積の拡大の頭打ち、土地の分散、そういうことがありますが、土地の集積、まとめることができれば農業の抱える問題は大部分は解決できると思います。土地の流動化斡旋等、農業委員会に期待するんですけれども、農林水産課と協力して何とか一地域をモデル地域にすることから始めることはできないかどうか。

○ 議長 仲地宗市

大田治雄農林水産課長。

○ 農林水産課長 大田治雄

農業委員会と農林水産課が共通しての回答になるかと思うんですが、ただいま諸々の指摘の現状があります。集団化においては、ほ場整備し、換地処分をする中で、その段階でも地区によっては換地が難しい地区とかが過去にありました。元々先祖から譲り受けた場所が一番いいというような昔からの考えの方々もいるし、特に最近はハーベスター等の大型機械化が導入されまして、確かに効率も

悪くて、いろんな面でこの法人についても必ずしもいい経営をしているとはいえないと思います。これについても県の糖振協の方からも今回事業として、この経営分析をやるということで、昨日、次長の方も見えておりました。今後についてはそういう分析も進めながら、今後どうするかたちで、より安定した法人を育成させるかというの、いろいろと連携を取りながら、また今の土地の集団化についても、交換分合で今後事業としても導入できるかどうか、そのへんも県の方とも調整しながら、また各地域の代表の農業委員の皆さんの意見も拝聴しながら、この件は検討する必要があります。確かに理想としては、今おっしゃるような形なんですけど、現実としては非常に厳しいということもあろうかと思えます。その辺をいろんな形で分析しながら連携して、今後取り組んでいきたいと思えます。

○ 議長 仲地宗市

14番平良朝幸議員。

○ 14番 平良朝幸議員

今、久米島町は高齢化が進んで農業者の把握が非常に難しい状況にあるんですけれども、農業者の把握は行っていると思うのですが、一部農業者の資格を失った者、あるいは明らかに農業者だという者、こういう人たちが農業台帳に載ってないということが見受けられます。農業台帳をしっかりと、そういう人たちをちゃんと把握するというのも、もう一度見直してほしいと思えます。そして、これについては、現在どういう状況かを質問して、最後の質問とさせていただきます。農業委員会の活躍も今後期待して、これで質問を終わります。

○ 議長 仲地宗市

宮里剛農業委員会事務局長

○ 農業委員会事務局長 宮里剛

ご指摘のとおり、農業従事者の高齢化や兼業農家が進む一方、農地の利用率の低下、農地の遊休化、荒廃化が危惧される中、育成等が大きな問題となっておりますけど、農業委員会といたしましては、担い手の育成について、後継者のいない高齢農家、兼業農家と農業経営や農地の利用について話し合い、規模拡大に意欲のある農業従事者に推進してまいりたいと思います。

それと、三条資格の取り扱いについては、現在、名簿を作成中であります。またその都度、農業委員と共に指導していきたいと思っております。

○ 議長 仲地宗市

これで14番平良朝幸議員の一般質問を終わります。

次、9番平田勉議員。

(平田勉議員登壇)

○ 9番 平田勉議員

3点質問したいと思っております。まず最初に、グループホームの建設についてお伺いします。平成17年度運用開始で計画されたグループホームの建設が未だ着工の気配さえ見られません。本計画の進捗状況の具体的な説明を求めます。

次に、真泊ターミナルの利活用についてお伺いします。高速船ブルースカイの運行廃止が決まっております。その運行廃止により真泊ターミナルの遊休化が想定されます。同ターミナルの有効利用をどう図るのか、その利用計画についてご答弁をお願い致します。

3点目に、バーデハウスの町民の活用につ

いて質問致します。バーデハウスの利用により健康増進、健康管理の効果が町内の高齢者の間でも大好評であります。高齢者向けの利用メニューやサポート体制及び料金制度をさらに工夫し、より気軽に有効的に利活用できるよう取り組む考えはないかお伺いを致します。

以上、3点について町長のご答弁をお願い致します。

(平田勉議員降壇)

○ 議長 仲地宗市

高里久三町長。

(高里久三町長登壇)

○ 町長 高里久三

9番平田議員のご質問にお答えします。1点目、グループホーム事業については、平成15年6月17日付けで沖縄県知事宛に設置要請を行い、事業主体は社会福祉法人久仙会が申請を行っております。平成16年5月19日付けで平成16年度社会福祉施設整備国庫負担金の内示があり、9月着工の予定であります。

建設予定地は、旧仲里中央保育所敷地ですが、地域からの反対の意見が出ており、町として事業主体の久仙会と連携をし、地域住民への理解を得るため事業説明会を行う予定で調整中であります。

2点目、今年の11月からブルースカイの運行廃止に伴い、現在ターミナルビル内で営業を営んでいる株式会社久米商船、おみやげ品店は撤廃となります。それに伴って空き室ができ、その跡利用については現在、町としても検討中でございます。まず、ターミナルとしての事業の廃止をし、他の利用方法を検討するか、目的外使用ということになりますと廃止をしないといけなくなるし、またターミ

ナルを残したままの利用方法があるのか、それとも港の利用方法も検討しながら、今後、その利活用については検討していきたいと思いをします。

3点目、バーデハウスの入館形態については、6割以上が島内在住者であり、その中でも高齢者が多数を占めているのが実情であります。そうした状況の下、高齢者へのプログラムメニューやサポート体制の充実化につきましては必須条件となっており、その一環として9月からは島民のお客様が多い午前中に三本のプログラムを実施しております。

これまで行っている誰でも参加できる「太極拳（ちゅうたいちー）」の継続と同時に高齢者向けに合わせ「関節らくらくコース」、「血液スッキリコース」を二度実施しております。

また、サポート体制につきましては、車椅子のお客様が入館されますとスタッフ1名が衣料の着衣からトイレまで、完全に付いたままのサービスを行っております。

結論としては、料金制度につきましては、オーランドも独立採算で運営している会社であり、もうしばらく会社の経営内容を見ながら判断をしていきたいと思いをします。

（高里久三町長降壇）

○ 議長 仲地宗市

9番平田勉議員。

○ 9番 平田勉議員

グループホームについて再度質問します。この施設は地域一体となった連携型のケア施設ですね。この事業が頓挫をしたときに二度とこの事業が導入できないという危惧をしています。しかもグループホームの設置条件の中には、地域社会の中に設置をして、日常の

生活を体験する中から痴呆の病状をそれ以上進行させない、あるいは回復に向けてやっていくという目的を持っていますから、従来の特養の施設みたいに人里離れた所で設置をするというのは無理ということになると思っております。そういう中で地域の了解をどう得るのか。あるいは地域との話し合いをどうするのか、早急に取り組む必要があると思っております。

あと1点は、国の方もこういう福祉施設の補助金の廃止が検討されているというのが今月初めの新聞報道でもあったと思いをします。現実的にも沖縄のこういう施設の充足率というのは全国平均の約1.8倍という状況です。こういう状況を踏まえたときに、大変危機的な状況に来ているのかなということで危機感を持っています。これは介護保険の広域連合を含めて、各地域からいろいろ事業申請があるけれども、合併前からいろんな対応をしながら久米島に事業を認めさせてきた、認可を得たという経緯があります。高齢化率がますます高くなっていく久米島の実態等を踏まえて、早期実現ができるように取り組んでいくのか、そのへんをもうちょっと具体的に説明をお願いします。

○ 議長 仲地宗市

平良進福祉課長。

○ 福祉課長 平良進

町長から先程もご答弁ありましたとおり、旧仲里中央保育所跡に、このグループホーム設置、ワンユニット9名の共同生活、地域密着型という形で計画はやって、国からも認可がおりております。ただ、この事業の決定の段階で、敷地の選定の問題、その時点で本来は地域住民、行政、それから事業主体の久仙

会も一緒に地域への説明が必要ではなかったかなど。これは地域に対して事業の説明がなかったことは、大変行政、久仙会さんもお互いちょっと的がはずれたやり方をやったのかなど反省しています。これは地域住民に謝りたいという考えを持っております。

先週も久仙会さん、それから町三役、庁議にも諮りまして、最初の場所で事業は進めていく方針を打ち出して、来週の9月21日に謝名堂公民館において8時から、とりあえず地域説明会を予定計画しております。グループホームにつきましては、先程、平田議員がおっしゃったとおり、主目的は65才以上の老人で、要介護、介護保険の認定を受けた方が軽度の痴呆がある方で共同生活が可能なお方という条件が付されています。こういった諸々の条件というのは、やはり住み慣れた地域で痴呆を遅らせたり、その地域で生活をするというのが大きな目的で、地域と密着型、地域の横の連携も社会に復帰できるようにということで大きな目的を持っています。地域の説明はとりあえず来週の21日午後8時から予定をしております。

○ 議長 仲地宗市

9番平田勉議員。

○ 9番 平田勉議員

これは要望になる部分もあると思うんですけども、みんなの話を聞いても、どうもグループホームに対して誤解をしている部分があるのかなという気がしています。今、答弁があったように、共同生活ができるという前提もありますし、軽易な痴呆というふうな、いろいろな形の条件があるんですけども、どうも深夜徘徊とか、いろんな部分を地域の皆さんは大変心配をしているのかなという気

がします。グループホームそのものの中身を十分に理解をしていないような誤解をしている部分があるのかなという気がしていますので、そこらへんもぜひ早急にやってほしいという気がします。

前からサービスの格差という話を介護保険料等のからみで言ってきたんですけども、一番気になっているのは、本当に高齢者の皆さんへのその部分をもっと真剣に、きめ細かにやるべきです。平成17年度の現介護保険の保険料の算定をする事業計画の段階では、15年度にグループホームもスタートするという前提で事業計画を策定をし、基礎となる料金算出をしたはずなんです。17年度で現料金は3年になりますから、3年ごとの見直しですから、次回の料金まではおそらく現行の3段階のランク制で行くと思いますけれども、さらにその3年後に一保険、一料金という話になったときに、被保険者に対して当然一料金になると久米島はかなりのアップ率になると思われます。そのときに被保険者に対して料金がアップする理由をどういうかたちで保険者が説明をしていくのか、大変難しい条件におかれると思います。そういう先のことも考えたときに、このグループホームの設置、あるいはそこに9名の方が入りますから、特養、あるいは今、県内の他の施設に入っている人がそこに戻ってくると、経済的な負担が軽くなるという部分もあります。あとは久仙会から移る人がいれば、そこに空きができます。待機している人がそこに入っていけるという、その部分も含めて、総合的に判断をして、早急に取り組みをしていただきたいと思えます。

そのためには、町長以下三役も含めて地域

住民との対話を、本当に腹を割って話し合うという対応をしていただきたい。ぜひ実現をさせてほしいという気がします。今後の取り組みを含めて最後に答弁をお願いします。

○ 議長 仲地宗市

高里久三町長。

○ 町長 高里久三

今、議員から指摘があるように、これは絶対に必要なものであると。まず我々は願わくば今の久仙会の特養老人ホームをあと20床増やして50床にしたいと、それで助役が私の代わりに高良さんと厚生省まで行って、直々に要請をして頑張ってきました。それでどうしてもダメだということで、その補助として今のこのグループホームができたわけです。それも入所は、共同生活に向かないと、また、重傷の痴呆のある人は入れないというような非常に厳しい条件があるけれども、どうも地域の皆さんは、我々の説明不足かもしれないですけども、非常に重度の精神薄弱者の収容施設みたいに感じられて、そのへんが地域の皆さんが反対する大きな原因ではないかなと思っています。先程指摘があったように、もしこれが流れた場合に、今の厳しい国の方針のもとでまたもらえるという補償はないですね。それと、ここにできて、次にまたあっちにできないの、何でこっちかというような地域間の争いごとになるし、私は、ここにできたら次は比屋定校区、または大岳校区にも、あと二つくらいはこのグループホームを設置したいと。といいますのは、21床になりますから、これだけであればもっと地域のそういう弱者を抱えている家庭の皆さん、また、本人にとっても非常に精神的な苦勞の軽減もできるし、また、これからの福祉の向上にもつ

ながっていくのではないかなと思っています。そういう意味で、先程課長からあったように、ぜひ地域の説明会をもってもらって了解をしてもらおうと。そしてその後に実際に那覇にある施設を、地域の代表者も交えて視察してみて、そして納得させると。そしてぜひ皆さんのお力も借りて、このグループホームというのはそういうもっと家庭的な共同生活ができて、皆さんが考えているような施設ではないよということも、皆さんも機会がありましたら町民の方々にも説明してもらって、理解をしてもらいたいと思います。ぜひ今年で事業実施したいと思っております。

○ 議長 仲地宗市

9番平田勉議員。

○ 9番 平田勉議員

ぜひ実現に向けて、苦勞すると思いますけれども、よろしくお願ひしたいと思います。必要であれば、私たちが側面からバックアップしていきたいというふうに思います。

次に移ります。真泊のターミナルですが、ブルースカイの運行廃止は既に1年くらい前から言われてきたことであります。これは漁船の修理施設を造るときにその航路の問題とか旧仲里村の時にいろいろ議論もいたしました。一番端っこの方でそれができたら、フェリーは現状でも真泊に入港するのは無理だということも議論しました。修理施設も着工し工事中であります。さらに今後のフェリーの運航体制の説明を聞いても、高速フェリーに順次移行をしていくという久米商船の計画等もあります。先程答弁の中で出ていましたターミナルとして残して事業するのか、このへんの部分はおそらく無理なのかなという気が私はします。であれば、目的が違ってくるわ

けですから、その施設を別の方法で活用する手立てがあるのかどうか、工夫したらどうかという気がします。

例えば、漁協の婦人部の皆さんが、そこで今の若い主婦の皆さんに魚の捌き方を教えたり直売店を設置をすとか、いろんなかたちで水産業の生産物に付加価値を付ける。あるいはその製品の販売、水産業の今後の発展のためにそこを拠点にして、後継者育成等を含めて有効活用する方法がないのか、そういうのも含めた検討があってもいいのではないかなという気がするわけです。今後どうするのか、ぜひ漁業組合とも意見交換をしながら、あるいは今後、観光でのダイビングの部分はこの建物を有効活用できないか、関係機関とも意見交換しながらより有効的な利活用をぜひ工夫してほしいと思います。商工観光あるいは農林水産課としてどう取り組んでいくのか、再度答弁をお願いします。

○ 議長 仲地宗市

盛本實商工観光課長。

○ 商工観光課長 盛本實

確かに1年前から高速船を廃止するという話を受けまして、その跡利用に関して我々役場の中では、その跡利用をどうするかということに関しては、かなりそれを協議しました。別にその跡利用に関して、今のターミナル以外のことをやるのであれば、どういう問題がそこにあるのかという部分を含めて検討はしてきました。その施設のある土地は、元々漁業関連施設ということで整備されておりまして、たまたま久米島の都合によって、そこを一時用途廃止をして、漁港関連施設から旅客ターミナルというふうにやっていただいたわけですが、ただ、今後その建物の目的によって

は、この用途廃止がどういうふうになるかという部分で、漁港課あたりと調整は図ってきたんですけども、基本的にはなかなか難しい。「国庫補助も入っております、完全に用途廃止ができるのか、それとも一時転用でやるのかという部分は、我々県の方としても調査、国との調整が必要がある」という話がありました。

しかしながら、「地元の活性化につながるのであれば、それは積極的にやらないといけないだろう」ということも聞いておりますので、そのへんの補助金に関する適性化法の問題もクリアするのではないかというふうには考えています。

ただ、問題なのは、町がどういう使い方をするかの問題だと思いますけれども、今後、今、議員さんがおっしゃったような内容も含めて、この跡利用に関しては考えていきたいと思っております。

土地は別として、建物が、これは県の補助なんですけれども、離島振興特別事業ということで、ほとんど県の補助を受けて建物は造ったんですけども、これに関しても、同様に補助金が投入されているものですから、目的外使用すると、またさらにそこに問題が発生するというので、今、県の地域離島課あたりとも調整はしている最中でございます。

いずれにしても、11月からは、ほとんどの事務所が撤退しますので、早急にその対策は立てないといけないだろうということも考えています。それを含めて、先程町長がおっしゃったように、今後、本当にそれを高速客船、ジェットフェリーも含めて、そこに就航する可能性がないかどうかも含めての検討にはなると思います。

○ 議長 仲地宗市

高里久三町長。

○ 町長 高里久三

この跡利用の問題は重要な問題でありまして、今、県のある部署からは、ヨットハーバーにしてはどうかという話も出ています。ただ、先程、用途変更した場合の問題、今、美崎保育所を変更しようとしたら6千万円くらい返還しないといけないと、「起債が残っているので、それを返還して、残りは自由に使って下さいよ」ということがありますので、このターミナルにしても県が補助金を入れていくら残っているか、そうした場合に今の財政状態では対応できないし、そのまま残しておいて、先程、指摘があったように漁業水産関係、または観光関連として使用できないか、ひとつ皆さんのいい知恵があったら共々に研究して、せつかくの施設を閉めるわけにもいけないし、有効利用を図っていきたいと思っております。

○ 議長 仲地宗市

9番平田勉議員。

○ 9番 平田勉議員

いろいろな規制とか補助事業との関連、クリアすべき課題というのはたくさんあると思います。今、町長から答弁がありましたように、せつかくある建物を本当にみんなで知恵を出し合って有効的に利用するというのを、みんなで真剣に考えていかないといけないという気がします。これからもその活用については意見交換しながら、みんなでいいものを作っていきたいということを申し上げまして、次に移ります。

バーデハウスの関連、前にも町長にお話ししたんですけれども、いろんな場で、高齢者

の皆さんから、本当はもっと行きたいけれども、金が続かない、年金で生活をしている高齢者の皆さんからそういう声が聞こえます。観光誘客の目的で補助を出して、東京直行便利用者への無料券の配布とか、そういうことも施策としてやってきたはずなんです。それを踏まえて、一番高齢者の皆さん、利用者から話を聞いて注目しているのは、何かがあるとすぐ病院に行く、病院が年寄りの社交の場になっているというふうな、一時期そういう話が聞こえたくらい、年寄りの皆さんが病院に行っていたんですけれども、病院に行くよりもバーデに行った方がいいというふうな私たちで、それが一時のブームではなくて、今後もそういうかたちで続くのであれば、老人医療の部分でかなりの余裕が出てくるのではないか。一般財源の持ち出しの部分にも影響が出てくるのではないのかという気がします。その余裕の分、あるいはその分くらいからの助成をして健康増進、あるいは年寄りの社交の場というかたちでもいいです。キャンプ場等を利活用した地域の子供会と連携をしたイベントの計画とか、そういう時のキャンプ場の利用料金を特別料金が設定できないのか、そういうものも一部助成をしながら、高齢者向けの料金制度というものを検討してもいいのではないのかなという気もするわけです。

そこらへん、独立採算の会社という答弁がありましたけれども、そういうことも考慮しながら、料金制度をもうちょっと工夫ができないのかという気がします。そこらへんの可能性はどうなのか、再度答弁をお願いします。

○ 議長 仲地宗市

高里久三町長。

○ 町長 高里久三

今の質問、大変私たちも設立当初に、こういう保守的な離島ではたして男女混浴のバーデに入るかなど、大変心配しましたけれども、やってみたら全く予想外で、当所の7割くらい、7.5は島人でしたけれども、現在は逆になっていますけれども、それで、当所は1千円というかたちにして、1カ月はサービスのかたちで500円でやりましょうということでやりましたが、今、議員から指摘があるように、あまりにも年寄りの皆さんが喜び、そしてよかった、よかったということもあるものですから、じゃああと2カ月くらい延長しようかということでしたけれども、取締役会でずっと500円で通そうということで、今、やっております。ちなみに100名入って5万円です。県外の皆さんが17名入ったら5万1千円入るんです。17名と100名との料金体系の差になります。ですから、これが1千円で仮に入るとすると、バーデの運営にそうとうの恩恵を与えますけれども、500円という金額では100名入って5万円ですから、仮に県外の皆さんが100名入ると30万円になるわけです。そういう面からして、非常に厳しい状況に今ありますけれども、ただ、先程指摘があったように、老人医療からは間違いなく軽くなると予想しています。といいますのは、昨日、国保運営委員会の初議会がありまして、その中に久米島病院の事務局長の大城さんがいますけれども、年寄りがだいぶ減ったと、久米島公立病院に来る。それからすると間違いなく減るのではないかなど期待をしていますので、もし来月で、9月でちょうど半期になりますので、この半期の仮決算をして、状況を見て、さらにこれに、例えば10回行った

ら1回はサービスとか、そういういろんな方法があると思いますので、そのへんも会社のバーデの状況を見ながら考えていきたいと。これはあくまでも町民の健康増進という大きな目的ですので、観光振興は第二次になりますので、町民がそれだけ健康であり、喜ばれるならば、第一か第二日曜日の2日間は老人は無料にしますよという、いろいろな方法があると思いますので、幸いにして老人の皆さんが午前中の暇な時に利用していますので、そのへんは、今指摘があるように何かのかたちを借りてサービスをしていきたいと考えております。

○ 議長 仲地宗市

9番平田勉議員。

○ 9番 平田勉議員

大変配慮しているなということで感謝を申し上げたいと思います。ぜひ、みんなで作ったものをみんなでより有効に利活用して、高齢者の皆さんが元気で、素敵なおじいちゃん、おばあちゃんと言われるような、そういう長寿の島、ヘルシーアイランド構想という言葉が出ていたんですけれども、その具体的な中身は知りませんが、そういうものにもこういう年寄りが元気でやっている部分、バーデの活用と相通じるものがどこかにあるのかなという気がします。商工観光課だけではなくて、福祉課とも連携を図り、老人福祉の一環の事業としての何らかの事業化とのドッキングが可能なかどうか、そこらへんもぜひ知恵を出して工夫をしてやってもらいたいということを最後に質問し、答弁をお願いし、終わりたいと思います。

○ 議長 仲地宗市

これで9番平田勉議員の一般質問を終わり

ます。

休憩します。(午後 2時30分)

○ 議長 仲地宗市

再開します。(午後 2時40分)

引き続き一般質問を行います。

次、5番宮田勇議員。

(宮田勇議員登壇)

○ 5番 宮田勇議員

5番宮田です。一般質問を2点ほど行います。行政改革について、まず1点目。先程、午前、午後にわたって二人の議員からもありましたが、また改めて別の部分で聞きたいと思っております。

国の三位一体改革により地方交付税制度の財源保障機能の見直し等により本町においても財政状況が急激に悪化しております。平成16年度予算において、約4億6千万円の財源不足が発生し、前年度対比マイナス24.4%の予算編成でありました。このように厳しい財政環境の中で今後の町運営も危機感に迫っております。財政立て直しのためには行政改革は最大の課題であります。本町は行政改革大綱を作成し、実施に向けて進めておりますが、その進捗状況をお伺いします。

2点目に、歌碑の建立についてでございます。町内にはいくつかの歌碑が建立されております。歌は作詞家の、それぞれの歴史と文化がにじんでおります。先人たちの栄光を讃え、後世に残すことは人間として誇りであり、また繁栄にも繋がるものと思っております。旧仲里村の元村長をなされておりました方で故宇久本政元氏の作詞に「母恋し」という有名な詞があります。この詞は大正時代に宇久本政元氏が師範学校の頃に作られたそうであります。また、この詞は宮良長包先生の作曲にの

せて幅広く歌い継がれて有名な詞であります。そしてまた、歴史的背景もあり、大変貴重な詞であります。久米島町の誇りでもあります歌碑の建立をしてほしいと思っております、教育長の所見を伺いたいと思っております。

(宮田勇議員降壇)

○ 議長 仲地宗市

高里久三町長。

(高里久三町長登壇)

○ 町長 高里久三

5番宮田議員のご質問にお答えします。1点目、行政改革の進捗状況につきましては、これまで三役、課長等で構成する「行政改革推進本部会議」を5回、外部委員で構成する「行政改革推進委員会」を3回開催し、一つに効率的な事務事業の推進と行政サービス、2点目に時代に即した組織管理・人事管理の見直し、3点目に定員管理及び給与の適正化、4点目に人材の育成及び確保について検討を終えています。

(高里久三町長降壇)

○ 議長 仲地宗市

喜久里幸雄教育長。

(喜久里幸雄教育長登壇)

○ 教育長 喜久里幸雄

5番宮田議員の歌碑の建立についてお答え致します。歌碑の建立は、宮田議員のご指摘のとおり、旧両村でも昔から地域に残る琉歌等の歌碑を建立し、先人たちが残した貴重な文化遺産を後世に残すことにより、児童生徒の学習の場としての活用はもとより、観光資源の一端を担うものとして、これまで12基を建立してまいりました。

今年度も久米島町文化財調査審議委員会の答申に基づき文化課の重要課題に位置付け、

財政当局と予算折衝を行ってまいりましたが、財政事情から見送られた経緯がございます。

当面設置すべき歌碑は「母恋し」を含め、10基ほど予定しております。予定歌碑建立に向け、今後とも財政当局との予算調整を行っていききたいと考えております。

(喜久里幸雄教育長降壇)

○ 議長 仲地宗市

5番宮田勇議員。

○ 5番 宮田勇議員

行政改革については大変重要な問題で、先程、二人の議員からもありましたが、組織管理、人事管理の見直しということで、先程、町長からありましたが、組織管理はもちろん事務能率の効率化ということであります。課を廃止してグループ、チーム制を検討して実地するということですが、その内容を、役場の部内の職員もまだ把握してないという声も聞こえますが、そのへんはどういったかたちでやっているのか、もう一度説明を求めます。

○ 議長 仲地宗市

仲村渠一男行政改革推進室長。

○ 行政改革推進室長 仲村渠一男

この機構改革につきましては、現在、詰めの作業をしているところであります。これから職員に対しても、両庁舎別々に説明会をしていく予定です。少し詰めなければいけない部分がありますので、職員に対する説明会はこれからであります。

内容につきましては、目的志向型、成果を重視した行政運営を行うための組織ということで、目的志向型行政運営システムの構築ということを主眼において取り組んでいます。

具体的には、これまでの課、係長制度を廃

止した上で、総務部門、産業振興部門、税務部門というようなかたちで同一の目的を持っている部門を部門としてまとめて、基本的には横の連携を強化すると。これまでの縦割り行政から横の連携強化型の組織へ取り組むといったところですが、これだけを説明していただきますとかなり時間がかかりますが、必要などころだけご質問があればお答え致しますが、全体的な説明につきましては、10月の議会の全員協議会で局長の方にも入れてありますので、そこにおいて細かい説明はしていきたいと考えております。

それから、職員に対する説明もできれば10月の前半を考えております。

○ 議長 仲地宗市

5番宮田勇議員。

○ 5番 宮田勇議員

課を廃止して、今までの縦割り行政から並立した横割りで部門、チーム、グループ制という今の説明でありましたが、聞きますと、今までこの課でやっていたのが、また別の部門へ移るとか、例をいえば、住民課だったら、住基は総務に行くとかというのを聞いていますが、それはあちこちにみんな該当しますよね、福祉も。そして、健康保険も、事業は住民課のグループでやって、そして税の徴収とかは税部門に回すとかいろいろあるんですが、それは複雑で、やっぱり雑になって住民サービスに混乱はないか、そのへんとても気にしております。そのへんがどのようにスムーズにやっていけるのか、今年の12月議会で提案して4月から実施するというんだが、職員の中でも今はちんぷんかんぷんで、これは混乱しないかなといういろいろ今話が出ています。そのへんは具体的に本当にできるのか、

そしてまた人事管理の面についても、この文書にあるように、適正な人事管理を進めるため、公正な理由があれば公認、免職、休職、公休といった処分等も公正な基準を明確にするということですが、職員それぞれ格差があって、そのへんの基準というんですか、その評価はどのようなかたちでやっていくのか。これは大変難しいと思うんですよ。そのへんは考えておりますか。

○ 議長 仲地宗市

仲村渠一男行政改革推進室長。

○ 行政改革推進室長 仲村渠一男

まず1点目の事務の移動の件でございますが、確かに今ご指摘があったとおり、例えば今、国保においては徴収率が低いということが非常に問題であります。今、住民の間からは、今日例えば町民税を取りに来たら、また翌日は国保税を取りに来ているといったような、そこは逆に無駄ではないかというような意見もございます。町税と国保税、同じ税ですから、この徴収を一本化することによって非常に効率的にできるのではないかとことです。次年度の一番重要課題は、やはり町税の、国保税含めて徴収率の向上、これが一番重要ではないかと思っております。次年度以降、これは補助金の一般財源化に伴いまして、これを住民税に移譲するというので、今、検討が進められています。

それと、交付税の中においても、町税費は町税の実績に応じて交付税も支給するというようなことも検討されていますので、一番徴収率の確保ということは次年度以降の至上命令と申しますか、一番重要事項になってくるかと思っておりますので、やはりその部分の強化を目指して国保も町税と課税、事業部門とを分

けて実施した方が、やはり行政の成果を上げるにはその方がいいというような考え方に基づいております。

それから、国保の中でも健康づくり事業がございますけれども、これも今現在の保健衛生課の保健部門と共同でやっていますけれども、それも組織的に一つの部署にまとめた方が非常に町民の健康づくり事業の方もいだろうというふうなかたちで、そういうまとめ方をしています。目的は、先程も言ったとおり、やはりいかにすれば成果を出すかというような組織の目的に基づいて、目的ごとに編制しているということです。それが1点。

それと混乱の問題ですが、当然今までの組織というのをガラッと変える時は多少の混乱はあるかと思っております。ですから、できるだけこの混乱を少なくするように事前に職員への周知徹底、あるいはさらに各課で細かい事項の点検を行ってできるだけ混乱の少ないように取り組んでまいりたいと考えております。

それから2点目の人事評価の件ですが、人事評価については、今年度、国家公務員につきましては、国家公務員の法律改正、秋の国会も予定しています。それに伴いまして、地方公務員法の改正も予定されております。予定としては、国家公務員は18年度から能力等級制度への移行ということになって、急激に公務員についても民間企業と同じようなかたちで、これまでの年功序列制度の給与体系から能力主義の給与制度への移行が今進められようとしているということで、その前提になるのが、やはり人事評価であります。ですから、一番これまで誰も経験したことがない難しい問題でありますので、この件につきましては次年度ぐらいに、17年度に検討委員会を

設けてじっくりと検討して、18年度からその人事評価を実施していく予定で今考えております。

○ 議長 仲地宗市

5番宮田勇議員。

○ 5番 宮田勇議員

この件にもう1回お願いします。

○ 議長 仲地宗市

宮田勇議員の本件に関する質問は既に3回になりましたが、会議規則55条但し書きの規定によって特に発言を許すします。

宮田勇議員。

○ 5番 宮田勇議員

5つの部門に分かれて、チーム制度と言うことを聞いておりますが、これまでの課長は今20名近くおりますが、その課長の身分待遇というのは、どのようになっていくんですか、係長とか。

○ 議長 仲地宗市

仲村渠一男行政改革推進室長。

○ 行政改革推進室長 仲村渠一男

課長の身分については変わりません。課長の職名が室長に変わるということでございますので、身分の取り扱いについては、これまでと特に変わりはありません。あと、新設になりますのが、総務部門ですね。例えば部門ごとに総括室長を置くという予定で今考えています。総括室長というのは、これは専任ではなくて、例えば総務部門が、総務、企画、財政、あとは行革、それから今の住民課の一部ですね、これをまとめて総務部門ということで、その中の課長のいずれかが総務部門のまとめ役として、総務部門の総括室長を務めてもらうということで、今、考えています。身分についてはこれまでどおりで、課長と全

く同じ身分であります。

○ 議長 仲地宗市

5番宮田勇議員。

○ 5番 宮田勇議員

歌碑の建立、教育長は、財政も厳しい中、予定として建立予定が10基くらいあると聞いております。この詩は沖縄の有名な音楽家、作曲家宮良長包先生の曲で、我々も学校唱歌、学校等でもいろいろ学習して、幅広く沖縄では有名なこの「母恋し」、この詩は久米島にとっては大変歴史的背景がありますね。登武那覇の笠末若奈良との関連があるそうです。そうやって若奈良の母が栗国へ流されて、その母を恋する、話せば大変長いのでそこまでは言いませんが、そういった背景もあって、こうして今宮良長包ドキュメンタリーという映画を作成しているそうであります。そういった中でも、この曲も出てくることでありますし、これだけ映画でもこうして宣伝されて、広く伝えられれば、今の何十倍という久米島の先人が残した大先輩の詩が広くさらに継ぎわたるわけですね。そういった意味で、この歌碑の建立というのはこれから観光資源として、こうして映画にも出る、映画にもあったこの詩の歌碑はここにあるのかという、そういった位置をしっかりと示して、久米島の発展にも必ずや幅広く学習面、文化面、観光面といろいろなかたちで伝わっていくと思えます。順位もあろうかと思いますが、まずこの歌碑を優先的に建立してほしいと思えますが、もう一度答弁をもらって質疑を終わります。

○ 議長 仲地宗市

与座勇文化課長。

○ 文化課長 与座勇

今の点について説明申し上げます。町として、教育長がおっしゃったとおり10基ほど予定しておりますが、「母恋し」の場合は2番目にあがっております。1番目が「仲里節」、そして「母恋し」は2位となっておりますが、予算の都合上、今のところ見送っておりますが、予算が許せば建立していきたいと考えております。

○ 議長 仲地宗市

これで5番宮田勇議員の一般質問を終わります。

次、10番上江洲盛元議員。

(上江洲盛元議員登壇)

○ 10番 上江洲盛元議員

日本共産党の上江洲盛元です。私は平和、道路、予算、観光等々について若干の質問を致します。

まず第1点目は、町立慰霊塔の建設についてであります。旧具志川村、仲里村の慰霊塔は、具志川が1975年建立、仲里が1951年建立で、両方とも老朽化しています。両村合併後、新生久米島町としての2施設を統合して一つにすべく町民の声が湧き出しました。町としてはその声に応えるべく、平成13年に両搭施設の統合を目指して用地選定委員会を設け、選定の結果、字上江洲の町指定名勝地のの上田森に決定されました。来年は終戦60周年の節目の年であります。何としてもこの機会に久米島島民の去る大戦による犠牲者を一つに合祀し、世界平和の発信の地としたいものであります。このことについて若干質問を致します。

①慰霊塔建設のこれまでの経緯について説明をお願いします。

②来年の終戦60年を目標に建設計画を立ててはどうでしょうか。

この際ついでではあります、関連して質問致します。③慰霊塔と同じ趣旨で戦争犠牲者の祀られている「痛恨の碑」があります。これについての学習広場の確保はどうなっているのかお伺い致します。

第2点目に、道路行政についてであります。道路は言わずとも島民島外の人々の利便性を考えなくてはならないし、また、歩くときや車の中で心地よい道路でなくてはなりません。このようなことから若干質問致します。

①景勝地ミーフガーより海岸線を通って空港への道路、具志川城趾線というそうですが、空港寄りで道路が閉ざされて通行止めとなっています。このことについて、なぜ開発しないのかご説明をお願いします。

②県道、町道ともそうであるように、歩道沿いに目的、意識的に植えられた低木は必要悪であります。何とかならないものでしょうか。全てとは言いませんが。

③県道であれ町道であれ、キビが歩道を覆って通行できない箇所があります。何とかならないのか。一般からの苦情も多いです。

④畑から石ころが堂々と捨て場になっている歩道がありはしないのか。

⑤歩道に車が常駐されている所はないか。

⑥道路の交通標識の乱れ、カーブミラーの修繕ほったらかしはないか。

⑦休憩所の東屋や、吹っ飛びそうな所はないか。お伺いし、善処策をお願い致します。

第3点目は、内閣府沖縄2005年度の概算要求についてであります。このことについては、8月27日の琉球新報1面から5面まで掲載されていますが、これについて久米島町関係で質問致します。①本町では何を要求し、何が盛り込まれたのか。

② 2面の解説に離島活性化など主眼とありますが、何らかのヒヤリングはあったのではないだろうか。

③ 4面「2005年度予算概算要求地域別主要新規公共事業」の地図の中に久米島が入っていないが、新規だからか、説明をしてほしいと思います。

④ 5面、離島対象に「交通事業と観光」の項になっていますが、これらは希望が持てそうであります。説明をしてほしいと思います。

4番目に、県道ンマウィーの電線の地中化についてであります。大きい3点目の内閣府の予算要求の中から、宮古では電線の地中化がなされると載っております。私の6月議会で取り上げたンマウィーの電線の地中化は県と交渉したのか。結果はどうなっているでしょうか、お伺いします。

5点目に、茂木長官の久米島視察目的についてであります。久米島には来島の実現はなかったようですけれども、茂木長官のオーハ島視察の目的は何なのか、お伺いします。

以上5点について、当局のご答弁をお願いして、壇上からの質問と致します。

(上江洲盛元議員降壇)

○ 議長 仲地宗市

高里久三町長。

(高里久三町長登壇)

○ 町長 高里久三

10番上江洲議員のご質問にお答えします。
1点目、慰霊塔建設に向けて。平成16年度8月20日大里村、具志頭村、西原町の慰霊塔の現地視察を実施しております。平成16年9月9日現地視察報告会を行い、建設について協議しております。

②平成17年度の慰霊祭については、旧具志

川村の慰霊の碑を平成16年度で整備し、一カ所で行う方向で検討しております。

③痛恨の碑の学習広場の設置について。旧具志川村からの係わりもありまして、町としてどのように係わり方があるのか、例えばみどり丸の碑の建立のように有識者の皆さんから奉仕をいただいて整備するのか、また、平和学習に関心ある皆さんのご奉仕をいただいて整備できないのか。また、仮にこの地主が売るかどうか。売った場合に誰の所有にするか。そのへんいろいろ問題点があるので、今後検討して進めていきたいと思っております。

それから、道路行政についての①、この路線は、旧具志川村時代に整備しています。整備に向けて用地交渉を何度も重ねてきましたが、当時地主の同意が得られずに整備するのを断念した経緯があります。

今後の整備については、地主の同意が得られれば整備を検討したいと思っておりますが、本事業は完了していますので、補助事業での整備は困難でありますので、町の単独事業になりますので、財政等も状況を見ながら検討をしていきます。

②低木については、以前から問題の提起がされています。現地を調査し必要でない箇所については撤去等、今後見直しも必要かと思っております。

③ご指摘がありますさとうきびの道路への倒伏は島内各地にありますが、近年台風の襲来が多く農家の皆さんも大変苦労していることと思っておりますが、この対策は関係機関とも連携し、広報誌や防災無線での協力を呼びかけてコースの邪魔にならないように実施していきたいと思っております。

④この件につきましては、歩行者や車両の

安全を確保するため現地等の確認を行いながら、地権者を確認し注意を施してまいります。

⑤違法駐車があれば久米島交番所と連携し対処していきます。

⑥台風等で標識やカーブミラーのゆがみや破損等が生じております。交通標識については、設置管理する沖縄県公安委員会と調整していきます。カーブミラーは町で設置し管理しており、現在、調査及び区長会を通して状況を把握し、修繕・整備を行ってまいります。

⑦県道島尻線の東屋は屋根瓦が剥がれて危険な状況でありますので、修理が必要かと思われまますので、県の方へ要請をしてまいりたいと思います。

内閣府沖縄県05年度概算要求について。①今回の美ら島会議においては、内閣府の担当と離島市町村との意見交換をし、その中から内閣府でとりまとめて予算要求をしており、久米島町としては特にどの事業ということでは要請をしておりません。

②平成17年度概算要求においては、離島活性化を担う人材育成、専門家派遣事業ほか3事業が計上されていますが、その活用については、今後調整に入るものだと考えています。

③地域別新規事業として地図に入っていますが、平成17年度の新規事業としては、カンジダム周辺環境整備事業、団体営基幹水利事業（スハラ地区）、観光案内板設置事業などがあります。

④本町においては、「沖縄体験滞在交流促進事業」を平成14年度、平成15年度に導入し、ハード部門では「伝統工芸体験施設（久米島紬伝統工芸体験施設）」及び「自然体験施設（奥武島キャンプ場）」の建設、ソフト部門では「島の学校」の体験プログラム作成事業

等々を行いました。

同事業については、平成16年度以降も県、国に対して要求をしてきましたが、既に実施した市町村については、他市町村とのバランスを考慮し当面の間の事業導入は難しいとのことです。

4番目の県道ンマウイーの電線の地中化について。以前にも県に電線の地中化について要請しましたが、現在、県道での地中化は計画にはないということでありまます。これは費用がかかるので道路管理者だけではできないそうでありまます。

共同溝建設に電力、NTT等の費用負担区分がありまして、それぞれ協議していかないと実施は難しいようでありまます。

茂木長官の久米島視察について。内閣府に設置された「美ら島会議」でのオーハ島が話題に上がり、オーハ島には何か事業導入ができないかということ由来島の予定だったと考えています。

大臣が来島の際は、島民から要請のある中から早急に実現できるものとして、緊急避難施設整備を要請をしていきたいと考えています。

（高里久三町長降壇）

○ 議長 仲地宗市

10番上江洲盛元議員。

○ 10番 上江洲盛元議員

質問の1点目ですが、来年、終戦60年ということで私は訴えましたが、ちょっと聞き取れなかったんですが、確認ですが、来年度はちゃんとして、これまでの経過は本島で3カ所回って見て協議をしたようでありまますが、今16年度ですよね、16年度で新しいのを造って、こういう意味ですね、今年度新しいのを

造って、来年度は新しい所で慰霊祭を行うということですね。わかりました。

それから、痛恨の碑、ちょっと休憩して下さい。

○ 議長 仲地宗市

休憩します。(午後 3時17分)

○ 議長 仲地宗市

再開します。(午後 3時21分)

10番上江洲盛元議員。

○ 10番 上江洲盛元議員

痛恨の碑については、当局と調整をして進めて、実行委員会なりを作って進めていきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願ひします。

それでは第2点目に入ります。具志川城趾線問題、これは個人的にも前に町長と相談したことがあるんですけれども、やっぱり地主との関係で、しかも補助事業として完了したと、ここでストップ、後はどうするかというような、今、財政難のときにとということもありますが、よく調べてみたら、150m～200m、そこいらですね、畑は。ただ、やっぱりそこへ行って、今は進入禁止と書かれているんですが、それがおかれてない場合にはずっと行って戻ってきた人たち、私も何回もあるんですけど、これはひとつ単独事業でなくてはいけないということでもありますので、一つの道路ですから、しかも観光道路の一つですから、ひとつご検討を願いたいということで、終わりたいと思います。

それから、先程、崎村議員からも低木の話は出ていましたが、仲里村議会時代に、あまりひどいものですから、歩道でありながら人が歩けないというのがあちこちあるんです。それで県道だということ、県の方に電話し

ましたら、その地域の実情に応じてこんなのはやった方がいいと。実は日本全国同じかたちでやられていますね。町であろうが、こういう素晴らしい景勝地であろうが。右左山の自然の緑を見て歩ける所に、こんな植えられたりして、これを県と相談して、何とかできないものかということです。

それから、先程もありましたブーゲンビリアの問題、実は、例えば今、イーフに行くとところ全部剪定していますね。花の時期と花が何もない時期と、これは工夫すれば、どうして工夫できないのか。2m隔てていて花を咲かせて、後の2mは切り込んでというふうにすれば年中花が見れるんですよ。那覇のガープ川を通るたびに思いますが、向こうはそんなにパッと植えてないんですが、所々にブッソウゲが生えていて、いつ見ても感じがいいんですけれども、そういう植え方ができないものかどうか。山城も今切り取ってありますね。イーフも、年中これはブッソウゲは花が咲きますけれども、フラワーアイランドという話もありましたが、ぜひともそこは県道は県と相談してやってください。今、役場から真謝に行くところはだいぶ立派になりました。低木を全部切ってしまうてね。それからいらぬのがあります。前に田里議員が質問した、公立病院へ行く道路。それから自然文化センターへ。あれは久米島に馴染まない木なんですよ。多分。もうあれは取って全部捨てた方がいいですよ。見苦しい。だから木の選定もいろいろあります。ハマジンチョウというのを奥武島に植えようという名前が出て、ヒアリングされたが、これはハマジンチョウというのは佐敷の湿地帯に生えるもので、しかも向こうの天然記念物、これを奥武

島に植えようというリストに載っているものだからびっくりした。樹種の選定の問題もあります。ひとつそこは慎重にやっていただきたいと思います。

それから、きびが道に倒れているとか、あるいは歩道に石ころが捨てられているとか、あるいは車が常駐しているとか。この問題、実は個人的にものを言うのは非常に難しいんです。現実いっぱいあります。これは町として、役場として指導するならいいんじゃないのかなと思います。これはこの間、私たちの老人クラブの中でもその話が出ていました。何とかできないものかなと。ひとつ町当局としてご指導願いたいと思います。

昨日でしたか、放送がありましたね。台風できびが倒れているので直して下さいという。それから、台風だからじゃなくて、日頃からカーブミラーがない、標識がない、サビたパイプが立っているだけと、こんなのも久米島中にいっぱいありますね。これは県との関係、あるいは町の道、町道であれば町との関係になるでしょうけれども、いずれにせよこれは美ら島久米島と銘打ったからにはこんな見苦しいものは早く撤去して、しかし、カーブミラーはちゃんとやらないといけませんし、標識もちゃんとやらないといけませんし、これはどこがやるのか、安全協会と県とか、あるいは警察じゃないでしょうね、やっぱり行政との関係でしょうね。これははっきりさせて下さい。後でご答弁いただきます。

さすがに東屋の問題、これは去年、一昨年にも私、出しているんですよ。島尻道ということでちゃんと町長は答えてくれました。もうご覧になったと思います。瓦がはげ落ちて、どんどん次の台風ではどうなるのかというこ

ともなるわけです。以上、2点目まで、1点目はいいですね、2点目の道路行政についてお答え下さい。

○ 議長 仲地宗市

神里稔建設課長。

○ 建設課長 神里稔

まず、道路行政につきまして、①についてでございますが、先程、町長から答弁がございましたように、何度も地主さんの方に交渉しておりますけれども、なかなかご理解が得られないということです。これにつきましては、やっぱりその家庭の相続関係等があるようございまして、本人と非常に難しいような関係があるということをお聞きしておりますので、このへんについては、再度その関係者に会って、ご理解が得られるかどうかということを考えてみたいと思います。

それから2番目の低木につきまして、先程議員から指摘がございましたように、あっちこっちで見苦しいということはありません。特に県道につきましては、先程からご指摘がございましたように、県の方と調整して、樹種の選定、植え換えが可能なのか県と相談してまいりたいと思っております。特に模範的な例としては、県道真謝の方、ほとんど低木は取ってあります。植えてありません。高木の下に、そちらについては、個人、それから地元の方々が花を植えて、その時期時期にあった花が咲いて、管理しておりますので、そういう方法ができないかということで、そのへん考えております。

それから、7番目の休憩所につきましては、さっそく現地を調査して県に報告してあります。これは県の方としても、災害状況を把握しているということで、直す計画はあると、

修繕するということではありますが、その事業も悩みがありまして、抱き込んで修理するということになります。

○ 議長 仲地宗市

平田光一総務課長。

○ 総務課長 平田光一

交通標識につきましては、県道であろうが町道であろうが、公安委員会の管轄となっております。その状況等については、こちらの交番所等を通じて調査をして、公安委員会にその状況を報告して、修繕とか設置とかそういうことの段取りだと聞いておりますので、こちらの警察とも調整をしながら、改善する所については要請をしていきたいと思いません。

それからカーブミラーにつきましては、町の設置管理となっております。設置する場合でもやっぱり公安委員会の許可をもらって設置をしているところです。いろいろ設置場所が非常に多くて、不備なところも多々あります。そして、毎月の区長会においても、各区長からカーブミラーの設置要請とか修繕とか、そういうものを受けております。それも受けながら、また調査もして、そして修繕、整備を図っていききたいと思いません。

○ 議長 仲地宗市

大田治雄農林水産課長。

○ 農林水産課長 大田治雄

③についてであります。さとうきびの道路への倒伏等については、先だって3日くらい前から防災無線を通して農家の皆さんに対処を呼びかけております。引き続き、次の区長会あたりにも注意を促すようなかたちで、また関係機関との調整も、久米糖さんあたりと連携して呼びかけていききたいと思いません。

そして、畑から出た石ころについても、これは平成15年の5月に、今、町の集落外年2回、そして集落内年1回の作業等もやっております。そういう中、チラシでも、道路、排水路に石、雑草、土砂等は捨てないよという呼びかけもやっております。引き続いて建設課とも連携して、そういうかたちでチラシ等も流し、またどうしてもひどい箇所については、地権者を割り出して注意を促していきたいと思いません。

○ 議長 仲地宗市

平田光一総務課長。

○ 総務課長 平田光一

歩道への車の駐車の問題ですが、実態として、駐車等、違法駐車となれば、警察とも連携をして注意を促していききたいと思いません。

それから、ある所では、駐車ということになるのか、置き場ということになるのか、そういう所もあると思いませんので、それについては、道路管理である建設課等とも連携を取って、その改善を図っていききたいと思いません。

○ 議長 仲地宗市

10番上江洲盛元議員。

○ 10番 上江洲盛元議員

いろいろ美ら島を作るといって、観光客をたくさん招こうという中で、やっぱり島をきれいに整備して迎えるということは大事です。先程、いみじくも真謝の歩道の草花、こういうことがやっぱり各地でできないかどうか。あるいは宇山里あたりも、こちらに本人もいますけれども、やっていますけれども、こういうことの進めも、地域の人々自らやるのが大事だと思いますけれども、やっぱり行政として、僕は大事なことは、役場職員自体が毎日久米島を歩いているわけですから、この

道はおかしいな、この低木はおかしいなど、この地域はおかしいなということを感じて、そして庁議あたりに、下から盛り上げて提案していただくとなおいいなと思います。

次に進みます。第3点目、内閣府沖縄要求、どうも本町は何を要求し、何を盛り込まれたのかという答弁は、要求してなかったという答弁でしたね。これは組織的な内容はよく知りませんので黙っていればいいのか、あるいは要求に従っていい事業が取れるのかどうなのか。もちろん事業を取るにしても、対応費等もあるんでしょうけれども、そこいらはもう一度①は答弁願いたいと思います。

先程ありましたように、今、新聞を持っていますが、時間の都合で一々読みませんけれども。3番目、これは新規事業、やっぱり僕も新聞を読みながら、そうなのかなと思ったりしてるから、新規だからかなと思ったんですが、カンジダム周辺の整備等を町長は上げておられたし、観光との関係が上げておられました。まだ久米島と比較してということなのか。

それから④は、16年度のことについては、島の学校等々についての伝統工芸とか自然体験とかがあって、16年度もお願いしたいんですが、他とのバランスがとれないという話がありましたけれども、それにしても、ただ私の感じです。この新聞1面から5面までを全部見た場合に、内容が書かれてないものですから、これからまたはっきりするかもしれませんが、私の印象として、久米島は一体どうしたかなということでありました。

それから、関連しますので、これは宮古島は電柱の地中化ということで大見出しで書かれております。残念ながらこちらの地中化に

については、これは3点目と4点目を今一緒に話していますけれども、共同の責任ということで、電力、NTT、町、県というふうなことがありますから、だからといって、こうですすだけでは済まなくて、電力やNTTと話し合いを詰めていただいて、進めるのが行政ではないかなと思いますから、一層努力をしていただきたいと、こう思います。

先程から申し上げている2005年度の概算要求について、私の感じを総括的に述べましたので、それに対して何かありましたら、ご答弁願いたいと思います。

○ 議長 仲地宗市

山城保雄企画財政課長。

○ 企画財政課長 山城保雄

美ら島会議の件で、2005年概算要求の1番ですけれども、先程、答弁の中では、具体的にどの事業ということでの要請はしてないという答弁が町長からありましたけれども、この美ら島会議の今回の取り組みが、内閣府の担当職員が直に各離島を巡って、地域に住んでいる人たちと意見交換する中から、何がこの離島町村の活性化のために必要かというふうなスタンスで懇談会をしております。そういう中で、久米島においても各界層の皆さんを案内して意見交換をしました。

その中から、交通、それから通信の格差の是正とか、海洋深層水の利活用をして久米島の活性化の問題、それから久米島の素晴らしい自然を生かして観光ともっと連携したかたちで久米島を活性化することとか、それからいろんな事業をするためにはやっぱり人材が必要でありますので、そういう人材をどう育てるか、あるいはどう取り組んでいくかとかということで、非常に人材が不足していると

かいうことがありました。

それから、いろいろな事件を通して、学校へのスクールカウンセラーの配置の問題とかが出ております。

それから、オーハ島においては、地元の方々からは、まず架橋の設置だということが一番目にあげられましたけれども、こういうハード的なものは非常に厳しいということで、その中で水路を浚渫して、漁船が干潮時でも通れるようなかたちのものの要請、それから高齢化しておりますので、救急時の対応、そういう問題もあがっております。そして、台風時の避難、建物もだいぶ台風に耐えきれないトタン葺きの家とかがありますので、台風等の避難場所等の要請中にはありました。

そういう懇談会でいろいろあがった中から、今回、新聞にも載っているんですけども、地域の活性化を担う人材の育成とか、それからITを、光ファイバーの導入の件を要請しているんですけども、県、国もISDNからADSLの導入というかたちの段階が今この2005年度の予算要求の中にはあがっております。そういうIT格差の是正ですね。

それから、地域の資源を活かした活用の検討等も出ております。その具体的なことについては、まだどの島にどれをとというものは全く出ておりません。ですから、今後、この予算が具体化する中で調整していったら、久米島町はどういう予算を導入するかということになるかと思えます。

この予算に関しては1番だけでよろしいでしょうか。

○ 議長 仲地宗市

10番上江洲盛元議員。

○ 10番 上江洲盛元議員

例えば、基本的政策企画立案等経費ということで、その3です。沖縄離島美ら島活性化特別事業費ということがあって、細かいものは書かれてないんですよ。この細かいものについてはこれからという意味ですか。

それから、算用数字の2沖縄振興開発事業費等の中の算用数字の3沖縄体験滞在交流促進事業関係経費の(1)に沖縄体験滞在交流促進事業関係と、大体似たようなものが書かれていますが、あるいは(5)に美ら海の森づくり推進調査とか、こんなものも具体的には、これから。いわゆるヒアリングをして、沖縄全体としてヒアリングをして、集約して、それをこんな項目を作って国に上げたということになるわけですか。

○ 議長 仲地宗市

山城保雄企画財政課長。

○ 企画財政課長 山城保雄

今、議員から出た全てのことで把握はしておりませんが、例えば沖縄体験滞在交流促進事業とかについては、継続して今進められております。先程の島の学校の観光等がありましたけれども、紬の体験滞在交流施設、それからキャンプ場、そういうものはそういう予算で継続してやられております。

他の件については、この中身は把握しておりませんが、ここでは回答できません。

○ 議長 仲地宗市

10番上江洲盛元議員。

○ 10番 上江洲盛元議員

この国への予算について、概算要求については、大まかにやや了解致しました。

では5点目について、長官の久米島視察についてですが、5、6年前に向こうで合宿を

してテントを張ったことがあります、4所帯7名の方全員が参加して話し合いをしたことがあります。これは個人団体としてです。

「久米島の自然と文化に親しむ会」という会で、一番要求しているのは、やっぱり架橋でしたね。ちょうど大田知事が知事の時に、やるんだという意気込みの真っ最中でしたが、これを作りますよと行ってしまって、作らないで皆さんがっかりした。そして高齢化しています。今度もそれが要求だったそうですが、水路、これは向こうの方が海の漁をして奥武島に運ぶ水路の話ですね、これをやっぱり皆さんは掲げて、茂木長官にお話するということなのか。

それから、緊急避難施設というのは、台風等についての向こうの住民の避難施設のことですか。以上、お答え願って、私の質問を終わりたいと思います。

○ 議長 仲地宗市

山城保雄企画財政課長。

○ 企画財政課長 山城保雄

架橋については、今の現状では非常に厳しいということであります。今回、茂木大臣が来るにあたって、事前に美ら島会議の懇談会の中でも向こうから真っ先に架橋の要求がありましたけれども、それと浚渫については、オーハ島と奥武島の間、いつでも干潮時でも船で渡れるというふうなこと。それから浮き栈橋でもいいと。そこで浮き栈橋をオーハから奥武島までこういうものも考えてはどうかとか、そういういろいろ話がありましたけれども、今回は内閣府ともいろいろな相談をして、緊急避難施設をまず実現できるようなかたちで取り組みたいということがありましたので、その部分でまず共通認識を持って要請

していこうというふうなことで話し合いをしております。

○ 議長 仲地宗市

これで10番上江洲盛元議員の一般質問を終わります。

休憩します。(午後 3時51分)

○ 議長 仲地宗市

再開します。(午後 4時00分)

引き続き一般質問を行います。

次、15番仲原健議員。

○ 15番 仲原健議員

休憩をお願いします。

○ 議長 仲地宗市

休憩します。(午後 4時00分)

○ 議長 仲地宗市

再開します。(午後 4時01分)

(仲原健議員登壇)

○ 15番 仲原健議員

15番仲原です。2点ほどご質問します。

1点目、白瀬2号ダム上方の公園について。白瀬2号ダムの東側上の方に立派な公園があります。多くの町民は、その存在すら知らないと思う。公園管理の委託業者が定期的に草刈をし、管理をしているが、その費用も相当な額だと考えられます。なぜならばその場所が非常に勾配の強い所で、おそらく30度以上の勾配だと考えられる。2面がピラミッド方式の作り方になっております。水源地の木を伐採して作られた施設でありまた、普段は入口の遊歩道は、フェンスで閉められて進入禁止になっている。利用度の問題、危険度の問題等、費用対存在価値その効果が問われると思う。水源地であるし、潰して植林をしたらと思われるが、町長の考えはどんなものでしょうか。

2点目、上阿嘉6号線の水兼道路について。上阿嘉の紬の泥染場の横を通る水兼道路ですが、普段天気の時でも、その道路は排水路のようで常に水が流れていて、その目的である道路と雨天時の時に水を流すのが本来の目的だが、現在はその目的が全然違っております。最近では久米島紬の国の重要無形文化財に指定されたこともあって非常に注目が集まっております。泥染場の見学者も申込みが増えて、そこへの案内も増えております。改修が望まれるが、一部の田イモの田んぼに灌漑用に水を引いているようなことをして利用しております。本来の目的に戻して、一般の人も紬の染め場の見学者も気持ち良くそこへ行けるような道路にしてほしいと思います。現在はどうしても長靴以外の普通の履き物を履いては向こうは歩けません。そういうことで、ぜひ向こうは改修してほしいんですが、町長の見解を伺いたいと思います。

(仲原健議員降壇)

○ 議長 仲地宗市

高里久三町長。

(高里久三町長登壇)

○ 町長 高里久三

15番仲原議員のご質問にお答えします。白瀬2号ダムの上方は、当時、白瀬ダムの残土を利用して野鳥の観察場として建設され、決して木を伐採しての建設ではありません。そこらは具志川地区の飲料水をとっているため、管理上入口に鍵がかけられています。側の方から進入路があり、人間が通れるようにしてあり、歩いての散策は可能であります。この高台は野鳥の観測場所でもありますので、潰して植栽することは考えておりません。

2点目、こちらは下流の方で、この水を利

用して田イモを栽培している方がいます。こちらの水の流れを遮断できるかどうか、道路の目的が水路と道路を兼ねた構造になっていきます。時代の流れと共に建設当時と、その付近の土地の利用形態が違っていきますので、上阿嘉の皆さんとも相談しながら改修が可能か、検討したいと思います。

改修するとなると、一度補助事業で整備していますので、補助事業導入は厳しいものがあります。町の単独予算になりますので、財政的に可能か検討したいと思います。

(高里久三町長降壇)

○ 議長 仲地宗市

15番仲原健議員。

○ 15番 仲原健議員

町長の答弁で植林をする考えはないと。向こうはダムを造るときに、その土砂を上げて造ったというふうなことから、相当の予算をかけて造ったと思うんですが、今そこに入って、公園ですよ、野鳥の観察場所だけのものなのか、町長も向こうを直接ご覧になられたでしょうか。非常にあの管理については経費がかかっていると思います。約30度前後の勾配を付けて、さらに上に東屋があって、6名でゆっくり休息できるようなベンチ、テーブルがあるんです。その東屋の外には長ベンチ6脚、そして確かにそこには野鳥の観察にというふうなことでしょ、20種類「森と水辺の野鳥たち」というふうなことでパネルでちゃんと表示されているんです。これは確かに素晴らしいことであるし、こういったのはとにかく見た感じ非常にいい公園なんです。そこに行く、さっき町長は人が徒歩で歩いて行けるよというふうなことがありましたけれども、確かに道路幅、フェンスを建てて

立ち入り禁止にしてありますけれども、側の林の中からはくぐって歩いていけるような状態になっています。そこには徒歩で歩いて行くには、ここから入って行きなさいというふうな、そんなのはしていませんが、自由にそこから歩いたり、オートバイなどが入っている状況ではあります。

その入口に、「島地の森散歩道」、そして「緑の日制定記念の森」というふうなことで平成2年に作られた感じなんですけれども、この公園も一緒の事業なのか、そこらへんはよくわかりません。

その公園に、例えばアベックなり、人が遊びに行ったりしたら、その2号ダムというのは、飲料水を確保するための水であるし、大体、公園というのはアルコールを持っていく場合もあります。万が一ということもあるし、飲料水に対する衛生的な問題もあるし、その位置自体が非常に考えにくい所にどうして、そういう施設を作ったのか不思議ですけれども、この公園そのものも利用度はどのようになっているのか。年間野鳥の観察とか、そういったもので利用されているのか、そういった利用度の問題。

そして費用については、観光協会を通じて緊急雇用対策事業として各農村公園とかを草刈作業をさせていると思うんですが、そこに相当の経費がかかっていると思うんですよ、そこらへんの利用がされているのかどうか。町長がおっしゃっていた、そのままにして植林をすることはないというんですが、そこらへんのことからまず伺いたいと思います。

○ 議長 仲地宗市

神里稔建設課長。

○ 建設課長 神里稔

ただいまの件で、この公園を造った経緯からお話ししていきたいと思います。この事業につきましては、企画の方で、「島地地区古里水と土ふれあい事業」ということで、3分の2ほどで、県が0.5、村が0.3という事業で約8千万円をかけた事業で、内容としましては、入口の方に243㎡の駐車場も造ってあります。ちょうど金網の入口の方にフェンスを張ってあります。その右手に駐車場があります。ですから、当時、そちらに車を駐車して、そこから歩いていくということで、教育委員会、それからホテル館の館長、関係課と調整して、このような構造でやりましょうということで、そちらに車を停めて、そこからは歩いて行くということで、約500mの舗装された道路があります。それと同時に、野鳥という話もありまして、そこに480本の桜も植えてあります。それを春にはそこを歩いて散策すると。なおかつ下の方に行きますとホテルデッキということで、白瀬ダムの下流の方にホテルが観察できるデッキがございます。そちら方でその時期になるとホテルを観察するというので、先程、飲料水をとっている、飲酒して行く人が入っていったら危険ということでございますが、そのダムの堤帯についてはみんなフェンスで危険防止のために堤帯はフェンスされております。ですから、自然環境を保護するという立場のもとでの事業でございますので、今みたいに、先程話がありましたように、これをわざわざそっちを取っ払って、木を取って植えて、逆にそっち側が裸地で、木を植えてあったそうです。山桃とか桜が育たないということで、今の残土部分があるところ、そこに移した経緯もあるそうです。ですから、今のままで利用した方がい

いかと思います。

経費については、別にまた答弁をお願いしたいと思います。

○ 議長 仲地宗市

盛本實商工観光課長。

○ 商工観光課長 盛本實

現在、その利用なんですけれども、上江洲ダム周辺と、そして1号、2号ダム周辺では、今、島の学校の自然散策でもって、インストラクターを付けて観光客を案内しております。これは大団体ではなく、10名から15、16名の団体で、島の学校の中で自然散策、自然体験というかたちの中で利用はさせております。

管理に関しましては、緊急雇用の部分で見苦しくない程度の管理はさせてはおります。

○ 議長 仲地宗市

15番仲原健議員。

○ 15番 仲原健議員

その目的について、自然を守るとか、野鳥を観察するとかというようなことであれば、散策道なり、もうちょっとフェンスを建てて立ち入り禁止にしたくらいではなくて、こっちは車は通れませんよ、歩いてこっちから散歩道でできますよというくらいの、もうちょっと親切さがあってもいいのではないかなと思うんですよ。管理職の皆さんは、はたして何名の方が向こうに入ってご覧になったか、それは知りませんが、一般の人は「そこに公園があるのか」としか言わないですね。ダムの上の方に、作られてからけっこう長いようなんですが、ちっとも古びもしないきれいにベンチも、東屋の中もきれいなんです。ほとんど利用されていないような感じなんですね。

ちなみに、毎年10名ほどの緊急雇用対策事業で、そこだけではないんですが、各農村公園とか町内の公園を草刈りしているようなんですが、町から、去年は1千646万4千円の緊急雇用対策に出ているんですよ。そして県から884万円、合わせて2千500万円です。平成16年度については、町から1千584万7千円、県から896万7千円、合わせて2千481万4千円、これだけの財源が出ているんです。この公園の。これは雇用対策ですから非常にいいことなんですけど、ただ、この利用されていない公園に、草刈はさうとう勾配がきつから相当な時間を取ると思うんですよ。だいぶ無駄な経費を使っているんじゃないかなというふうな気がしますが、そういった方面から見ていかがでしょう。費用の使いすぎではないかなと。

○ 議長 仲地宗市

高里久三町長。

○ 町長 高里久三

仲原議員、これは知らないのは仲里の人であって、具志川の人だったら全部知っていると思います。そのへんは、今、知らないからということはちょっと、仲里の人だから、こういうと語弊があるかもしれませんが、勉強不足ではないかなと思います。また、大体の施設がほとんど使われてないような施設なんです。例えばトゥイヌクチ、あれほどいい素晴らしい所ですけども、ほとんどが行ってないというような状況ですので、去年か、埼玉県から一人来て、一人は獣医、一人は自然の観察をする人、久米島に来て、一人は2日間来て、タクシーでダルマ山の所で降ろして下さいということで、2日間こだけ散策をして、もう一人は2日間海だけ行って、こ

こを回った人は非常に素晴らしいと。ですからこれは捉え方の問題であって、そのへんは少ないかもしれませんが、せっかくい場所であるし、森林浴をしながらそこを探索するというのも非常に素晴らしいので、できるだけみんなが行くような、我々町が、我々が呼びかけて、こういう所にいい所がありますよということを知らせて、できるだけ見てもらおうと。こんな素晴らしい所があったかなというような、再度その素晴らしさを再認識するという意味では、私は木を植えないでそのままにした方がいいと思っております。

○ 議長 仲地宗市

15番仲原健議員。

○ 15番 仲原健議員

そこは、さっきも僕は申し上げましたけれども、車じゃないから、横から歩いてなら行けるというふうな表示をして、散歩道というふうに指定されて作ってあるわけだから、非常にきれいないい所ですので、そういう目的に強調するんでしたら、歩いてここから行って下さいというふうな、そういった配慮はしてほしいなと思います。

次にいきます。これは阿嘉の6号線水兼道路なんですけど、平成13年の12月議会で私は取り上げてます。幸いにも今の建設課長が当時間も課長でした。そのときのご答弁は、現場調査して、いい方向に検討したいと、そういった答弁が引き出せるんですが、あれから何年も経っているし、そして現在の状況も、これはもう充分そのときから続いているからご承知だと思います。今の町の立場として、僕のこの質問についてどう思われますか、お答え願います。

○ 議長 仲地宗市

神里稔建設課長。

○ 建設課長 神里稔

お答え致します。この間現地も調査してきました。上阿嘉の区長さんにも会って、どういう方法でやった方がいいかということで相談しました。そうしたら、まず応急措置としてできそうなのが、紬の洗い場の上にグレーチングがあります。そこは当時は草地、草を刈っていたんですよ、地元の人たちがいつも。ところが最近になって、草地造成してから、「こっちは今、草はそちらから刈ってないから、ここ改修してもいいよ」という話がありまして、そちらのグレーチングを、左手の方に落として、要するに沼地みたいになっている所ですね、草が生えている所、そこに一時的にちょっとした沈砂池というんですか、井戸みたいなものを設けて、それから下流に引っ張っていくと。ただそれだけを持っていくとなると、心配されるのが、泥染場の上の赤土の流出、それが心配になってくるんですよ、今度は。そこに持っていくと。反対側は逆に草地でさうとう上がっています。ですから、それが可能か、ある程度どれくらいの勾配が取れるか、もう一度現地を調査してみます。

あと一方、個人的に、その水を利用して田イモを栽培して商売している方がいるんですよ、そちらで。その人とも水の使い方ですね、そのへんが調整できるか、そのへんをもう一度その方とも会って、その方法でできるんだったら、現地を調査してやっていこうかなと考えています。

○ 議長 仲地宗市

15番仲原健議員。

○ 15番 仲原健議員

その道路は以前から、その当時から水兼道

路の縁のコンクリートを割って、上の方からの湧き水を、以前は多分こっちから行くと、上の方に今牧草地がありますね、その牧草地のそこから下の方に水は流していたのではないかなという気がするんですが、その牧草地が機械を入れて、道路の高さまで土を持ってきたものだから、水は自然と道路の方に流れるような格好になっていますよね。そして湧き水の所を割って、水を全部道路に流す。最近、今度は泥染めに、後ろから今課長がおっしゃるみたいにして、横から水を流して、また水兼道路を横断するみたいにして、今度はホースで両サイドの縁石を割って、ゴムホースで今度は田イモ田の方に水を引いていますね。常時その間は日照り、天気の時でも向こうの湧き水がいつもそこに流れているし、その袖の泥染場を見に来る観光客の皆さんは長靴を履いていませんでしょう。そこから自由に歩けないものですから、これは非常に具合が悪いなど。そしてそこに行く前に50mほどですか、回りに牛舎もありますので、かなり牛舎の糞、汚物を整備するときに道路にもたまに溢れ落ちているのがありますし、雨降りの日や湿り気のある時とか、向こうに車が行く時には、車のタイヤにそれがくっつき、そして向こうのその水兼道路の水が常時溜まっているから、向こうでタイヤを洗うようなかたちで、その汚物が、そこに流れて、その水はきれいな湧き水ではあるんだけど、向こうへ行ったらもう汚いんですよ。これは何年も前から指摘しているんですけど、ずっと検討するというふうな答弁でしたが、何のあれもないが、今後、どのように対処しましょうかね。

○ 議長 仲地宗市

神里稔建設課長。

○ 建設課長 神里稔

先程も答弁しましたとおり、上の方のグレーチングの方で横断させて一遍、その間が500mくらいあるんですよ、下の水を取っているパイプが入っている所まで。その間を水が流れない方法で遮断すれば、そちらの場所としては使えると思うんですよ。

それから、先程から牛の話があるんですけど、現地を調査したら、こちらには来ないんですね。というのは、グレーチング、坂から流れてきて、こちらに大きな1mくらいのグレーチングが段差が上がっているんですよ。ですからそのへんが、常時そういうので牛の排泄物で汚れているという話もあるんですが、雨降りにも我々は実際に調査をしたんですが、そこに流れる前にグレーチングの下になっているんですよ、その池の方が。そのへんももう一度、この間牛舎の方とも話をしたんですけど、そういうことはなかなかないということで、再度そのへんをもう一度調査したいと考えております。

○ 議長 仲地宗市

仲原健議員の本件に対する質問は既に3回になりました。会議規則第55条但し書きの規定によって、特に発言を許します。

15番仲原健議員。

○ 15番 仲原健議員

私は流れるとは言っていません。牛舎から。雨が降った後とか、車のタイヤにそれがくっついて、向こうに行った場合に向こうでタイヤを洗われて、それが落ちるというふうなことを言っているんですよ。そこらへんも今後検討されて、ずっと今の状態では非常に目的外の状況になっていますので、ぜひ善処策を

お願いしたいと思います。

以上で終わります。

○ 議長 仲地宗市

これで15番仲原健議員の一般質問を終わります。

以上で一般質問は全部終わりました。

散会します。

(午後 4時30分)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

久米島町議会議長 仲地 宗市

署名議員（議席番号10番） 上江洲 盛元

署名議員（議席番号11番） 内間 久栄

平成 1 6 年 (2 0 0 4 年)

第 4 回 久 米 島 町 議 会 定 例 会

2 日 目

9 月 1 7 日

平成16年 第4回久米島町議会定例会

会議録 第2号

招集年月日	平成16年9月17日 (金曜日)				
招集の場所	久米島町議会議事堂				
開閉会日時 及び宣言	開会	9月17日 午前10時05分		議長 仲地宗市	
	散会	9月17日 午前11時40分		議長 仲地宗市	
応招議員 出席議員 出席18名 欠席0名	議席番号	氏名		議席番号	氏名
	1番	山城宗太郎		10番	上江洲盛元
	2番	翁長英夫		11番	内間久栄
	3番	宮里洋一		12番	大田哲也
	4番	仲村昌慧		13番	真栄平勝政
	5番	宮田勇		14番	平良朝幸
	6番	上里総功		15番	仲原健
	7番	崎村稔		16番	本永朝辰
	8番	幸地良雄		17番	國吉弘志
	9番	平田勉		18番	仲地宗市
(不応招) 欠席議員					
会議途中退席議員	番		番		
開議後出席議員	番		番		
公務欠席議員	番		番		
	番				
会議録署名議員	12番	大田哲也		13番	真栄平勝政
職務のため会議に 出席した者	職名	氏名		職名	氏名
	事務局長	仲宗根秀吉		係長	日高清有
				書記	上原あゆみ
地方自治法第121条により説明のため議場に参加した者の職氏名					
職名	氏名		職名	氏名	
町長	高里久三		教育総務課長	太田喜功	
助役	長井聰		生涯学習課長	吉元幸信	
収入役	松元徹		文化課長	与座勇	
教育長	喜久里幸雄		住民課長	神里勇	
総務課長	平田光一		福祉課長	平良進	
行政改革推進室長	仲村渠一男		保健衛生課長	山城英明	
企画財政課長	山城保雄		水道課長	又吉敏雄	
建設課長	神里稔		税務課長	比嘉・	
商工観光課長	盛本實		出納室長	伊良皆真秀	
農林水産課長	大田治雄		空港課長	仲地泰	
農業委員会事務局長	宮里剛		消防長	幸地猛	

平成16年 第4回久米島町議会定例会

議事日程〔第2号〕

平成16年9月17日(金)

午前10時00分 開会

日程	議案番号	件名	頁
第1		会議録署名議員の指名	63p
第2	承認第9号	専決処分の承認について(平成16年度久米島町一般会計補正予算(第1号))	63p
第3	議案第43号	平成16年度久米島町一般会計補正予算(第2号)について	65p
第4	議案第45号	平成16年度久米島町下水道事業特別会計補正予算(第2号)について	76p
第5	議案第46号	仲里漁港漁船保全修理施設建築工事請負契約について	77p
		散会	79p

(午前 10時05分 開議)

○ 議長 仲地宗市

おはようございます。本日は教育委員会の新垣康史さんから会議傍聴の申出がありましたので、許可しました。

これより会議を開きます。

日程第1 会議録署名議員の指名

○ 議長 仲地宗市

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、12番大田哲也議員、13番真栄平勝政議員を指名します。

お諮りします。日程の順序を変更し、日程第4承認第9号専決処分の承認についてと、日程第5議案第43号平成16年度久米島町一般会計補正予算(第2号)を先に審議したいと思いますが、ご異議ありませんか。

(多数の「異議なし」の声あり)

○ 議長 仲地宗市

異議なしと認めます。

休憩します。(午前 10時07分)

日程第2 専決処分の承認について

○ 議長 仲地宗市

再開します。(午前 10時15分)

日程第2、承認第9号、専決処分の承認について。平成16年度久米島町一般会計補正予算(第1号)について、本案の提案理由の説明を求めます。

長井聰助役。

(長井聰助役登壇)

○ 助役 長井聰

承認第9号、専決処分の承認について(平

成16年度久米島町一般会計補正予算(第1号))の専決処分についてご説明申し上げます。

地球温暖化問題は、わが国の経済及び国民生活に密接にかかわる極めて重要な問題であり、対応の必要性が急速に高まっております。このような状況の中、産業、家庭、運輸などの各部門における温室効果ガス排出削減の対策として省エネルギー推進策が実施されております。本町においても省エネルギーの先進的な取り組みをするため、地域省エネルギービジョン策定事業について助成申請をしておりましたが、当該策定事業の採択が年度途中に決定されましたことから、作業スケジュールの面から早急に事業に着手する必要があり、議会を招集するいとまがなく専決処分を致しております。

歳入歳出予算のご説明を申し上げます。

既決予算額に900万円を追加し、歳入歳出それぞれ69億3千177万7千円としてございます。

予算書の2ページをご覧ください。歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額であります。第1表歳入歳出予算補正に掲げているとおりであります。

第20款諸収入900万円ではありますが、これは新エネルギー産業技術総合開発機構からの助成金となっております。

歳出2款総務費の方でご説明申し上げますが、同額の900万円を計上しておりますが、内容と致しましては、7ページの4目企画費に掲げてありますように、13節委託料654万2千円を主なものとして、地域省エネルギービジョン策定関連業務の経費であります。

以上が承認第9号、専決処分の承認についての説明であります。ご審議よろしくお願い致します。

(長井聡助役降壇)

○ 議長 仲地宗市

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

○ 議長 仲地宗市

11番内間久栄議員。

○ 11番 内間久栄議員

この予算書を見ると、議案何号か書いてないんですけども、一般会計の第1号ということで、補正予算の第1号について、収入として諸収入で9千万円ということであげまして、歳出では地域省エネルギービジョン策定業務委託料ということで大きな歳出になっておりますけど、こういった内容の委託業務を行うのか、詳しく説明をお願いします。

○ 議長 仲地宗市

山城保雄企画財政課長。

○ 企画財政課長 山城保雄

説明致します。先程提案理由の中でも助役の方から説明がありましたけれども、久米島町全域において、エネルギー消費の現状とか、意識の調査をして、久米島においてどういうふうな省エネをしていく必要があるかというふうなことで、久米島町全体において省エネに向けてのアクションプランを立案していくということになっております。

○ 議長 仲地宗市

11番内間久栄議員。

○ 11番 内間久栄議員

財政が厳しいということで、それにお互いの給与とか職員の給与とか削減しながら、こういった事業がポンと出てきたら、これはい

くらあっても市町村財政は大変ではないかと思えます。この事業が今必要なのか、そのへんをご説明をお願いします。

○ 議長 仲地宗市

山城保雄企画財政課長。

○ 企画財政課長 山城保雄

これについては、世界的に非常に地球温暖化の問題が議論されておりました、国としても非常に取り組みをされております。その中で、今回、予算書にもありますように、全額補助で、この事業は予算化されておりますので、いい機会だということで導入をしております。

○ 議長 仲地宗市

他に質疑ありませんか。

○ 議長 仲地宗市

質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

まず、原案に反対者の発言を許します。

○ 議長 仲地宗市

次に、原案に賛成者の発言を許します。

○ 議長 仲地宗市

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから承認第9号、専決処分の承認について、平成16年度久米島町一般会計補正予算(第1号)についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手多数)

○ 議長 仲地宗市

挙手多数です。従って、承認第9号、専決処分の承認について、平成16年度久米島町一般会計補正予算(第1号)は可決されました。

日程第3 平成16年度久米島町一般会計 補正予算（第2号）について

○ 議長 仲地宗市

日程第3、議案第43号、平成16年度久米島町一般会計補正予算（第2号）について。本案の提案理由の説明を求めます。

長井聰助役。

（長井聰助役登壇）

○ 助役 長井聰

議案第43号、平成16年度久米島町一般会計補正予算（第2号）についてご説明申し上げます。歳入歳出予算は既決予算額に1億3千643万7千円を追加し、歳入歳出それぞれ70億6千821万4千円としてあります。

2ページをお開き下さい。第1表歳入歳出予算補正についてご説明申し上げます。補正額をご覧下さい。まず、第1款町税でございますが、各費目とも調定額の確定に伴い増減があります。補正額が811万5千円の増額となっておりますが、その内訳は、町民税で個人が164万7千円の増、法人が1千308万8千円の減。2項固定資産税におきまして、1千824万4千円の増。3項軽自動車税におきましては、131万2千円の増額となっております。

次に、11款分担金及び負担金でございますが、老人ホーム入所負担金と致しまして81万7千円を追加計上してございます。

次、13款国庫支出金でございますが、5千702万8千円を増額してございます。1項国庫負担金で、次世代育成支援対策費と致しまして、児童手当の制度の拡充があり、これまで3歳以上義務教育就学前の児童にかかる特例給付が小学校3年終了前、これは9歳に達した日以後の3月31日まででございますが、延

長されたということで、716万5千円の増額となっております。また、老人ホーム措置費の109万1千円を増額として、これが国庫負担金の増の分でございます。次に、2項国庫補助金でございますが、4千871万8千円を補正してございますが、主な内容であります。新山村振興等農林漁業特別対策事業で5千万円を計上してあります。これは農業用平張り施設12棟分の補助金であります。漁港関連道路で365万円の増、また、具志川城跡整備事業で480万円の減額となっております。

次、15款県支出金で、総額で2千52万8千円の増額補正をしてございます。まず1項県負担金であります。先程申し上げました児童手当制度の拡充による特例給付金の県負担分179万円と老人ホーム措置費の県負担分54万6千円の増額であります。次に2項県補助金であります。農林振興地理情報システム事業に2千万円、農林水産物直売店施設に1千333万3千円、農村振興地域資源リサイクル基盤整備事業補助金につきましては2千473万3千円減額してございます。合わせまして1千28万7千円となっております。次に3項県委託金でございますが、787万8千円の補正額となっております。これは空港管理委託金622万円の増、そして空港消防委託金49万4千円の増が主なものでございます。

次に、16款財産収入2千293万8千円を増額補正してありますが、これは仲泊、阿里地区1工区の宅地造成地の売払1千310万5千円と、町有の畑の町民への売払金と致しまして983万3千円、合わせまして2千293万8千円の追加補正をしてございます。

次に、18款繰入金でございますが、2千595万4千円を減額してございます。これは平成1

5年度決算剰余金として繰越金等の歳入増がありましたために、財政調整基金の取り崩しを減じてございます。

19款繰越金1千376万3千円、平成15年度の決算剰余金を受け入れしております。

20款諸収入3千370万2千円の主な内容であります。先程、県補助金の方で説明申し上げました平張施設12棟分の受益者の負担分として2千500万円を計上してあります。また、15年度の介護広域関連の生産還付金549万1千円を計上してあります。これらが主なものでございます。

次に、21款町債でございますが、減税補てん債を200万円増額補正してございます。また、儀間漁港関連道整備事業130万円の増、農村振興総合整備事業で380万円の減、さらには農林水産物直売・食材供給施設で600万円の増額となっております。この農林水産物直売・食材供給施設でございますが、この施設は比屋定展望台に隣接する施設でございます。

以上が歳入の概要で、総額で1億3千643万7千円の補正額となっております。

次に、4ページをご覧ください。歳出の補正でございますが、今回の補正は、ほとんどの費目で人事異動に伴う人件費の組み替えと、そして必要経費の予算内組み替えが中心になって補正をしてございます。

まず、1款議会費28万2千円でございますが、これは全額人事異動に伴う人件費の補正額でございます。

次に総務費でございますが、4千497万6千円補正してございます。これの主な理由でございますが、歳入でご説明申し上げました町有財産の売払収入と致しまして2千293万8千

円がございまして、この額を同額、歳出では土地開発基金へ積み立てをするために、その額が歳出として上がってございます。また、町歌、町音頭の歌詞が決定しております。その作曲のために、あるいはまた収録経費と致しまして200万円を計上してございます。以上が総務費の主な内容でございます。

3款民生費でございますが、老人保護措置費で、扶助費の方で老人保護措置費と致しまして300万2千円の増がございまして、また、児童福祉総務費の扶助費で、先程、歳入の方で説明申し上げましたが、次世代育成支援対策費と致しまして、児童手当制度の拡充による特例給付費1千75万円の増。さらには杉の子保育園の認可移行推進補助金と致しまして200万円の予算を計上しております。これらが主なものでございます。

次に、4款、699万6千円を補正しておりますが、この額も人事異動に伴う人件費が主な補正でございます。

次に、6款農林水産業費7千121万5千円を計上してございますが、その内容は、6款の7目構造改善事業費の方で新山村振興等農林漁業特別対策事業費7千500万円を計上しているのが大きなものです。これは平張り施設12棟分、面積にしまして1.3ha、これは補助率は3分の2で、受益者が3分の1負担することになっております。そしてその額を事業主体であります沖縄県花卉園芸農業協同組合に補助金という形で支出を予定しております。

この6款の方でございますが、農業振興費の方で地域資源リサイクル基盤整備事業費7千900万円を減額してございます。この事業は堆肥化施設建設事業でございますが、これまでは農業振興費に計上致しまして、事業主

管課が農林水産課となっておりましたが、今回の補正でこれを全額農地費の方へ移動、移し替えまして、建設課が担当するという事で農地費の方へ組み替えをしております。農業振興費の方から農地費の方へ7千900万円減額致しまして組み替えをしております。また、農林振興情報システム事業と致しまして2千531万円を計上してあります。これは各課で活用できる町内全域の土地情報システムを構築するための経費でございます。これが6款農林水産業費7千121万5千円の主な増減内容でございます。

次、商工費でございますが、700万5千円減じてございます。これは人事異動に伴う人件費が主なものでございますが、またその中にはバス停の整備事業と致しまして、現在のバス停が破損しているバス停の補修、あるいは新設するバス停と合わせまして150万円の予算を計上してございます。

次に、8款土木費であります。625万3千円増額補正してございます。その主な内容でございますが、1項の土木管理費の方で農林水産直売・食材供給施設、これは先程申し上げましたが、比屋定の展望台の方に隣接して、現在、建設している分の追加事業が計上されております。そして下水道事業への繰越金711万7千円の減額補正をしております。これは下水道特別会計の方で人事異動に伴いまして人員を減少したために人件費の分701万7千円の減額となっております。これが主な土木費の予算の補正内容でございます。

9款消防費でございますが、318万円を減額しております。これも人事異動に伴う減額でございます。

次、10款教育費であります。1千566万9

千円の増額補正をしております。主な内容は、1項の教育総務費で食に関する指導実践に関する経費と致しまして120万円計上してございます。これは全額補助金で、そのまま歳出120万円となっております。また、5項社会教育費で、具志川城跡及び宇江城城跡の保存工事795万円を減額しております。その他教育費におきましても、人事異動に伴うものが主な補正の内容でございます。

以上、合計1億3千643万7千円の追加補正となっております。

以上が議案第43号平成16年度久米島町一般会計補正予算(第2号)の概要でございます。ご審議のほどよろしくお願い致します。

(長井聡助役降壇)

○ 議長 仲地宗市

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

11番内間久栄議員。

○ 11番 内間久栄議員

今回の一般会計の補正予算なんですけれども、1号から2号を見た場合、交付税が歳入として入ってないですね。これは、新聞に載っていますけど、7月10日、これによりますと、普通交付税が久米島町は30億3千400万円ですか、この歳入がありながら歳入に折り込まれてないということは、それは地方自治法第214条に反するのではないかと思うんですけれども、何か理由があって今回この交付税を歳入に組み入れなかったのか、そのへんをお聞きしたいと思います。

○ 議長 仲地宗市

山城保雄企画財政課長。

○ 企画財政課長 山城保雄

説明します。今回、当初予算で4億5千万円

余りの歳入欠陥ということで、基金を取り崩して予算計上しております。それと、これから特別交付税が3月に向けて決定されてくるんですけども、これまでのいろんな台風災害は全国的に非常に例年ない災害が起こっております。そういうことで、その特別交付税が予算計上に見合うような形で査定されるかどうか、そのへんの不安材料もありますので、そういうものも含めて、基金取り崩してやっていますので、そういうものを勘案して12月の補正に計上したいということで、9月補正においては、留保財源としてそのまま計上しないで残しております。

○ 議長 仲地宗市

11番内間久栄議員。

○ 11番 内間久栄議員

当初予算を見ますと、普通交付税で27億円となっております。それを特会を除いての金額です。それを見ても5億3千400万円くらい当然入るべき収入があるんですね。今、非常に地域は失業者が多くなって大変困っている状態であります。そういう中で、当然入るべき収入がありながら、その組み替えをやらないということは、行政の怠慢ではないかと思うんですけど、そのへんどうお考えなのかお聞きしたいと思います。

○ 議長 仲地宗市

山城保雄企画財政課長。

○ 企画財政課長 山城保雄

今回、交付税の決定によって交付税と財政対策債含めて2億3千400万円余り、予算との差額がございます。先程説明したように基金を4億5千万円余り崩しております。といいますのは、この三位一体改革の中で、今、この基金残高が非常に少なくなっておりますの

で、今後の財政運営上、崩した基金を、そのまま使うとなると、今後、財政的にも非常に厳しい状況になりますので、決まりましたら基金に戻して、基金である程度の予算を確保していきたいという考えの元に、それを額は決定しているかということで、別のものにその分を使うということは今考えておりません。

○ 議長 仲地宗市

11番内間久栄議員。

○ 11番 内間久栄議員

基金を取り崩して当初予算では組まれていることは、承知しているんですけど、12月で補正予算でまた組み替えするということですか。そういうことになると、大変その予算を、基金とのことだと思うんですけども、この工事費というのは、町長に与えられたひとつの権限であります。使うのはひも付きではないと思うんですよね。そのへんもっと考えて、早く予算を組んで執行すべきではないかと思うんですよね。先程も言いましたけれども、失業率の増加の中で、いっぱい苦しんでおります。そういうことを勘案して、ぜひ臨時議会でも開いて、そういう予算の組み替えをしていただきたいと思います。

○ 議長 仲地宗市

山城保雄企画財政課長。

○ 企画財政課長 山城保雄

繰り返しになりますけれども、確保された予算を町政運営の事業に今回使うということではなくて、今後の財政運営上、非常に厳しい状況でありますので、12月の補正においては基金に戻すという考えで今やっておりますので、ご理解をお願いしたいと思います。

○ 議長 仲地宗市

他に質疑ありませんか。

1 番山城宗太郎議員。

○ 1 番 山城宗太郎議員

26ページの区分の19、新山村振興等農林漁業特別対策事業で、この平張り12棟ということですが、これは一人1棟なのか。

あと1点、27ページの漁港建設費で、工事請負費、説明のところで儀間漁港海岸整備事業と関連道路整備事業、泊フィッシャリーナの予算で1千375万7千円の減になっていますが、説明をお願いします。

○ 議長 仲地宗市

休憩します。(午前 10時52分)

○ 議長 仲地宗市

再開します。(午前 10時52分)

大田治雄農林水産課長。

○ 農林水産課長 大田治雄

お答えします。ただいまの質問について、一人1棟なのかということなんですが、これはそれぞれの個人によつての規模が違ってきます。額の負担もありますので、人数で12名、先程、助役から説明がありましたように1.3ha、それぞれ個別に事業計画がありますので、面積を全部が均一ということではありません。

○ 議長 仲地宗市

神里稔建設課長。

○ 建設課長 神里稔

漁港建設費の中の15節の工事請負費についてご説明申し上げます。これにつきましては、13節の委託費との関連もございます。まず、13節の委託費の中で、儀間の海岸保全事業等と海岸保全事業の台帳は計上してございませんでした。

それから、関連道路につきましては、当初

222万円の予算を計上しておりましたけど、今回、15節の工事費から、まず海岸保全事業の台帳につきましては199万円を減にして委託費に持ってきてまして、それから関連道につきましては228万円で、合計427万9千円の委託費に組み替えてございます。

それから、15節につきましては、当初、儀間漁港関連道路6千25万8千円の計上を674万2千円追加して6千700万円。それから海岸保全事業を、先程も申しました199万9千円を減にして委託費に持っていきました。

それから、泊フィッシャリーナの舗装なんですけど、当初補助事業で20cmの厚みで計上してございました。これはコンクリートの舗装につきましては、最低15cm～20cmの間であればいいという中で、補助事業ですといい方の20cmで採用しようということだったんですが、これが補助事業ができなくなりまして単費になったものですから、その分を15cmの厚さに下げまして、その分でトータル致しまして1千375万7千円の減になっております。

○ 議長 仲地宗市

6 番上里総功議員。

○ 6 番 上里総功議員

26ページ15節の工事請負費、地域資源リサイクル基盤整備事業、この内容をお願いしたいです。

○ 議長 仲地宗市

神里稔建設課長。

○ 建設課長 神里稔

お答え致します。これにつきましては、先程提案の中でもございましたけど、地域資源リサイクル基盤整備というのは、堆肥センターを計画予定でありますので、その分の、今回、造成部分の工事費であります。

○ 議長 仲地宗市

16番本永朝辰議員。

○ 16番 本永朝辰議員

歳入の9ページの2項町民税の2目法人税の法人、その中で法人税の方が1千300万円余りの減となっているんですけれども、これは当初の見積もりが甘かったのかどうか、そこらへんについてお伺いします。

それと、もう1点ですが、先程ありました歳出の24ページ、農林水産業費の2目農業振興費ですね、これも予算組替ということで先程説明があったんですが、そこで委託料と工事請負費、これが組み替えしまして、今回、約、工事請負費につきましては2千780万円と、当初で5千680万円、そこで金額がちょっと合わないような気がするのですが、その理由をお伺いします。

それからもう1点は、歳出の39ページ、教育費の中の2目文化財保護費の中で、工事請負費795万円、これは具志川城跡と宇江城城跡の件ですけれども、その減になった理由をお伺いします。

○ 議長 仲地宗市

比嘉・税務課長。

○ 税務課長 比嘉・

法人税についてお答え致します。法人税につきましては、当初予算につきまして平成14年度決算額を参考に計上致します。そして、本議会提案の補正額につきましては、15年度決算を参考に計上してございますが、法人税につきましては、予定申告、中間申告、特定申告ということがございまして、年間調停がいろいろと動くものでございます。そういったこともございまして、平成14年度、15年度の予算額、あと決算額に大幅な移動がござい

まして、今回、平成16年度の調停が動いているということになっております。

○ 議長 仲地宗市

神里稔建設課長。

○ 建設課長 神里稔

お答え致します。24ページ15節の工事請負費が、地域資源リサイクル基盤整備事業、当初5千680万円計上してございましたけど、申請のときにこれだけで要求致しました。ところが内示がきたのが、当初7千900万円で申請してございましたけど、実際事業費として内示が5千万円、減額になった分、今の15節の2千780万円、工事費の減額になって、その分が数字が合わないということになっております。

○ 議長 仲地宗市

与座勇文化課長。

○ 文化課長 与座勇

ご説明申し上げます。39ページの795万円の減の説明を申し上げます。この分につきましては、歳入の部分の11ページと12ページに関連します。文化財保護480万円、この11ページと12ページの下の方の宇江城城跡保存修理事業300万円、そして具志川城跡整備事業の60万円。この具志川城跡の場合は国指定の城跡で、国80、県10、そして町10%の割合で予算計上しましたが、今年度は県の予算事業で、県負担分が減額されまして、そして県の負担分に合わせて国負担も減額している状況であります。そして、宇江城城跡の場合は、県指定でございますので、50、50で計上した分が減額されて、具志川城跡分が330万円の減、そして宇江城城跡分が465万円、計795万円の減となっております。

○ 議長 仲地宗市

他に質疑ありませんか。

10番上江洲盛元議員。

○ 10番 上江洲盛元議員

私も質問予定していましたが、ただいまの具志川城跡整備事業と宇江城なんです、11ページは国庫支出金ということで、今、説明がありましたように480万円の減と。12ページで60万円の減ということです。それで、関係して39ページの賃金の減もちろんあります。事業が縮小されるわけですから、賃金7区分、13区分、それから15区分との問題で、心配しますのは、今後の事業計画が縮小されるということになると思いますが、継続性はどうなるのかという立場から、1点は聞きたいと思います。

それから宇江城城跡は県指定ということで、これも減になっていますが、これからの事業計画はやっぱり縮小されるでしょうけれども、事業そのものについてはこれからどうするのかという面からの質疑を致しますので、お答え下さい。

○ 議長 仲地宗市

与座勇文化課長。

○ 文化課長 与座勇

お答えします。今回の場合だけだと思うんですが、国、県指定の予算、これは具志川城跡の場合には平成11年度から整備されておりますが、国、県の予算の都合で、この城跡の整備は当分の間続くと思います。宇江城城跡についても同様でございます。

○ 議長 仲地宗市

10番上江洲盛元議員。

○ 10番 上江洲盛元議員

続くということですが、縮小といいますが、期間的な問題がやっぱり縮むわけですが、これだけ減になっているわけですから、

そこはどうですか。

○ 議長 仲地宗市

与座勇文化課長。

○ 文化課長 与座勇

工事全体量の事業費としては、そのまま継続していくと思います。

○ 議長 仲地宗市

他に質疑ありませんか。

17番國吉弘志議員。

○ 17番 國吉弘志議員

13ページの16款財産収入の中で村有地売払収入ということで2千293万8千円計上されておりますが、その場所と平米の単価はいくらであったのかお願いします。

○ 議長 仲地宗市

平田光一総務課長。

○ 総務課長 平田光一

場所については、先程、助役からも説明がありました、阿里地区1工区の2区画になっております。単価につきましては、今、1筆1筆、単価が違いますので、資料を持ち合わせておりませんので、後で報告したいと思います。それが1千310万円です。

それから、畑の個人払い下げで、これは全町にまたがります。そして、単価としましては、土地改良済のところは平米211円、そして土地改良してないところが平米203円ということになっています。

○ 議長 仲地宗市

他にありませんか。

4番仲村昌慧議員。

○ 4番 仲村昌慧議員

歳出の35ページをお願いします。先程、助役の提案理由の説明でもありましたが、教育総務費の19節の負担金補助金及び交付金につ

いて、食育推進事業、この事業について120万円の計上で、詳しい事業内容の説明をお願いしたいと思います。

それから、小学校費の教育振興費の8節の報償費、運動会の賞状代、そして卒業式の商品代、同じく中学校費における報償費が、当初予算をそのまま4万4千円、そして中学校の3万5千円、これがそのまま全額カットという形での減になっておりますが、その理由をお聞きしたいと思います。

○ 議長 仲地宗市

太田喜功教育総務課長。

○ 教育総務課長 太田喜功

1点目の食育の推進事業についてご説明申し上げます。目的として、近年、社会環境の変化や食生活の多様化から食に起因するさまざまな健康問題が評価されていますので、子供たちを取り巻く現状を改善するためには、食に関する知識を身に付け、望ましい食習慣の形成を図ることが望まれております。それで、子供たちに対する自己管理を養うために学校、家庭、地域が連携を取ってやるということで、今年度から美崎小学校、仲里中学校が指定を受けて3カ年間研究するようになっております。

2点目の報償費の件ですが、報償費につきましては、16年度からは需用費の行事費の方に組み替えて支出するようというので、そのまま需用費で、15年同様、計上されております。

○ 議長 仲地宗市

他にありませんか。

5番宮田勇議員。

○ 5番 宮田勇議員

26ページの負担金補助金、新山村振興等農

林漁業特別対策事業7千500万円と、30ページの同じく新山村振興等自然景観保全推進事業、内容説明を求めます。

○ 議長 仲地宗市

大田治雄農林水産課長。

○ 農林水産課長 大田治雄

1点目の件について私からお答えします。新山村振興等農林漁業特別対策事業ですが、先程、助役からの説明にもありましており、これは太陽の花さんの12名分の平張り事業の歳入予算であります。

○ 議長 仲地宗市

神里稔建設課長。

○ 建設課長 神里稔

お答え致します。同じく新山村振興等自然景観保全推進事業という長い事業名になっておりますけど、わかりやすくといいますと、比屋定の展望台の補償の分でございます。先に比屋定展望台の松堂さんの建物がございましたけど、3月に全額支払いができなくて、残りについては予算の関係で9月に支払いしましょうということで、その清算の積み残しでございます。

○ 議長 仲地宗市

5番宮田勇議員。

○ 5番 宮田勇議員

歳出の土木費で、先程、助役の提案理由の説明で、展望台関連事業とあるんだが、その内容をもっと詳しく説明求めます。

○ 議長 仲地宗市

神里稔建設課長。

○ 建設課長 神里稔

ただいまの展望台関連事業のご説明を申し上げます。今、完成しております展望台、それと下の方の、現在、建設中のトイレ、それ

から、その隣に当初休憩室ということでの要求で県と調整していましたが、その枠内の予算がないということで、事業名は新山村振興等農林漁業特別対策事業の中から、新しく農林水産直売・食材供給施設という名目を変えまして、その予算をいただいて、先程申しました直売店、休憩所を一体にした整備でございます。

○ 議長 仲地宗市

5 番宮田勇議員。

○ 5 番 宮田勇議員

直売店、トイレの建設工事費ということですね。すでに工事は着工しているんですけど、予算も承認されない前にそういったのができるんですか。それと同時に、契約の相手方も、競争見積もりでやったのか、それとも随意契約でやったのか、そのへん地域から声が出ているんですよ。

○ 議長 仲地宗市

神里稔建設課長。

○ 建設課長 神里稔

お答え致します。この工事については、既に発注されていて契約されております。去年の3月で。今回、追加の予算工事費について1千300万円あるんですけど、これにつきましては中の施設、それから壁、屋根一帯としての工事でございますので、今回この分については同じ業者に随契でやっていきたいと考えております。

○ 議長 仲地宗市

宮田議員、もう3回になりましたので。

○ 5 番 宮田勇議員

もう1回お願いします。

○ 議長 仲地宗市

宮田議員の本件に関する質疑は既に3回に

なりましたが、会議規則第55条但し書きの規定によって特に発言を許します。

5 番宮田勇議員。

○ 5 番 宮田勇議員

あれは既に発注されていると、一括発注でやったんですか、展望台もこの直売店もトイレも、あれは分離発注じゃなくて一括発注でやったんですか。地域の声では、なぜ分離発注でやらなかったかという声もあったんですけど、今の工事の少ない時期に。

○ 議長 仲地宗市

神里稔建設課長。

○ 建設課長 神里稔

別に発注して、同じ業者が落札しています。

○ 議長 仲地宗市

9 番平田勉議員。

○ 9 番 平田勉議員

1点だけ質問します。平張りの、この補助事業、農家負担2千500万円も計上されていますね。こういう補助事業の採択を個々人の、これは採択する時に、その事業の条件ですか、各個人の方の条件ですね、これがどうかたちでされているのか。これまでキクのハウスとか、いろんな農業関係施設の補助事業がたくさんあったと思うんですけども、受益者負担の部分の滞納とか、こういう部分が事業が頓挫をしていく、あるいは農協関係の不良債権化をしていくとか、こういうのがかなり続いていたと思うんですね。これが今までの状況だったのじゃないのかなという気がします。

最近、いろんな形で圃場整備事業での特別賦課金とか、いろんな負担金の滞納とか、こういうものを総合的に見ていると、どうも義務を果たしていない人が、こういう補助事業

をさらに導入をしたりとか、こういう部分がどこかで見受けられる気がします。そうなる
と現状の義務も果たさない、さらに農家負担
分の新たな事業で、それが増えていく、そう
なったときに本当に100%、この受益者の支
払いをする、負担をする義務というのが本当
に果たせるのかなという不安がありますね。
ですから、事業導入をする際の受益者の条件
ですね、こういうものをより具体的に義務を
果たして始めて権利を行使するような、こう
いう権利と義務の関係からするとピシャッと
した条件というものは、物差しのでも一つ
のものを作るべきではないのかという気がす
るんですが、今回のこの事業の導入、どうい
う基準でどういうかたちで、こういうものを
判定しているのか、具体的に説明をお願いします。

○ 議長 仲地宗市

大田治雄農林水産課長。

○ 農林水産課長 大田治雄

ただいまの質疑にお答えします。今回の事
業は旧具志川村の採択で行われておりまし
て、今回、太陽の花久米島支部の総会におい
て、この事業説明を行いました。その時には
太陽の花の本部の方からも専務他、来島され
て内容を聞いております。そして、各農家の
皆さんにそれぞれの希望をあげさせました。
希望をあげて、審査を特に役場の納税関係の
滞納があるのかとか、土地改良負担金の滞納
のある農家とか、それぞれその基準にはめて、
それを満たしてない方には遠慮していただく
ということを義務づけました。そして、極力
これからの事業においても認定農家を中心
に、こういう補助事業を導入しようというこ
とで、今考えております。そして、今回の負

担分については、全て太陽の花さんが一時立
て替えの形で融資して、それを償還していく
という形で、出荷した代金から差し引きする
形になるかと思えます。そういうことで、今
までの補助事業みたいな形での、いろんな問
題が出ないように担当課としても、そのへん
は検討しております。

○ 議長 仲地宗市

9番平田勉議員。

○ 9番 平田勉議員

確かに太陽の花が一時立て替えをする、そ
の中でやっていくという、これは従来もそう
いう形だったと思うんです。農協関係も含め
てですね。その時に先程言ったように他の部
分で滞納があるのに、新たにこの部分の支払
いが増えていく、農家の負担分が増えていく、
それも合わせて滞納していく、そういうのが
不良債権化という部分につながっていったと
いう経緯もあると思うんですけれども、今回、
かなりそこらへんシビアに審査をしたという
部分があるので、当然そうあるべきだという
ふうに思うんですけれども、今後も僕はここ
をピシャッとやっておかないと、最近からは
場整備土地改良関連に係わるようになってか
ら、過去の資料とか、横の関係とかいろんな
ものを全部資料等も含めて見ていると、どう
もこのへんの義務と権利の部分が、うまく連
携がとれてない、どうも縄のれん式に、権利
は権利だけ発して、義務は義務だけ発してい
るような、こういうのが反省すべき点ではな
いのかなという気がします。非常にシビアに
厳しい体系の中で行政改革もしているわけ
ですから、その部分、行政改革委員会の中
でもそこらへんの義務と権利の部分をもっとシ
ビアに議論をしていただきたいなというふう

思います。そこらへん、是非よろしくお願ひ
します。

○ 議長 仲地宗市

他にありませんか。

7 番 崎村稔議員。

○ 7 番 崎村稔議員

展望台の補正で7千500万円上がっておりますので、関連質問ですけれども、建設課長は、向こうを作る時に、身体障害者用のスロープも作るかといっていたんですが、現在作られていませんけれども、どうして作ってないんですか。

○ 議長 仲地宗市

神里稔建設課長。

○ 建設課長 神里稔

お答え致します。身障者用のスロープは作ってございます。入口の右手の方に手摺りを付けて、スロープを作ってございます。1 階の方に。

○ 7 番 崎村稔議員

1 階だけでしょう、なぜ2 階は作ってないんですか。2 階には上がるなということですか。

○ 議長 仲地宗市

崎村稔議員、質疑する時は挙手で許可を得て、席で質疑してもらいたいと思います。

7 番 崎村稔議員。

○ 7 番 崎村稔議員

1 階はスロープをちゃんと作ってあるんですけど、2 階には作られてないんですよ。だから障害者は2 階に上がるなということなのか、それと、今からでも作る予定があるのかどうかご説明お願いします。

○ 議長 仲地宗市

神里稔建設課長。

○ 建設課長 神里稔

お答え致します。まず、1 階の方に作ってあるのは、その目の高さからある程度の既設の展望台の高さ以上ございますので、その分で座って見れるということが1 点と。もう1 点につきまして、2 階の高さの制限がございまして、身障者のスロープにつきましては12 %以内、要するに押して、車で上がれる階段のものになると、相当のスロープの長さを必要とします。ですから建築の関係で2 階には作ってございません。

○ 議長 仲地宗市

7 番 崎村稔議員。

○ 7 番 崎村稔議員

理由はともかくとして、これはちょっと障害者を差別しているような感じがしますので、ここもぜひ作ってほしいと思いますが、どうでしょう。

○ 議長 仲地宗市

神里稔建設課長。

○ 建設課長 神里稔

先程もお答え致しましたように、一応1 階の方で見れるということで、決して身障者を差別したような構造ではございません。先程申しましたように、スロープを作りますとそうとう遠くの方からスロープの場合は作っていかないといけないということで、建築的に2 階については不可能ということで付けてございません。

○ 議長 仲地宗市

これで質疑を打ち切りたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「進行」の声あり)

○ 議長 仲地宗市

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

まず、原案に反対者の発言を許します。

○ 議長 仲地宗市

次に、原案に賛成者の発言を許します。

○ 議長 仲地宗市

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから議案第43号、平成16年度久米島町一般会計補正予算（第2号）についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（挙手多数）

○ 議長 仲地宗市

挙手多数です。従って、議案第43号、平成16年度久米島町一般会計補正予算（第2号）については、原案のとおり可決しました。

休憩します。（午前 11時26分）

○ 議長 仲地宗市

再開します。（午前 11時32分）

**日程第4 平成16年度久米島町下水道事業
特別会計補正予算（第2号）
について**

○ 議長 仲地宗市

日程第4、議案第45号、平成16年度久米島町下水道事業特別会計補正予算（第2号）について。本案の提案理由の説明を求めます。

長井聰助役。

（長井聰助役登壇）

○ 助役 長井聰

議案第45号、平成16年度久米島町下水道事業特別会計補正予算（第2号）についてご説明申し上げます。

歳入歳出予算は、既決予算額を683万8千円

減額し、歳入歳出それぞれ2億8千210万2千円としてございます。

2ページをお開き下さい。歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分毎の金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表歳入歳出予算補正」のとおりでございます。

説明書の方で説明をしたいと思います。

次に、6ページをご覧ください。歳入3款繰入金であります。これまで予定しておりました一般会計予算からの繰入701万5千円を減額してあります。これは歳出での職員配置数の見直しによりまして人件費分が減額になったためのものであります。

次に、4款繰越金であります。平成15年度決算に伴う繰越金17万7千円を計上してございます。

7ページの方でございますが、1款総務費で、配置職員の減によりまして、人件費701万5千円を減額してございます。次に3目の下水道建設費でございますが、真泊地区の下水道事業の実施計画を致しましたところ、追加工事費が必要となっております。また、合わせまして仲泊阿里地区の宅地造成地区での管口接続工事分を合わせまして、今回追加補正してございます。

以上が議案第45号平成16年度久米島町下水道事業特別会計補正予算（第2号）の概要であります。ご審議よろしくお願い致します。

（長井聰助役降壇）

○ 議長 仲地宗市

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 仲地宗市

1番山城宗太郎議員。

○ 1番 山城宗太郎議員

7ページ委託料の下水道事業実施設計委託料が500万円の減ですね。工事請負費、そして500万円の増となっておりますけれども、どこのものをカットして、どこの工事が施工されるのか、お願いします。

○ 議長 仲地宗市

又吉敏雄水道課長。

○ 水道課長 又吉敏雄

お答えをします。現在、真泊地区から工事が入っています。そして委託については、真泊に向かって今委託を予定しておりますけど、実施ヒアリングにおきまして、圧で送る施設があるんですけど、その方に「空気弁をぜひ設置なさい。」と県からの指導がございまして、それで委託費を減にして工事費に組み替えてあります。

○ 議長 仲地宗市

他に質疑ございませんか。

9番平田勉議員。

○ 9番 平田勉議員

今の答弁で気になるんですけども、実施設計をカットして工事費に回すとなると、今後のこの事業の展開が、次年度に、その実施設計の分がずれていくという理解でいいのか。継続して、これは真泊の実施設計という提案理由の説明にも聞いた気がしたんですけども、その事業そのものが、その分だけずれていくのか、そういう長期的な計画そのものが全部影響を受けてくるという、そういう理解でいいのか。もうちょっと詳しく説明してもらえませんか。

○ 議長 仲地宗市

又吉敏雄水道課長。

○ 水道課長 又吉敏雄

今回の真泊地区の工事については、去年、委託で終わったところでありますけど、県の審査の段階で、「今回、空気弁をぜひ付けなさい。」という指導がありまして、今回については委託から工事費に回してありますけど、来年からはそういうことのないように、来年の工事に向けての今回の委託料ですので、全体的には若干遅れはしますけど、それがないように、計画したように一応予算編成して、来年以降も進めていきたいと思っております。

○ 議長 仲地宗市

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

まず、原案に反対者の発言を許します。

○ 議長 仲地宗市

次に、原案に賛成者の発言を許します。

○ 議長 仲地宗市

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから議案第45号、平成16年度久米島町下水道事業特別会計補正予算（第2号）についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（挙手多数）

○ 議長 仲地宗市

挙手多数です。従って、議案第45号、平成16年度久米島町下水道事業特別会計補正予算（第2号）については、原案のとおり可決されました。

日程第5 仲里漁港漁船保全修理施設建築工事請負契約について

(長井聰助役降壇)

○ 議長 仲地宗市

日程第5、議案第46号、仲里漁港漁船保全修理施設建築工事請負契約について。本案の提案理由の説明を求めます。

長井聰助役。

(長井聰助役登壇)

○ 助役 長井聰

議案第46号、仲里漁港漁船保全修理施設建築工事請負契約についてご説明申し上げます。参考資料として添付してあります4枚目の位置図をご覧ください。工事場所は図示してありますとおり、仲里漁港真泊地区の漁港内東側の地点であります。

工事概要であります。3枚目の参考資料をご覧ください。建物はRCづくりで、253.2㎡、設備と致しまして、ホイストクレーン2t型1基、電気設備一式、給排水衛生設備一式となっております。工期は158日を予定しております。

次に、事業費の負担割合であります。国が6分の5、町が6分の1の負担割合となっております。なお、町負担分につきましては、過疎債を充当する予定でございます。

契約事項であります。次のとおりであります。

1 契約の目的 仲里漁港漁船保全修理施設建築工事。2 契約の方法、指名競争入札。3 契約の金額、7千854万円。4 契約の相手方、住所、沖縄県島尻郡久米島町字大田565番地。商号、久米建設株式会社。氏名、代表取締役仲間良典。

以上が議案第46号、仲里漁港漁船保全修理施設建築工事の工事請負契約についての説明であります。ご審議よろしくお願ひ致します。

○ 議長 仲地宗市

これで提案理由の説明を終わりました。これから質疑を行います。

○ 議長 仲地宗市

17番國吉弘志議員。

○ 17番 國吉弘志議員

議案第46号の工事請負契約でございますが、先程、一般会計補正予算の中でも分離発注の件が出ておりましたが、今回のこの工事金額からして7千854万円と、高い金額でございますが、担当課として、その工事についても、設備、給排水、その他クレーン等についても分離して発注する考えはあったのか、最初から一括してということであったのか、お伺いします。

○ 議長 仲地宗市

大田治雄農林水産課長。

○ 農林水産課長 大田治雄

ただいまの質疑にお答えします。この件に関しましては、指名審査委員会の中でも議論になりました。今回、全てが、この工事には含んでおりません。これから建物と平行しまして巻き上げ機、船を乗せる台車ですね、その分については別件発注で予定しております。そして、電気機械設備については、他の公共施設とは違いまして、そんなに金のかかる電気設備等がありませんので、これを一体型として建築で大丈夫ということで指名審査委員会の中でも説明をして、了解を得て、こういう形で入札を実施しております。

○ 議長 仲地宗市

17番國吉弘志議員。

○ 17番 國吉弘志議員

ただいま課長の方から電気、給排水等につ

いては、金額が少ないから一括ということではありますが、今現在、工事量も少なく、大変業者の方も心配しているところだと思います。できるだけそういう分離発注できる分については発注して工事を進めてもらいたいと思っております。

それからあと1点だけ、この建設後の管理運営については、どう考えておられるかお伺いします。

○ 議長 仲地宗市

大田治雄農林水産課長。

○ 農林水産課長 大田治雄

ただいま1点目ですが、これは他の課との関連もありますので、そのへんについては内部の方でいろんな形で検討しながら、なるべくいい形で分離発注できるのは分離でということで調整をしていきたいと思っております。そして管理運営なんです、これに関しては、久米島漁協さんに委託で、単年契約で委託管理させます。そして、裏負担分等については、これも漁協さんから、今、予定であります、17年から26年の10年間にかけて町が起債した分を償還していくというかたちで考えております。その償還が終わったのちに譲渡するかどうかについては、今後、内部の方で調整して決定したいと思っております。

○ 議長 仲地宗市

他にありませんか。

(「進行」の声あり)

○ 議長 仲地宗市

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

まず、原案に反対者の発言を許します。

○ 議長 仲地宗市

次に、原案に賛成者の発言を許します。

○ 議長 仲地宗市

5番宮田勇議員。

○ 5番 宮田勇議員

本案に賛成します。この施設については、旧仲里村議会の頃から漁民からの要望があって、その担当、神里課長が担当しておりましたが、現場視察にも行ったりして充分我々も把握しています。そういった意味で、工期内に竣工されることを強く要望して、本案に賛成します。

○ 議長 仲地宗市

これで討論を終わります。

これから議案第46号、仲里漁港漁船保全修理施設建築工事請負契約についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手多数)

○ 議長 仲地宗市

挙手多数です。従って、議案第46号、仲里漁港漁船保全修理施設建築工事請負契約については、原案のとおり可決されました。

○ 議長 仲地宗市

以上で本日の全日程は終了しました。

これで散会します。

(散会 11時40分)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

久米島町議会議長 仲地 宗市

署名議員（議席番号12番） 大田 哲也

署名議員（議席番号13番） 真栄平 勝政

平成 1 6 年 (2 0 0 4 年)

第 4 回 久 米 島 町 議 会 定 例 会

3 日 目

9 月 2 2 日

平成16年 第4回久米島町議会定例会

会議録 第3号

招集年月日	平成16年9月22日 (水曜日)			
招集の場所	久米島町議会議事堂			
開閉会日時 及び宣言	開会	9月22日 午前10時00分	議長	仲地宗市
	散会	9月22日 午後2時00分	議長	仲地宗市
応招議員 出席議員 出席17名 欠席1名	議席番号	氏名	議席番号	氏名
	1番	山城宗太郎	10番	上江洲盛元
	2番	翁長英夫	11番	内間久栄
	3番	宮里洋一	12番	大田哲也
	4番	仲村昌慧	13番	真栄平勝政
	5番	宮田勇	14番	平良朝幸
	6番	上里総功		
	7番	崎村稔	16番	本永朝辰
	8番	幸地良雄	17番	國吉弘志
	9番	平田勉	18番	仲地宗市
(不応招) 欠席議員	15番	仲原健		
会議途中退席議員	番		番	
開議後出席議員	番		番	
公務欠席議員	番		番	
	番			
会議録署名議員	14番	平良朝幸	16番	本永朝辰
職務のため会議に 出席した者	職名	氏名	職名	氏名
	事務局長	仲宗根秀吉	係長	日高清有
			書記	上原あゆみ
地方自治法第121条により説明のため議場に出席した者の職氏名				
職名	氏名	職名	氏名	
町長	高里久三	教育総務課長	太田喜功	
助役	長井聰	生涯学習課長	吉元幸信	
収入役	松元徹	文化課長	与座勇	
教育長	喜久里幸雄	住民課長	神里勇	
総務課長	平田光一	福祉課長	平良進	
行政改革推進室長	仲村渠一男	保健衛生課長	山城英明	
企画財政課長	山城保雄	水道課長	又吉敏雄	
建設課長	神里稔	税務課長	比嘉・	
商工観光課長	盛本實	出納室長	伊良皆真秀	
農林水産課長	大田治雄	空港課長	仲地泰	
農業委員会事務局長	宮里剛	消防長	幸地猛	

平成16年 第4回久米島町議会定例会

議事日程〔第3号〕

平成16年9月22日(水)

午前10時00分 開会

日程	議案番号	件名	頁
第1		会議録署名議員の指名	83p
第2	議案第44号	平成16年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	83p
第3	議案第47号	基盤整備促進事業(基幹水利施設補修工事)計画について	84p
第4	認定第1号	平成15年度久米島町一般会計歳入歳出決算認定について	86p
第5	認定第2号	平成15年度久米島町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	93p
第6	認定第3号	平成15年度久米島町老人保健特別会計歳入歳出決算認定について	97p
第7	認定第4号	平成15年度久米島町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	98p
第8	認定第5号	平成15年度久米島町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	100p
第9	認定第6号	平成15年度久米島町水道事業会計歳入歳出決算認定について	101p
第10	報告第4号	平成15年度沖縄県町村土地開発公社事業報告及び決算報告について	103p
		散会	104p

(午前 10時00分 開議)

○ 議長 仲地宗市

おはようございます。本日の会議を開きます。

ご報告します。15番仲原健議員から欠席届が出ておりますので、許可しました。

日程第1 会議録署名議員の指名

○ 議長 仲地宗市

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、14番平良朝幸議員、16番本永朝辰議員を指名します。

日程第2 平成16年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について

○ 議長 仲地宗市

日程第2、議案第44号、平成16年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について。本案の提案理由の説明を求めます。

長井聰助役。

(長井聰助役登壇)

○ 助役 長井聰

議案第44号、平成16年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）についてご説明申し上げます。

歳入歳出予算は既決予算額に132万円を追加し、歳入歳出それぞれ9億4千649万1千円としてございます。

2ページをお開き下さい。歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、第1表「歳入歳出予算補正」のとおりでございます。

歳入についてご説明申し上げます。6ペー

ジをお開き下さい。10款繰越金であります、平成15年度国民健康保険特別会計の決算剰余金132万円を計上してあります。歳入は以上でございます。

歳出でございますが、7ページの方で説明致します。1款総務費69万6千円を減額してありますが、これは人事異動に伴う減額となっております。

次に、2款保険給付費であります、一般被保険者診療給付費として201万6千円を追加補正してあります。

6款保険施設費でございますが、これは費目内での組み替えとなっております。

以上が議案第44号平成16年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）の概要であります。ご審議よろしくお願いします。

(長井聰助役降壇)

○ 議長 仲地宗市

これで、提案理由の説明を終わります。これから質疑を行います。

(「進行」の声あり)

○ 議長 仲地宗市

質疑ありませんか。

○ 議長 仲地宗市

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

まず、原案に反対者の発言を許します。

○ 議長 仲地宗市

次に、原案に賛成者の発言を許します。

○ 議長 仲地宗市

これで討論を終わります。

これから議案第44号、平成16年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成

の方は挙手願います。

(挙手多数)

○ 議長 仲地宗市

挙手多数です。従って、議案第44号、平成16年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)については、原案のとおり可決されました。

日程第3 基盤整備促進事業(基幹水利施設補修工事)計画について

○ 議長 仲地宗市

日程第3、議案第47号、基盤整備促進事業(基幹水利施設補修工事)計画について。本案の提案理由の説明を求めます。

長井聡助役。

(長井聡助役登壇)

○ 助役 長井聡

議案第47号、基盤整備促進事業(基幹水利施設補修工事)の計画についてご説明申し上げます。

土地改良事業の一環であります基盤整備促進事業を計画及び実施するに当たっては、議会の議決や当該事業の概要公告などの手続を経る必要があるため、本議案を提出するものであります。

事業の概要であります。昭和63年から平成7年にかけてスハラ地区において県営灌漑排水事業として実施されました3基の調整池のうち、2号調整池が陥没や台風被害によりゴムシートが破損して漏水するため、現況のゴムシート張りからより強固なコンクリート張りに改修し、農業用水を確保しようとするものであります。

受益者面積は16.2ha、事業主体は久米島町となっております。事業量は、調整池28,000

m³で、施行は底板舗装工、コンクリート張り、遮水マット工、天板舗装工となっております。

事業費は2億2千万円を予定しております。事業費の負担割合であります。国が80%、1億7千600万円、県が15.5%、3千400万円、町が約4.5%、1千万円となっております。

予定工期は、平成17年度から平成19年度までを予定しております。

以上が議案第47号基盤整備促進事業(基幹水利施設補修工事)計画についての説明であります。ご審議よろしく申し上げます。

(長井聡助役降壇)

○ 議長 仲地宗市

これで、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

7番崎村稔議員。

○ 7番 崎村稔議員

スハラ地区では以前にもゴムシートが破れて、大金を掛けて交換したことがあるんですが、それと一緒にですか。

○ 議長 仲地宗市

神里稔建設課長。

○ 建設課長 神里稔

お答え致します。以前に修理したのは1号池でございまして、今回は2号池でございませぬ。

○ 議長 仲地宗市

10番上江洲盛元議員。

○ 10番 上江洲盛元議員

お聞きしたいんですけど、これはいつ頃から水漏れになっているのか、あるいはその間は耕作している皆さんは水はどこからどうかん水したのかお聞きしたいと思います。

○ 議長 仲地宗市

神里稔建設課長。

○ 建設課長 神里稔

お答え致します。この池は1号、2号、3号とあるんですが、1号、2号につきましては、1号が約10年くらい前にゴムシートが剥がれて、それを修理して、その間は1号を修理して、その1号から水を使っております。下の方に3号池がありますから、それから利用しておりました。ただし、2号池については、漏水して、今まで地下水の流れを調査するというので、ここ何年か調査、調査でずっと3、4年放置してありますので、多少の水の不足は生じておりました。

○ 議長 仲地宗市

10番上江洲盛元議員。

○ 10番 上江洲盛元議員

前に補修したものとの関係で、僕、現場を見てきたんですよ。めちゃくちゃだなと思っておりますが、今、3、4年前からこういう状態だということでしたけれども、この3、4年というのは、この水は必要なかったということになるんですが、だからといって水を使用する方々は不便性を困ったと思いますが、今おっしゃるように、その間は1号の方から補給していたということですか、もう1回お願いします。

○ 議長 仲地宗市

神里稔建設課長。

○ 建設課長 神里稔

お答え致します。1号の方から撒水しておりました。3、4年放置したのは、まず原因がはっきりしないということで、向こうの地形は地下水が流れるということで、その漏水の調査に時間を要したということで、その間

は放置していたかたちですが、調査を続けてきたということです。

○ 議長 仲地宗市

10番上江洲盛元議員。

○ 10番 上江洲盛元議員

その間、1号から水を補給したということですが、そうすると場合によっては、ものの考え方によっては、このダムは必要ないということにはならないのかどうなのか。あるいはサトウキビを作っている皆さんとの日頃の係わりでどうなっているのか。そういうのは、この間、かん水がちゃんとやられていたと見ていいのか。見ていたら、この貯水池が不要になって来るという考え方もできるわけですが、いかがですか。

○ 議長 仲地宗市

神里稔建設課長。

○ 建設課長 神里稔

水は絶対量として不足でございます。ですから、今の現況を修理して使おうということで、その間確かに農家の皆さんには大変不便を困っていましたけど、これが完了しますと、それだけの、16ha余りのかん水が可能になってきます。

○ 議長 仲地宗市

他に質疑ありませんか。

○ 議長 仲地宗市

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

まず、原案に反対者の発言を許します。

○ 議長 仲地宗市

次に、原案に賛成者の発言を許します。

○ 議長 仲地宗市

これで討論を終わります。

これから議案第47号、基盤整備促進事業(基

幹水利施設補修工事) 計画についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手多数)

○ 議長 仲地宗市

挙手多数です。従って、議案第47号、基盤整備促進事業(基幹水利施設補修工事)については、原案のとおり可決されました。

**日程第4 平成15年度久米島町一般会計
歳入歳出決算認定について**

○ 議長 仲地宗市

日程第4、認定第1号、平成15年度久米島町一般会計歳入歳出決算認定について。本案の提案理由の説明を求めます。

長井聰助役。

(長井聰助役登壇)

○ 助役 長井聰

認定第1号、平成15年度久米島町一般会計歳入歳出決算についてご説明申し上げます。

平成15年度久米島町一般会計決算は、歳入におきまして94億7千7万5千円で、対前年度20億2千503万円、率に致しまして17.6%の減となっております。歳出におきましては、93億6千623万7千円で、対前年度費で20億2千500万3千円、率に致しまして17.8%の減となっております。歳入歳出差引1億383万8千円で、そのうち9千7万5千円が繰越明許費となり、実質収支額は1千376万3千円となっております。歳入歳出共に前年度と比較しますと大幅な減額となっておりますが、平成14年度の決算額が、合併初年度にあたり13年度決算の打ち切りによる旧村及び一部事務組合の未収未払債務を引き継いだために、その分が決算に

反映され、平成15年度決算の減額要因となっております。よって、久米島町の純決算額は15年からとなります。

まず、1ページの歳入歳出予算款項目集計表でご説明申し上げます。

1款町税であります。収入済額5億9千916万7千443円となっております。

次に、2款地方譲与税でございますが、7千140万円の収入となっております。

3款利子割交付金でございますが、302万円の収入となっております。

地方消費税交付金ですが、6千510万6千円の収入となっております。

自動車取得税交付金は1千946万7千円の収入済となっております。

地方特例交付金、6款でございますが、1千752万6千の収入済となっております。

地方交付税でございます。30億4千596万6千円の収入済額となっております。その内訳でございますが、普通交付税が26億2千144万5千円、特別交付税が4億2千452万1千円の収入となっております。

交通安全対策特別交付金でございますが、167万9千円収入済されております。

9款分担金及び負担金でございますが、5千537万5千83円の収入済となっております。これは保育料が4千604万3千300円等々の収入となっております。その他に老人ホームの入所負担金、そして宅配サービスの負担、配食サービスの負担金等々の老人福祉負担金も入っております。

次に、10款使用料及び手数料でございますが、収入済額が5千454万3千622円となっております。使用料でございますが、これには改善センターの使用料、そしてシンリバーマ売

店使用料等、そして商工観光費使用料におきましては、泊、真泊のフェリーターミナル使用料、そして海の館入館使用料、五枝松売店使用料、兼城港ターミナル使用料、泊フィッシュアリーナ使用料等々、合わせまして1千939万2千482円の使用料が収入済となっております。

土木使用料につきましては、公営住宅の使用料が1千192万7千800円収入として入っております。

教育費使用料でございますが、これは主に幼稚園の保育料、入園料と、そして自然文化センターの入館料、さらにはホテルドームの使用料、久米島運動公園の使用料等、合わせまして869万7千520円が教育使用料として収入済となっております。

衛生使用料におきましては、火葬場、屠殺場の利用料と致しまして139万9千円が収入済となっております。

次に、手数料でございますが、これは主に総務手数料、これは戸籍住民票手数料、印鑑証明手数料等々が受けられております。1千320万4千300円が手数料として収納してございます。

次に、11款国庫支出金でございますが、収入済が20億2千492万4千263円となっております。これは国庫負担金の方で保育所の運営費負担金、そして児童手当等、さらには身体障害者施設支援費等々がございます。

国庫支出金のうち国庫負担金分が1億8千698万899円となっております。

衛生費国庫負担金ですが、199万9千910円、これは保健事業関係の負担金でございます。

次、国庫補助金でございますが、収入済が18億2千538万6千950円となっております。こ

れには総務費、国庫補助金と致しまして、合併市町村補助金5千万円が入っております。

また、衛生費国庫補助金と致しまして、一般廃棄物最終処分場建設事業が4億4千220万円が収入されております。また、農林水産施設関係では、漁港関連、あるいは海岸保全事業関係の国庫補助金が収入済となっております。

土木費国庫補助金は、主に投資的経費でございますが、ミーフガー線、仲泊8号線、奥武島1号線、深層水線等々の事業が収入としてあげられております。

消防費国庫補助金では、防火水槽設置事業がございまして、523万6千円収入があります。

教育費につきましては、6千230万7千円の国庫補助金がございますが、これは久米島中学校のグラウンド整備事業3千791万8千円の事業にかかる分が大きな額となっております。

また、特定防衛施設周辺調整交付金として1億3千337万円が入ってきております。

次に、3項国庫委託金でございますが、1億2千55万6千416円が収入済となっておりますが、これは衆議院選挙委託費、それと基礎年金の事務費等々が主なものでございます。

次に、12款国有提供施設所在市町村助成交付金でございますが、20万円の収入であります。

次、13款県支出金でございますが、10億395万2千615円の収入がございます。これも1款県負担金と致しまして、民生費県負担金、これは保育所運営負担金、被児童手当関係の負担金と合わせまして8千511万1千760円の歳入となっております。

次に、2項県補助金でございますが、8億1千18万4千222円の収入済となっております。

これは総務費県補助金と致しまして沖縄県合併市町村支援交付金6千万円が収入として上がっております。そして、民生費県負担補助金の高齢者の生きがいと健康づくり推進事業等、また、介護予防拠点整備事業等の事業がありまして、民生費県補助金が7千177万5千450円収入となっております。

次に、農林水産費県補助金の方でございますが、これは新山村振興等自然景観保全推進事業費2千477万6千円等の事業費、そして農業生産総合対策事業3千431万3千円等の事業費の収入がありまして、農林水産費県補助金で4億4千296万2千772円の収入がございました。

次に、県委託金でございますが、県委託金は1億865万1千333円となっております。これは町税費の委託金626万1千603円の委託金が収入済となっております。

次に、土木関係でございますが、土木関係の委託金でございますが、6千66万3千950円の収入がございまして、これは港湾管理委託や空港管理委託金として収納した分でございます。

次に、14款財産収入でございますが、収入済額が3千920万7千782円となっております。これは土地建物等貸付収入であります。これは個人に貸し付けた合計で、軍用地料も含まれますが、2千628万6千530円の収入済となっております。

そして、財産売払収入では、1千237万4千357円が町有財産の売払収入として受け入れをしております。

15款寄付金でございますが、3万円の受け入れがございまして。

16款繰入金でございますが、3億3千400万

円繰り入れしております。財政調整基金から7千400万円、減債基金から9千万円、町づくり基金から1億2千万円、地域福祉基金から5千万円でございます。

17款繰越金は、1億4千246万4千965円となっております。

諸収入でございますが、18款、1億592万2千470円を受け入れしております。これは総務費雑入ということで離島医療組合の職員派遣の還付金が857万9千640円雑入で受け入れてございます。

次に、19款町債でございます。18億8千612万3千円を収入しております。これは各種事業の町負担分の町債への借入という部分でございます。

以上が歳入でございます。

次に、3ページの歳出で説明申し上げます。議会費で支出済額が1億3千712万7千276円となっております。総務費で21億4千869万7千645円の支出となっております。総務費の方でございますが、これはバーデハウス久米島の事業がございまして、これは町づくり推進費の方で支出されておりました。総務費が大きな支出済額となっております。

次に、2款民生費でございますが、支出済額が11億7千753万5千449円となっております。これは社会福祉費、そして児童福祉関係の支出となっております。

次に、4款衛生費でございますが、14億5千485万7千554円の支出済額となっております。これは最終処分場建設事業がございまして、その分が大きな支出の額となっております。

次に、6款農林水産業費でございますが、9億7千500万6千36円の支出済額となっております。

ます。農林水産業関係では、儀間漁港関連施設整備事業、そして集落地域整備事業、これは仲地地区の方でございます。さらにはカンジダム建設負担金等々の事業が入っております。

次に、商工費でございますが、2億4千838万352円の支出済となっております。商工費関係では、今回、路線バスの購入事業を行っております。

次に、8款土木費でございますが、12億8千265万5千277円が支出済となっております。土木費では、投資的経費の部分が大きな要因でございます。多目的グラウンド整備工事、そして観光施設整備事業、ミーフガー線整備事業、仲泊8号線整備事業、奥武島1号線整備事業、そして滞在体験交流促進事業、これは奥武島のキャンプ場ですが、このような事業を実施しております。

次に、9款消防費でございますが、2億7千832万4千774円の支出済となっております。消防費は今回指令指揮車、広報車を購入してございます。そして防火水槽の設置事業も行っております。

次に教育費でございますが、7億9千380万168円支出済となっております。今回、教育費では、久米島中学校のグラウンド整備工事がございます。その他は教育費の義務的事業費分でございます。さらには文化財関係では城跡の保全事業等も実施されております。

11款災害復旧費でございますが、382万2千463円の支出済となっております。

12款公債費でございますが、8億6千603万131円の支出となっております。

歳出合計で93億6千623万7千130円が歳出の合計額となっております。

それでは、歳入の決算額、構成比をご説明申し上げます。交付税が歳入の決算額構成比から見まして、32.2%と最も大きく、ついで国庫支出金が21.4%、地方債が19.9%、県支出金が10.5%の順となっております。自主財源の割合が14.1%と依然と低く、交付税や国、県支出金、地方債等の依存財源額の構成となっております。

依存財源の中でも地方交付税は国県支出金、地方債とは違い、使途が制限されておらず、一般財源の大半を占めておりますが、国の改革により年々減額傾向にあります。15年度におきましては、対前年度3億5千488万円の減、率に致しまして10.4%の減でありました。普通交付税で2億2千907万5千円、率に致しまして8%の減。特別交付税で1億2千580万5千円、率に致しまして22.9%の減額となっております。普通交付税は平成13年度から平成15年度の間、財源不足を交付税特別会計からの借入は行わず、国と町が折半し、地方負担については臨時財政特例債が発効され、元利償還金を後年度の基準財政事業額へ算入する方法となり、普通交付税の減額分は臨時財政対策債で対応されております。その額が2億570万円の増となっております。特別交付税につきましても、合併による特殊財政需要額を14年50%、そして15年30%、16年20%の算入となったために減額でございます。

歳出の決算構成比は、普通建設事業が41.8%、継いで人件費が20.8%、物件費12.9%、公債費9.3%の順となっております。財政指標から見ますと、人件費、扶助費、公債費の義務的経費が30億2千130万6千円、全体の32%を占めており、それに伴いまして経常収支比率が89.5%と、対前年度から3.6ポイント

の伸びとなり、警戒ラインの90%近くまで上昇しております。また、歳入歳出決算額が大幅に減額となる一方で、公債費残高が前年度と比較しますと11億9千172万2千円、13.9%の増となり、公債費残高は97億8千441万円と、100億円に近い借金額となっております。これは平成15年度においてバーデハウス久米島の整備事業や、最終処分場の大型事業が完了したことに伴う事業費の増でありまして、裏負担確保による借入額の伸びが要因となっております。今後は償還額に対し借入額を大幅に抑制するため、事業着手については投資的効果や緊急性など充分精査し、選択と周知を基本として取り組んでいく考えでございます。ひとつよろしくお願い致します。

以上が平成16年度久米島町一般会計決算の概要でございました。

(長井聡助役降壇)

○ 議長 仲地宗市

これで、提案理由の説明を終わります。

本件につきましては、後日予定されております決算審査特別委員会において細部において質疑できますので、この場においては大綱的な質疑に止めて頂くようご協力お願い致します。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

6番上里総功議員。

○ 6番 上里総功議員

大まかに聞きます。決算審査意見書の中に、町税の収入済額が1億5千万円ということで多額となっているんですが、これは今後の見通しとかそういうのはどのようになっているのか。それと、長期滞納者もいろいろいるかと思うんですが、それは決算委員会で聞きます

が、大まかなことでけっこうですので、その後どのような対策をやるのか。お願いしたいと思います。

○ 議長 仲地宗市

比嘉・税務課長。

○ 税務課長 比嘉・

今回の決算につきましても、大幅な未収入ということになっておりますが、今後、預貯金調査、そういった滞納処分を含めて徴収の調査に努めてまいりたいと思います。

○ 議長 仲地宗市

6番上里総功議員。

○ 6番 上里総功議員

それと、合併して3年目ということで、旧具志川、旧仲里を区分した場合には、滞納しているのが両方にまたがっていると思うんですが、どっちが多いのか、そのところもお聞きしたいんです。

○ 議長 仲地宗市

比嘉・税務課長。

○ 税務課長 比嘉・

詳しくは調べてはおりません。全体的に長期高額滞納者が、同じ方が多いということはありませんけれども、そういった旧具志川、仲里で特に多いというのは、詳しくは調べておりません。

○ 議長 仲地宗市

6番上里総功議員。

○ 6番 上里総功議員

それは、今後、いろんな面で住民サービスといえますか、そうなった場合に必ずいろいろな税金を納めているのかとか、そういうのが必ず来ると思うんですよね。だからそういうのはぜひ把握してもらいたいと思います。

○ 議長 仲地宗市

他に質疑ありませんか。

11番内間久栄議員。

○ 11番 内間久栄議員

私も町税についてお聞きしたいんですけど、収入未済額が1億5千334万9千953円と、大きな未済額が出ておりますけど、特に固定資産が1億1千200万円の大きな数字が上がっております。決算は、整理期間が5月一杯ではございますけど、その後、幾ら収入が入ったのか、それを教えて頂けますか。

○ 議長 仲地宗市

休憩します。(午前 10時44分)

○ 議長 仲地宗市

再開します。(午前 10時45分)

5番宮田勇議員。

○ 5番 宮田勇議員

いつも9月決算議会においては収入未済額が主に指摘されておりますね。先程6番議員からもあったとおり、徴収率が前年度より1.1%減少していると。毎年のように委員会でも指摘されておりますが、徴収率を上げる兆しが、努力がちっとも見えてこないですね。不納決算額についても、あれは町民としては義務なんです。どうして不納決算額を作るようなやり方をするのか、あれは処分もやると先程言っているんだが、委員会のときも毎年それは指摘されておりますが、県税なんかは差押えも通知も来るんじゃないですか、督促状も来て、延滞利子も来るくらいなのに、町もそのような体制でこれから厳しい時代を乗り切らないといけないんだが、どのような処分を入れるのか、財産差押えもやったらいいじゃないかという、去年も指摘をしたんだが、ちっともそのへんが見えてこないですね、努力が。5年滞納してやっておけば不納欠損額

で処理するというんだが、この滞納している者を、5千円でもちょっとでもいいから徴収すれば、それからまた5年になるから、そういった方法で、その努力もする必要があるが、ちっとも進歩が見られないんだが、この処分の仕方、方法はどのように考えているか、皆さん、本会議、みんなのいる前でしっかり示して下さい。委員会では課だけですから、ちっともみんなに浸透していかないと思うんですよ。

○ 議長 仲地宗市

比嘉・税務課長。

○ 税務課長 比嘉・

ただいまのご質問にお答え致します。確かに前年度の決算におきましても、そういったかたちで滞納処分をするということで申し上げました。そして、今、滞納処分につきましても、預貯金の差押え、ひいては財産、不動産の差押えということでありまして、現在行っておりますのは預貯金の差押えはやっております。しかし、預貯金の調査につきましてもいろいろ金融機関をやっておりますけれども、預貯金の残高がほとんどありません。そういったかたちにおきまして預貯金の差押えというのは平成15年度1件のみにとどまっております。そういったこともございまして、今、観光関連産業も9万台から10万台ということでやや上向き加減ではあるんですけども、これにつきましてもやはりイーブ地区の方に集中しております。旧具志川地区におきましては全然そういったかたちでの観光関連の宿泊施設等につきましてはよくなる兆しがございません。そういったこともございまして、今後、預貯金の差押えはや

っておりますけれども、不動産の差押え、あと動産、船舶等の差押えも今後検討してまいりますけれども、そういったかたちで今三役とも調整していきたいと思っております。

○ 議長 仲地宗市

5番宮田勇議員。

○ 5番 宮田勇議員

預貯金の差押えも実施しているというんだが、今の答弁では預貯金の無い方もいて徴収不可能だといっておりますが、都心部では税金を払うために財産を売ってまで、財産を処分してまでやっていますよね、それくらい徹底して、その差押えも広報でもって住民に徹底してやらないと、ただ税務が、こうやりますよと、文書でこうやりますよでは効果はないと思います。しっかりと広報で、このように措置をすると。東京あたりの都心部では税金を払えないで土地を売って払っているじゃないですか。それくらい厳しくやらないと、これから我が町の財政も三位一体の中で事業もできなくなって、町政運営が危ぶまれておりますよ。そのくらい厳しくやらないと、この久米島町は沈没、倒産したらどうしますか。だから予算委員会でいつも言っているんだが、それに逃げ口上みたいにもいつもやって、ちっとも進歩が見られないですよ。また委員会でも言いますけど、もう一度しっかりと全員の前で、執行部も全員いる前で、そのように今後実施しますと、もう一度答弁を示して下さい。

○ 議長 仲地宗市

比嘉・税務課長。

○ 税務課長 比嘉・

お答え致します。今の不動産の差押えにつきましては、県内市町村、市だけにおいては

現在行われております。これは町村においては不動産の差押え等は現在どこもされておられません。行革の方からの指摘がありまして、久米島町の財政が厳しいような中におきまして、今後、町としてどこまで財産処分が可能か、そのへん近いうちに三役も一緒に交えまして、長の答申をいただきまして、その業務に努めてまいりたいと思います。

○ 議長 仲地宗市

仲村渠一男行政改革推進室長。

○ 行政改革推進室長 仲村渠一男

現在の町税の収入状況につきましては、これは税務課長一人だけの問題ではございません。これは町全体としての体制づくりが必要だと考えております。そういうことで、特に次年度以降、補助金が整理されて、それが町税に移管されてくるということも合わせて考えますと、徴収率の向上ということは至上命令であるというふうに考えています。そのためには、まず、差押えする町税吏員の能力の向上、それがまず必要ですし、誰も経験したことがないわけですからね。そういった研修も必要でしょうし、あるいは差押えのマニュアル作り、それも必要です。あと、人的な体制、そういった諸々の条件を含めて、これは次年度、町全体の課題として、行政改革の中でも取り組んでいきたいと思っております。

○ 議長 仲地宗市

5番宮田勇議員。

○ 5番 宮田勇議員

町村ではどこも実施していないからやらないじゃないんですよ。先走ってこういったのをやらないとどうする、これからこの時代を乗り切るためには。だから町民に周知徹底して広報でもってこれは実施しますよと、それく

らいやっついていかないと徴収率は上がらないと思いますよ。それを強く指摘しておきます。

○ 議長 仲地宗市

他にありませんか。

14番平良朝幸議員。

○ 14番 平良朝幸議員

ちょっとわかりにくいんですけども、本年度の歳出に対する義務的経費は何パーセントくらいしているのか、教えてもらえますか。

○ 議長 仲地宗市

山城保雄企画財政課長。

○ 企画財政課長 山城保雄

義務的経費については、人件費、扶助費、公債費がありますけれども、合計で30億2千130万6千円で32%を占めております。

○ 議長 仲地宗市

14番平良朝幸議員。

○ 14番 平良朝幸議員

心配しているのは、将来、この義務的経費を落とすような対策を取らなければずっと赤字が続くということなんですよね。将来的にその義務的経費はどういう推移で進むのか、課長、お願いします。

○ 議長 仲地宗市

山城保雄企画財政課長。

○ 企画財政課長 山城保雄

まず、人件費につきましては、退職等をして、不補充、そういうかたちでだんだん減っていくだろうということで、人件費の抑制、それから公債費につきましては、過去の事業に対する返済でありますので、しばらくは増えるだろうというふうに見ておりますが、今回の予算編成の中でも普通建設事業費ですね、公共事業を含めてそういうものの抑制も

かけないと予算が組めない状況ですので、公債費については今後は減っていくだろうというふうに見ております。しばらくはこれまでやった事業の返済分は若干増えますけれども、平成23年あたりからは少しずつ減るのかなというふうに見ております。そういうことで義務的経費の抑制をしながら、その予算運営に努めていかないといけないというふうを考えています。

○ 議長 仲地宗市

他にありませんか。

○ 議長 仲地宗市

これで質疑を終わります。

お諮りします。

本案については、議長を除く17人の委員で構成する決算審査特別委員会を設置し、この特別委員会に附託して審査することにしたいと思っております。

ご異議ありませんか。

(多数の「異議なし」の声あり)

○ 議長 仲地宗市

異議なしと認めます。

従って、本案については、決算審査特別委員会に附託して審査することに決定しました。

休憩します。(午前 10時56分)

○ 議長 仲地宗市

再開します。(午前 11時07分)

日程第5 平成15年度久米島町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

○ 議長 仲地宗市

日程第5、認定第2号、平成15年度久米島

町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について、本案の提案理由の説明を求めます。

長井聰助役。

(長井聰助役登壇)

○ 助役 長井聰

認定第2号、平成15年度久米島町国民健康保険特別会計歳入歳出決算についてご説明申し上げます。

平成15年度久米島町国民健康保険特別会計の決算は、歳入総額は10億8千311万4千91円、歳出総額は10億8千179万4千603円となっており、実質収支は131万9千488円となっております。

歳入ですが、1ページをご覧ください。1款国民健康保険税でございます。収入済額が1億7千595万6千686円となっております。これは医療費給付分の現年度課税分です。そして介護現年度課税分、そして医療給付費の滞納繰越分等が合計で1億7千595万6千686円となっております。

3款使用料及び手数料をご覧ください。76万5千400円の収入となっております。これは国保税の督促手数料等が主なものでございます。

4款国庫支出金5億8千921万4千666円の収入済となっております。これは医療費の給付費と国庫負担分が主なものでございます。また、高額医療費の共同事業費負担分が597万5千563円収入として入っております。

次に、5款療養給付費交付金でございますが、2千505万5千234円の収入となっております。

次に、県支出金でございますが、597万5千653円、これは高額医療費共同事業負担分が大きなものでございます。

次、共同事業交付金でございますが、2千8

75万5千561円収入済となっております。これは高額療養費等の共同事業交付金が主なものでございます。

9款繰入金2億4千983万4千189円、これは一般会計からの繰入となっております。保険基盤安定繰入金、そして職員の給与費、出産育児一時金等が主なものとなっております。

さらには、国保財政安定化支援事業として1億6千244万7千円の収入もでございます。

次に、10款繰越金でございますが、657万9千45円が平成14年度の剰余金として繰入金に入れてございます。

11款諸収入でございますが、97万7千657円、これは預金利子が主なものでございます。そして、雑入におきましては、一般被保険者第三者納付が96万2千416円が収入として受け入れられてございます。

歳入合計10億8千311万4千91円となっております。

次、2ページの歳出でございますが、総務費でございます。2千898万5千27円支出済となっております。これは人件費関係が主なものでございます。

次に、2款保険給付費でございます。6億2千966万481円が支出済額となっております。これは一般被保険者の保険給付費、あるいは退職、被保険者の療養給付費、一般被保険者療養費等々が支出されております。

次に、3款老人保健拠出金でございますが、3億2千542万161円が支出済となっております。

4款介護給付費でございますが、6千206万8千819円の支出済額となっております。

5款共同事業拠出金でございますが、2千390万1千85円が支出されております。

次に、保健施設費でございますが、1千101万6千730円が支出されております。これは委託料のデータバンク事業とありまして、420万円が支出されております。主な内容でございます。

次に、7款基金積立金でございますが、これは支出はございません。

9款諸支出金でございますが、74万2千300円の支出済額となっております。

歳出合計で10億8千179万4千603円となっております。

以上が平成15年度久米島町国民健康保険特別会計の決算の概要でございます。ご審議よろしくお願い致します。

(長井聡助役降壇)

○ 議長 仲地宗市

これで、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

5番宮田勇議員。

○ 5番 宮田勇議員

さっきの税務課と同じように質問しますが、徴収率88.8%、大変低いですね。前年度より0.3%増加したとはいえ、93を切るということはペナルティーが付きますよね。あれは基準は93%ですか、95%ですね。そして88.8%という徴収率だが、これによってペナルティー、財政調整交付金というのが減額対象になって7%となっておりますが、この7%の額は幾らくらいですか。

そして、不納欠損額が474万6千円、これ納付するのは法的義務もあるんだが、どうして不納欠損額なんか出てくるのか。これはいつも指摘されていますが、そのへんの改善もちょっともされてない、収入未済額も、これは累積ですか、5千790万円というのは。お願いし

ます。

○ 議長 仲地宗市

神里勇住民課長。

○ 住民課長 神里勇

お答えします。ペナルティーは、やはり先程議員が質疑があったとおり93%以下ですね、そういうことで、7%といたしますと、今回、15年度は約2千万円近くのペナルティーを、補助金カットされております。そういうことで、不納欠損についてですが、やはり職員も努力して、徴収員も2人体制で滞納所帯各いろいろ各戸訪問で精力的に行っておりますが、なかなかどうしても苦しい住民がおりまして、先程の一般会計のときも指摘があったように、17年度に向けては機構改革の変更で徴収率の強化ということで国保関係の徴収率附加を切り離して徴収附加部門を設置すると、そういうこともしていますし、また、私も来る11月に、一度もまだしてないんですが、制度の普及ということでパレードを予定しております。そういうことで、やはりこれは一課の問題ではなく、非常に厳しい部分があって、努力はしておりますが、納付誓約書を努めて相談して徴収していくようにということで、徐々に普及、その啓蒙、制度として理解してきたかと思っております。

○ 議長 仲地宗市

5番宮田勇議員。

○ 5番 宮田勇議員

これは国から法的に義務とされておりますよね、払わなくてはいけない。なのに不納欠損額も出て、この方々は医療はどのように受けているか。あれは保険手帖がないと医療も全額実費になるんだが、そういったものには医療を受けないからそれでいいとか、そうい

った話も聞くのだが。それとその徴収率も、今、パートで家庭訪問しているみたいだが、その効果はあるのか。払いやすいところで、取りやすいところを回って、取りにくいところは放ったらかしてとか、いろいろこういったのも聞こえるのだが、そういったのは課長としてしっかり監視のものとで有効に、このパートも配置しているのか。そして、機構改革でまたいろいろと国保の場合は歳入においては税務部門へ回すとか、こうなった場合に、よけいに徴収率は下がっていくのではないかなという懸念もするのだが、そのへんどう考えておりますか。

○ 議長 仲地宗市

神里勇住民課長。

○ 住民課長 神里勇

徴収員については、滞納を優先的に回ってくれと、その都度、指導はしております。たまたま町民から足がないからとか、こういうところは臨機応変にやっているようです。振り込みできないとかですね、こういうところは報告は受けております。

それから、滞納については、5カ年ほとんど同じ方ですね。そういうことで、保険手帳も切り換えに来ないです。3月切り換え時には。あと医療が必要になる場合に、今、短期交付制度を設けてやっていますが、納付誓約書、計画書を提出されて、そこで1カ月間、あるいは何週間の期限打ちで交付しております。

○ 議長 仲地宗市

5番宮田勇議員。

○ 5番 宮田勇議員

滞納者の方々の保険手帳交付の場合、もちろん病院に行かないというわけにはいきませ

んが、病院に行ったときに全額高額支払いになるのだが、そういうときに保険手帳を発行してくれという方も来ると思うが、そのへんはどういう対応をしてやっているのか。

それと、保険の徴収員、パート何名体制でやって、時給もいい時給をもらっているのに、その効果があるかないかわからないくらいということも聞いているのだが、それだけ人件費を使っているのだが、そのへんのところもう一度お願いします。

○ 議長 仲地宗市

神里勇住民課長。

○ 住民課長 神里勇

徴収員については、従来、4名おりましたが、15年度から2名体制で十分可能だということで2名体制でやっております。

○ 議長 仲地宗市

休憩します。(午前 11時23分)

○ 議長 仲地宗市

再開します。(午前 11時23分)

○ 住民課長 神里勇

保険手帳の切り替えですが、全く納めないで替えてはいません。来たら、やはり納税相談によって全額お願いしたり、あるいはどうしても厳しいとなれば、先程言いましたが、納付誓約計画書を提出させて、これを守ってもらうと。約1カ月間ですから、やはりほとんどの方が理解を示して、月々来て納めてはもらっています。払わないで切り換えというのはしておりません。

○ 議長 仲地宗市

他に質疑ありませんか。

○ 議長 仲地宗市

これで質疑を終わります。

お諮りします。

本案については、議長を除く17人の委員で構成する決算審査特別委員会を設置し、この特別委員会に附託して審査することにしたいと思っております。

ご異議ありませんか。

(多数の「異議なし」の声あり)

○ 議長 仲地宗市

異議なしと認めます。

従って、本案については、決算審査特別委員会に附託して審査することに決定しました。

**日程第6 平成15年度久米島町老人保健
特別会計歳入歳出決算認定に
ついて**

○ 議長 仲地宗市

日程第6、認定第3号、平成15年度久米島町老人保健特別会計歳入歳出決算認定について、本案の提案理由の説明を求めます。

長井聰助役。

(長井聰助役登壇)

○ 助役 長井聰

認定第3号、平成15年度久米島町老人保健特別会計歳入歳出決算についてご説明申し上げます。

1ページの歳入歳出決算書の款項別集計表でございます。

失礼しました。実質収支に関する調書でございますが、3ページでございます。平成15年度の久米島町老人保健特別会計は、歳入総額11億7千181万7千円、歳出総額11億7千177万3千円、歳入歳出差引額4万4千円でございます。実質収支4万4千円となっております。

1ページの方でございますが、支払基金交付金でございます。医療費の支払基金の交付

金が7億5千457万2千802円の収入となっております。

2款国庫支出金でございますが、これは医療費の国庫負担金と致しまして2億7千47万7千86円の収入となっております。

3款県支出金でございますが、これも医療費の県負担金でございます。6千792万2千円の収入となっております。

4款繰入金4千522万1千円の一般会計からの繰入でございます。

繰越金3千290万9千869円、平成14年度決算からの剰余金の繰入でございます。

6款諸収入でございますが、71万4千326円の収入でございます。これは預金利子、そして第三者の納付金ということになっております。

2ページの歳出でございますが、1款医療費諸費、これは11億7千84万2千427円が支出済となっております。

次に、2款諸支出金でございますが、93万1千88円の支出となっております。

3款予備費でございますが、これは支出なしでございます。

歳出合計で11億7千177万3千515円でございます。

歳入の構成比を申し上げますと、支払基金でございますが、歳入総額に占めます支払基金交付金の構成比でございますが、64.4%となっております。国庫支出金につきましては、構成比23.08%、県支出金におきましては、構成比5.8%、一般会計繰入金が構成比3.86%、繰越金構成比2.8%でございます。そして諸収入が0.06%となっております。歳出では医療費諸費が構成比の99.92%を占め、諸支出金で構成比0.08%となっております。

以上が平成15年度久米島町老人保健特別会計決算の概要でございます。ご審議よろしく
お願い致します。

(長井聰助役降壇)

○ 議長 仲地宗市

これで、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 仲地宗市

これで質疑を終わります。

お諮りします。

本案については、議長を除く17人の委員で
構成する決算審査特別委員会を設置し、この
特別委員会に附託して審査することにしたい
と思います。

ご異議ありませんか。

(多数の「異議なし」の声あり)

○ 議長 仲地宗市

異議なしと認めます。

従って、本案については、決算審査特別委
員会に附託して審査することに決定しまし
た。

**日程第7 平成15年度久米島町下水道事
業特別会計歳入歳出決算認定
について**

○ 議長 仲地宗市

日程第7、認定第4号、平成15年度久米島
町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定につ
いて、本案の提案理由の説明を求めます。

長井聰助役。

(長井聰助役登壇)

○ 助役 長井聰

認定第4号、平成15年度久米島町下水道事
業特別会計歳入歳出決算についてご説明申し

上げます。

まず、3ページの実質収支に関する調書の方
をご覧ください。歳入総額が4億3千678万5千
円、歳出総額が4億3千600万9千円、歳入歳出
差引額が77万6千円となっております。翌年
度へ繰り越すべき財源と致しまして、繰越明
許費繰越額が59万9千円となっております。
実質収支額が17万7千円でございます。

歳入におきましては、対前年度比8千36万1
千円、率に致しまして15.5%、歳出におきま
しては、対前年度7千986万8千円の減となっ
て、率におきましては15.5%の減となってい
ます。

歳入を性質別に見てみますと、国庫支出金
が構成比38.6%、一般会計繰入金が構成比で
36.3%、町債で23.1%となっております。

まず、1款使用料及び手数料でございますが、
これは下水道使用料と致しまして、現年
度分が744万3千507円、そして過年度分が32
万1千132円収入として受け入れしてございま
す。

国庫支出金でございますが、これは事業費
と致しまして国庫支出金、公共下水道建設補
助金1億6千845万2千円を補助金として受け入
れてございます。

繰入金でございますが、先程も申し上げま
した一般会計からの繰入で1億5千840万円を
繰入しております。

繰越金は、対前年度の決算剰余金を受け入
れてございます。

諸収入、これは8千700円でございます。こ
れは町預金の利息分でございます。利子分を
受け入れしてございます。

町債で1億90万円を下水道事業債として収
入済となっております。

歳入合計が4億3千678万5千2円となっております。

次に、2ページの歳出でございますが、総務費、これは1款総務費でございますが、3億1千828万8千4円でございます。これは全額が職員の人件費ということでございます。総務管理費のうち一般管理費で2千700万7千994円が職員の人件費分でございます。そして下水道の維持管理費分と致しまして1千683万8千405円でございます。そして下水道の建設費と致しまして2億7千444万1千605円でございます。これは奥武島と泊地区で1工区、2工区、3工区の工事を行っております。そして仲泊地区では4工区、5工区、6工区の管渠敷設工事約3kmを行っております。また、委託業務と致しまして、実施測量設計費1工区から5工区の現場技術工事管理を業務委託しております。

以上が平成15年度久米島町下水道事業特別会計歳入歳出決算の説明でございます。ご審議よろしくお願い致します。

(長井聰助役降壇)

○ 議長 仲地宗市

これで、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

○ 議長 仲地宗市

5番宮田勇議員。

○ 5番 宮田勇議員

下水道事業についてですが、使用料手数料、この事業に対してたいへん接続率が少ないですね。というのは、ここに挙げられているとおり、徴収率が34.9%、毎年指摘されていますね。せっかくこうして下水道事業を特別会計でやっている中で、毎年一般会計から繰り出しが高額に出て、この調子ならまたこれに

ついても財政を圧迫し大変なことになるのではないかなと思っているのだが、その接続率を上げる努力、これからの計画はどのように考えているか、水道課長。

○ 議長 仲地宗市

又吉敏雄水道課長。

○ 水道課長 又吉敏雄

お答えします。現在、接続率が非常に低い状態であります。ということで、今、一般繰入の方も高額の金が来ております。それで、今後どうしても接続率を上げないとより厳しくなるということになりまして、去った10月に特例を設置してあります。5カ年間の期限付きで特例を設定致しまして、現在、これは推進員の皆様と一緒に各地域でピーアールをしている途中であります。それで、先月ですけど、この効果が出ていまして、先月1カ月で50件近く、そういった内容とか、またチラシをもって役場に来ていろいろ説明を聞いております。そういう方法を取りながら、さらに接続率の向上に努めていきたいと思っております。

○ 議長 仲地宗市

5番宮田勇議員。

○ 5番 宮田勇議員

接続率を上げるためにチラシをもつというのだが、最近、チラシはふいとみんな捨てているんじゃないかな。しっかり、さっきいった国民健康保険みたいに戸別訪問をするくらいしないと、接続率は上がらないと思うんですよ。いろいろちまたで声も聞こえるんですが、特に率先してやるべき人たちがやってない、公務員が模範的にこうしてやるべきではないかなという声も聞こえるのだが、そのへんのところも自主的にみんなが周知徹底して

加入するような方法はないのか。もう一度。

○ 議長 仲地宗市

又吉敏雄水道課長。

○ 水道課長 又吉敏雄

お答えします。接続については、強制はできないのがあります。そういうことで、その方法、いろいろこれまでいろいろな方法を使って、チラシ、町広報、町祭の時等にうちの配布とかもして、いろいろピーアールはやってきているんですけど、効果が上がらないという状態でありましたので、特例期間を設けた次第であります。

それから、町職員についても、庁議でも呼びかけ致しまして、それと職員用のチラシも作っていろいろ配って、協力を依頼しているところであります。

○ 議長 仲地宗市

他に質疑ありませんか。

○ 議長 仲地宗市

これで質疑を終わります。

お諮りします。

本案については、議長を除く17人の委員で構成する決算審査特別委員会を設置し、この特別委員会に附託して審査することにしたいと思えます。

ご異議ありませんか。

(多数の「異議なし」の声あり)

○ 議長 仲地宗市

異議なしと認めます。

従って、本案については、決算審査特別委員会に附託して審査することに決定しました。

休憩します。(午前 11時43分)

日程第8 平成15年度久米島町農業集落

排水事業特別会計歳入歳出決算認定について

○ 議長 仲地宗市

再開します。(午後 1時27分)

午前に引き続き会議を始めていきます。

日程第8、認定第5号、平成15年度久米島町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について、本案の提案理由の説明を求めます。

長井聰助役。

(長井聰助役登壇)

○ 助役 長井聰

認定第5号、平成15年度久米島町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算についてご説明申し上げます。

3ページの実質収支に関する調書の方をご覧下さい。歳入総額323万9千円、歳出総額321万円、歳入歳出差引額2万9千円、実質収支が2万9千円となっております。

まず、1ページの歳入歳出決算書、款項別集計票でご説明申し上げます。1款使用料及び手数料でございますが、これは集落排水施設の使用料ということで35万5千196円収入済となっております。

次に、繰入金でございますが、250万円、これは一般会計からの繰入となっております。

諸収入、これが3円となっております。

繰越金が38万4千136円、これは14年度の決算剰余金の繰越金でございます。

歳入合計が323万9千335円となっております。

次に、2ページ歳出でございますが、一般管理費186万円、支出済となっております。

その内訳でございますが、一般管理費の中で

光熱水費75万2千781円が支出されております。そして役務費が9万9千8円。委託料ですが、これは電気保安協会、あるいはポンプ施設の管理委託でございますが、58万7千160円が支出済となっております。管路の施設工事がございまして、38万1千150円の支出があります。

2款公債費でございますが、135万60円の支出であります。これは、これまでに事業を行って旧村の持ち出し分の記載した分の償還金となっております。

農業集落排水は、平成13年度で事業が完了しており、平成14年度と15年度決算につきましては、打ち切り決算で14年度に引き継がれたことによる大幅な減となっております。これは14年度と15年度決算を比較した場合のことで、13年度決算が打ち切りになり14年度決算に引き継がれた結果、今年の15年度との比較で大幅な減となっております。

以上が平成15年度久米島町農業集落排水事業特別会計決算の説明であります。ご審議よろしく申し上げます。

(長井聡助役降壇)

○ 議長 仲地宗市

これで、提案理由の説明を終わります。
これから質疑を行います。

○ 議長 仲地宗市

質疑ありませんか。

○ 議長 仲地宗市

これで質疑を終わります。
お諮りします。

本案については、議長を除く17人の委員で構成する決算審査特別委員会を設置し、この特別委員会に附託して審議することにしたいと思っております。

ご異議ありませんか。

(多数の「異議なし」の声あり)

○ 議長 仲地宗市

異議なしと認めます。

従って、本案については、決算審査特別委員会に附託して審議することに決定しました。

日程第9 平成15年度久米島町水道事業会計歳入歳出決算認定について

○ 議長 仲地宗市

日程第9、認定第6号、平成15年度久米島町水道事業会計歳入歳出決算認定について、本案の提案理由の説明を求めます。

高里久三町長。

(高里久三町長登壇)

○ 町長 高里久三

認定第6号、平成15年度久米島町水道事業会計決算書についてご説明致します。

地方公営企業法第30条第4項の規定により、平成15年度久米島町水道事業会計決算を、別紙監査委員の意見を付けて議会の認定を求める。

平成16年9月16日 提出 高里久三

1ページを開いて下さい。平成15年度久米島町水道事業決算報告書(1)収益的収入及び支出、決算額だけ申し上げますので、ご了承下さい。決算額が、第1款水道事業収益決算額が2億7千343万3千340円、第1項営業収益2億990万9千608円、第2項営業外収益6千352万3千732円、不用額が512万9千340円となっております。

支出の部、第1款水道事業費、決算額が2億5千688万9千104円、不用額が2千847万7千896円。第1項営業費用1億9千690万21円。第

2 項営業外費用5千998万9千83円。不用額が営業費用で2千278万2千279円、2 項の営業外費用で569万4千617円になっております。

それから、資本的収入及び支出、収入について、第1 款資本的収入は、決算額で1千500万円、当初予算額も同額でございます。第1 項企業債750万円。第2 項補助金750万円。

支出の部、第1 款資本的支出、決算額6千800万785円、不用額が2千988万1千125円。第1 項建設改良費1千637万278円、不用額424万722円。第2 項企業債償還金5千163万507円、不用額2千564万493円で、資本的収入額が資本的支出に不足する額5千300万785円は過年度分損益勘定保留資金から補填をしております。

これが一応単式の計算方法で一応示してありますけれども、じゃあその1 年度の収益と経費はどれくらい出たかということが、次の損益計算書に出ております。1 に営業収益、給水収益とその他の営業収益で1億9千993万8千160円。

2 番の営業費用、1 の原水及び浄水費から4 の減価償却費まで合計して1億9千339万29円。上の収益1億9千900万円から営業費用の合計1億9千300万円余りを引くと、利益が654万8千131円の利益があると。

それから営業外収益として、受取配当金、それから他会計補助金で6千352万3千735円。それから4 番の営業外費用5千998万9千83円、上の営業外収益から営業外費用を引くと353万4千652円。

この営業外費用と上の営業外収益654万8千131円を加えますと、当期利益が1千8万2千783円の今期利益が出ているということであり

それに前回から繰り越した欠損金が9千38万7千937円ありますから、これを今年度の1 千万円はこれを消すと、1 千万円で消して、次期に繰り越す欠損金が8千30万5千154円とになっております。

次に、水道事業の剰余金の計算で、欠損金でこれまで欠損金で9千38万7千937円ありましたけれども、2 番の、これは「損失」を「利益」に書き換えて下さい。「当年度純損失」とありますのを、これを「当年度純利益」に書き換えて下さい。3 番目の。それを上の9 千万円余りから1 千万円の利益を引くと、未処理欠損金として次年度へ繰り越すのが8千30万5千154円とになっております。

剰余金の部、それから国県補助金で前年度末残高と当年度発生を合わせますと、1億7千230万3万6千936円、それに他会計からの1千590万4千762円を加えると、翌年度繰越資本剰余金が17億3千894万1千698円になります。

前の方で損益計算書で1 千万円の利益が出ておりますけれども、これは全部収益での利益であったら大変喜ばしいことですが、ほとんどが人件費、職員の退職による減によるものと、一部事業の未執行の結果になっているそうです。

しからは、前で利益と費用が出ていたので、次は貸借対照表で試算と負債と資本がどうなっているかということが次の貸借対照表であります。固定資産の部が有形固定資産、それからイロハから始まって、この建物の次にあるものは全部マイナス、マイナス、償却を累計して引くものですから、マイナスを付けた方がいいと思いますね。1億9千12万337円から2千349万5千81円を引くと、右側の方になってきます。これは土地については減価償却

はないのでそのまま土地はここに来ます。有形固定資産の合計が28億694万767円と、それに無形固定資産合計の2万2千371円を加えますと29億696万3千138円の固定資産の部です。それに次の流動資産、預金、未収金、貯蔵品2億8千828万5千419円を加えますと、資産の合計が30億9千524万8千557円の資産があると。

次に負債が、流動負債1千362万9千912円、次に資本が、自己資本のイからハまでの合計が7千920万4千701円、それに借入金資本金、企業債で、借入資本合計で13億4千314万7千767円、この2つを加えますと、上の14億2千235万2千468円になりまして、次の剰余金の資本剰余金の負担金、それから補助金を加えて17億3千957万1千331円から、未処理欠損金8千万円を差し引いて、16億5千926万6千177円、これを上の資本の14億2千235万2千円を加えると30億8千161万8千645円、これに流動負債の1千362万9千12円を加えると30億9千524万8千557円になって、借方、貸方ちょうど同額ということになっております。

私も役場に入って十何年になりますけど、水道事業が1千万円も黒字が出たということは大変喜んでおります。ただ、これが永久的なものではありませんので、今、そうとう厳しい水道会計事業ですので、今後もまた利益が出るように頑張っていきたいし、また次に料金改定もありますので、一つご審議をよろしくをお願いします。

(高里久三町長降壇)

○ 議長 仲地宗市

これで、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

○ 議長 仲地宗市

質疑ありませんか。

○ 議長 仲地宗市

これで質疑を終わります。

お諮りします。

本案については、議長を除く17人の委員で構成する決算審査特別委員会を設置し、この特別委員会に附託して審査することにしたいと思います。

ご異議ありませんか。

(多数の「異議なし」の声あり)

○ 議長 仲地宗市

異議なしと認めます。

従って、本案については、決算審査特別委員会に附託して審査することに決定しました。

決算審査特別委員会の委員長に、建設・経済委員長の山城宗太郎議員、副委員長に総務・文教・民政委員長の仲原健議員が選出されましたので、ご報告します。

日程第10 平成15年度沖縄県町村土地開発公社事業報告及び決算報告について

○ 議長 仲地宗市

日程第10、報告第4号、平成15年度沖縄県町村土地開発公社事業報告及び決算報告について、提案理由の説明を求めます。

長井聰助役。

(長井聰助役登壇)

○ 助役 長井聰

報告第4号、平成15年度沖縄県町村土地開発公社事業報告及び決算報告についてご説明申し上げます。

事業報告及び決算報告書の1ページから2ページをご覧下さい。庶務関係として、公社

の役員に関する事項を掲げてございます。

次に、久米島町支社関係の事業実績をご説明申し上げます。24ページ、25ページをご覧ください。平成15年度沖縄県町村土地開発公社事業執行状況支社別明細表でございますが、番号38、平成6年から久米島多目的公園埋立地でございます。その真ん中の実績をご覧ください。実績と致しまして、本年度は取得造成はございません。掲げられている988万2千296円は利息の分でございます。そして次年度へ繰越、右端の欄の方ですが、33,877.50㎡の面積を3億8千1万9千346円の次年度繰越となっております。

次、番号39でございますが、これは平成9年度から実施しています美崎地区背後地調整事業、これは深層水の隣接する地域でございます。深層水研究所等の隣接する地域でございます。実績の方をご覧ください。この造成地も本年度、いわゆる15年度の取得造成はございませんで、657万7千480円、これは利息でございます。

処分状況であります。1億1千301万4千242円が売上収益として処分されて、売上状況となっております。次年度繰越が49,001.42㎡、2億2千438万8千146円となっております。

次、番号40番でございますが、平成13年度からの宅地造成事業用地でございます。これは仲泊の阿里地区の方でございます。今年度の実績484.40㎡の面積を取得しております。金額と致しまして1億2千258万1千739円でございます。これが次年度への繰越としまして23,346㎡、そして3億3千4万3千213円の次年度繰越となっております。

以上が報告第4号、平成15年度沖縄県町村土地開発公社事業報告及び決算報告について

の説明であります。

(長井聡助役降壇)

○ 議長 仲地宗市

これで報告を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 仲地宗市

これで報告第4号、平成15年度沖縄県町村土地開発公社事業報告及び決算報告を終わります。

以上で本日の全日程を終わります。

散会します。

(午後 2時00分)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

久米島町議会議長 仲地 宗市

署名議員（議席番号14番） 平 良 朝 幸

署名議員（議席番号16番） 本 永 朝 辰

平成 1 6 年 (2 0 0 4 年)

第 4 回 久 米 島 町 議 会 定 例 会

4 日 目

9 月 2 7 日

平成16年 第4回久米島町議会定例会

会議録 第4号

招集年月日	平成16年9月27日 (月曜日)			
招集の場所	久米島町議会議事堂			
開閉会日時 及び宣言	開会	9月27日 午後3時10分	議長 仲地宗市	
	散会	9月27日 午後3時20分	議長 仲地宗市	
応招議員 出席議員 出席15名 欠席3名	議席番号	氏名	議席番号	氏名
	1番	山城宗太郎		
	2番	翁長英夫	11番	内間久栄
	3番	宮里洋一	12番	大田哲也
	4番	仲村昌慧	13番	真栄平勝政
			14番	平良朝幸
			15番	仲原健
	7番	崎村稔	16番	本永朝辰
	8番	幸地良雄	17番	國吉弘志
	9番	平田勉	18番	仲地宗市
(不応招) 欠席議員	5番	宮田勇	6番	上里総功
	10番	上江洲盛元		
会議途中退席議員	番		番	
開議後出席議員	番		番	
公務欠席議員	番		番	
	番			
会議録署名議員	17番	國吉弘志	1番	山城宗太郎
職務のため会議に 出席した者	職名	氏名	職名	氏名
	事務局長	仲宗根秀吉	係長	日高清有
			書記	上原あゆみ

地方自治法第121条により説明のため議場に出席した者の職氏名

職名	氏名	職名	氏名
町長	高里久三	教育総務課長	太田喜功
助役	長井聰	生涯学習課長	吉元幸信
収入役	松元徹	文化課長	与座勇
教育長	喜久里幸雄	住民課長	神里勇
総務課長	平田光一	福祉課長	平良進
行政改革推進室長	仲村渠一男	保健衛生課長	山城英明
企画財政課長	山城保雄	水道課長	又吉敏雄
建設課長	神里稔	税務課長	比嘉・
商工観光課長	盛本實	出納室長	伊良皆真秀
農林水産課長	大田治雄	空港課長	仲地泰
農業委員会事務局長	宮里剛	消防長	幸地猛

平成16年 第4回久米島町議会定例会

議事日程〔第4号〕

平成16年9月27日(月)

午後1時10分開会

日程	議案番号	件名	頁
第1		会議録署名議員の指名	109p
第2		会期の決定	109p
		散会	109p

(午後 3時10分 開議)

○ 議長 仲地宗市

こんにちは。本日の会議を開きます。

ご報告します。5番宮田勇議員、6番上里総功議員、10番上江洲盛元議員から欠席届が出ております。

日程第1 会議録署名議員の指名

○ 議長 仲地宗市

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、17番國吉弘志議員、1番山城宗太郎議員を指名します。

日程第2 会期の決定

○ 議長 仲地宗市

日程第2、会期延長の件を議題にします。

お諮りします。

本定例会の会期は、9月30日までと議決されていますが、台風21号の影響によって10月8日まで8日間延長したいと思います。

ご異議ありませんか。

(多数の「異議なし」の声あり)

○ 議長 仲地宗市

異議なしと認めます。

従って、会期は、10月8日まで8日間延長することに決定しました。

散会します。

(午後 3時20分)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

久米島町議会議長 仲地 宗市

署名議員（議席番号17番） 國吉 弘志

署名議員（議席番号1番） 山城 宗太郎

平成 1 6 年 (2 0 0 4 年)

第 4 回久米島町議会定例会

5 日 目

9 月 3 0 日

平成16年 第4回久米島町議会定例会

会議録 第5号

招集年月日	平成16年9月30日 (木曜日)				
招集の場所	久米島町議会議事堂				
開閉会日時 及び宣言	開会	9月30日 午前10時00分		議長 仲地宗市	
	閉会	9月30日 午後2時27分		議長 仲地宗市	
応招議員 出席議員 出席18名 欠席0名	議席番号	氏名		議席番号	氏名
	1番	山城 宗太郎		10番	上江洲 盛元
	2番	翁長 英夫		11番	内間 久栄
	3番	宮里 洋一		12番	大田 哲也
	4番	仲村 昌慧		13番	真栄平 勝政
	5番	宮田 勇		14番	平良 朝幸
	6番	上里 総功		15番	仲原 健
	7番	崎村 稔		16番	本永 朝辰
	8番	幸地 良雄		17番	國吉 弘志
	9番	平田 勉		18番	仲地 宗市
(不応招) 欠席議員					
会議途中退席議員	番		番		
開議後出席議員	番		番		
公務欠席議員	番		番		
	番				
会議録署名議員	2番	翁長 英夫	3番	宮里 洋一	
職務のため会議に 出席した者	職名	氏名		職名	氏名
	事務局長	仲宗根 秀吉		係長	日高 清有
				書記	上原 あゆみ
地方自治法第121条により説明のため議場に参加した者の職氏名					
職名	氏名		職名	氏名	
町長	高里 久三		教育総務課長	太田 喜功	
助役	長井 聡		生涯学習課長	吉元 幸信	
収入役	松元 徹		文化課長	与座 勇	
教育長	喜久里 幸雄		住民課長	神里 勇	
総務課長	平田 光一		福祉課長	平良 進	
行政改革推進室長	仲村渠 一男		保健衛生課長	山城 英明	
企画財政課長	山城 保雄		水道課長	又吉 敏雄	
建設課長	神里 稔		税務課長	比嘉 眞秀	
商工観光課長	盛本 實		出納室長	伊良皆 眞秀	
農林水産課長	大田 治雄		空港課長	仲地 泰	
農業委員会事務局長	宮里 剛		消防長	幸地 猛	

平成16年 第4回久米島町議会定例会

議事日程〔第5号〕
平成16年9月30日（木）
午前10時00分 開会

日程	議案番号	件名	頁
第1		会議録署名議員の指名	113p
第2	認定第1号	平成15年度久米島町一般会計歳入・歳出決算認定について	113p
第3	認定第2号	平成15年度久米島町国民健康保険特別会計歳入・歳出決算認定について	113p
第4	認定第3号	平成15年度久米島町老人保健特別会計歳入・歳出決算認定について	113p
第5	認定第4号	平成15年度久米島町下水道事業特別会計歳入・歳出決算認定について	113p
第6	認定第5号	平成15年度久米島町農業集落排水事業特別会計歳入・歳出決算認定について	113p
第7	認定第6号	平成15年度久米島町水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	113p
第8	議案第48号	第一次久米島町総合計画（基本構想）について	119p
第9	議案第49号	儀間漁港海岸整備工事請負契約について	124p
第10	議案第50号	兼城農村総合施設建築工事請負契約について	127p
第11	議案第51号	議決内容の一部変更について（町道奥武島1号線1号橋（P4橋脚）工事請負契約）	130p
第12	議案第52号	議決内容の一部変更について（町道奥武島1号線1号橋（A1、P2橋脚）工事請負契約）	131p
第13	議案第53号	平成16年度久米島町一般会計予算（第3号）について	132p
第14	報告第5号	平成15年度株式会社オーランドの経営状況報告について	134p
第15	発議第8号	地域高規格道路・南部東道路の早期実現に関する要請決議	136p
第16	発議第9号	農林水産関係補助金廃止に反対する意見書	137p
		閉会	139p

(午前 10時00分 開議)

○ 議長 仲地宗市

本日の会議を開きます。

日程第1 会議録署名議員の指名

○ 議長 仲地宗市

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、2番翁長英夫議員、3番宮里洋一議員を指名します。

日程第2 認定第1号、平成15年度久米島町一般会計歳入・歳出決算認定について

日程第3 認定第2号、平成15年度久米島町国民健康保険特別会計歳入・歳出決算認定について

日程第4 認定第3号、平成15年度久米島町老人保健特別会計歳入・歳出決算認定について

日程第5 認定第4号、平成15年度久米島町下水道事業特別会計歳入・歳出決算認定について

日程第6 認定第5号、平成15年度久米島町農業集落排水事業特別会計歳入・歳出決算認定について

日程第7 認定第6号、平成15年度久米島町水道事業特別会計歳入・歳出決算認定について

○ 議長 仲地宗市

日程第2、認定第1号、平成15年度久米島町一般会計歳入歳出決算認定から日程第7、認定第6号、平成15年度久米島町水道事業会計歳入・歳出決算認定までを一括議題とします。

本案の審査については、決算審査特別委員会に付託してありましたので、委員長の報告を求めます。

1番山城議員。

○ 1番 山城宗太郎議員

9月24日、9月27日、9月28日の3日間の決算審査特別委員会の結果を報告します。

平成15年度決算審査特別委員会委員長報告。

認定第1号、平成15年度久米島町一般会計特別会計歳入・歳出決算。認定第2号、平成15年度久米島町国民健康保険特別会計歳入・歳出決算。認定第3号、平成15年度久米島町老人保健特別会計歳入・歳出決算。認定第4号、平成15年度久米島町下水道事業特別会計歳入・歳出決算。認定第5号、平成15年度久米島町農業集落排水事業特別会計歳入・歳出決算及び認定第6号、平成15年度久米島町水道事業特別会計歳入・歳出決算の決算審査特別委員会が9月24日、9月27日、9月28日の3日間にわたり審査が行われました。結果を報告いたします。

まず、最初に、一般会計及び特別会計決算の概要を報告します。

平成15年度久米島町一般会計歳入・歳出決算は、歳入においては、94億7千7万5千円で、20億2千503万円の減額で前年度と比較しますと、17.6%の減額となっています。

一方、歳出においても93億6千623万7千円で対前年度20億2千500万3千円、17.8%の減額となっており、歳入・歳出差引額は、1億376万3千円となっています。そのうち、9千7万5千円が繰越明許費となり実質収支額は1千376万3千円となっています。

歳入歳出ともに前年度と比較しますと大幅

な減額となっておりますが、平成14年度の決算額が合併初年度に当たり、13年度決算の打ち切りによる旧村及び一部事務組合の未収未払債務を引き継いだため、その分が決算額に反映したために平成15年度決算の減額要因となっております。

従いまして、久米島町の純決算額は平成15年度からとなります。

次に、認定第2号、平成15年度久米島町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の概要を報告します。歳入総額は、10億8千311万4千91円、歳出総額は10億8千179万4千603円で実質収支は131万9千488円の黒字となっております。歳入の主な概要を申しますと、国民健康保険税1億7千595万6千686円、構成比率16%。国庫支出金が5億8千921万4千666円、構成比率54%。繰入金が2億4千983万4千189円、構成比率23%となっております。

なお、保険税の徴収率は現年度分が89.10%、延滞分が20.73%となっております。一方、歳出の主な概要は、保健給付費が6億2千966万481円、58%。老人保健拠出金が3億2千542万161円、比率が30%。介護納付金が6千206万8千19円。比率が6%となっております。

次に、認定第3号、平成15年度久米島町老人保健特別会計歳入歳出決算の概要を報告します。

歳入額は、11億7千181万7千円、歳出総額が11億7千177万3千円で、実質収支額が4万4千円となっております。

歳入の主な概要を申し上げますと、支払基金交付金が7億5千457万3千円、比率で64.4%。国庫支出金が2億7千47万7千円、比率で23.08%。県支出金が6千792万2千円、比率で5.8%。一般会計繰入金4千522万1千円、比率で3.8

6%。繰越金が3億2千91万円、比率で2.8%。諸収入、71万4千円。比率で0.06%となっております。歳出では、医療費諸費11億7千84万2千円、比率で99.92%。諸支出金が93万1千円、比率で0.08%となっております。

次に、認定第4号、平成15年度久米島町下水道事業特別会計歳入歳出決算の概要を報告します。

歳入総額4億3千678万6千円、対前年度8千36万1千円で15.5%の減額。歳出総額は4億3千601万円で対前年度比15.5%の減額で歳入歳出差引額77万6千円のうち59万9千円が繰越明許費で、実質収支額は17万7千円の剰余金となっております。

歳入の内訳は、国庫支出金38.6%、一般会計繰入金36.3%、町債23.1%となっております。

歳出では、奥武島、泊地区、仲泊地区の管渠布設工事が約3km実施されています。

又、実施測量設計と現場技術管理を業務委託してあります。

次に、認定第5号、平成15年度久米島町農業集落排水事業特別会計決算の概要を報告します。

歳入額が323万9千円で対前年度6千380万7千円で、95.2%の減。歳出総額が321万円で対前年度6千345万2千円で95.2%の大幅な減となっております。農業集落排水事業は、平成13年度で事業が完了しており、平成14年度と平成15年度の決算の開きについては打ち切り決算のため、旧村の債務が14年度に引き継ぎされたことにより大幅な減額となっております。よって、平成15年度の決算はポンプ場の維持管理にかかる経費のみの決算となっております。

次に、認定第6号、平成15年度久米島町水

道事業の概要を報告します。

給水栓数3千638。給水人口9千391人に供給されています。営業状況に関しては、水道事業収益は2億6千346万1千895円で、水道事業費用は、2億5千337万9千112円となっており、1千8万2千783円の経常利益となっています。

それでは、平成15年度久米島町一般会計決算審査の質疑状況についてご報告します。

軍用地料の値上げを目的とした改定契約はできないか。

イーブー帯の借用料は10年以上にわたって同額であるが時代の変化に沿って改定すべきではないか。

未収入が高額であり、年毎の数値目標を設定した対策を立てるべきではないか。

具志川改善センターと仲里改善センターの使用料に違いがあるが、次年度から統一はできないか。

三位一体改革のあおりを受けて職員をはじめ議員の報酬の削減がされたが、総務課、福祉課、建設課の時間外手当が他の課に比べて異常に高くなっているが、対策は考えているか。

住基カード手数料と管理費の関係を比較してみた場合、管理費がかなり高くなっている感じがする。今後のことを考慮してみた場合、切ることはできないか。

久米島中学校グラウンド整備の中で植栽木が枯死しているが植え替えする計画があるか、その対策はどうなっているか。又、潮害もあり、植樹する樹種の検討をすべきではないか。

学校給食費も以前から高額の滞納があり、請求書の発送だけで効果があるのか。その徴収方法はどうなっているか。

大岳小学校の旧プール内に建設廃材が積ま

れているがどのように処理するか。

旧村不燃物処理場について住民が非常に心配しているのは、水質汚染であるが、その影響はないか、又、汚染調査は今後長期にわたって継続すべきではないか。

あけぼの共同作業場への補助について、沖縄県は全国で最低の補助率であり、去年、補助金要請決議はされているが、その後どのような対策をとったか。

財政ひっ迫の中で事業導入はしないという風潮があり、大変懸念しているが、建設課としてどう考えているか。

仲泊8号線に係る物件補償交渉が地権者と協議されていないが、早急に協議をすべきである。

繰越額があまりにも多いのではないか。

土地改良区運営補助金の配分はどうなっているか。

保育料の滞納額が多額になっているが卒所後も、徴収の対策はとっているか。又、その効果はどうか。

保育所運営費の不用額が多額になっているがその理由について。

東京久米島直行便対策について。

真泊港ターミナル使用料の未収金について。又、高速艇の運航廃止に伴って同ターミナルの今後の計画はどうなっているか。

奥武島にある浦島亭が閉鎖されており、その理由は何か。

三位一体改革のあおりを受け、財政ひっ迫の状況にあり、職員のできる作業は実施して、賃金の節減を図るべきではないか。

女性消防クラブは実際にどのような活動をしているか。

続きまして、特別会計決算審査の質疑状況

についてご報告いたします。

国民健康保険税の徴収率の低さによるペナルティーが課され、2千万円も減額にされていることは、財政運営に支障を来すのではないかと懸念しています。今後の対策はどのように考えているか。

保険税の未納者に対する保険手帳の交付はどのように対応しているか。又、未納者が病院でどうしているか。

下水道の接続率が非常に悪く、ここ数年来、接続率の向上対策について言われ続けたことである。町広報誌の利用やチラシを配布することも良いことではあるが、せっかく組織された下水道事業推進委員会が直接各戸を訪問して説明をして接続率を上げるべきではないか。

接続の向上を図るため特例を設けたということであるが、住民はどの程度知っているか。又、接続推進委員会と指定店の連携はどのようになっているか。

一般会計から水道事業への繰り入れがあり、一般会計を圧迫しないような対策を課としてどのように考えているか。

以上、一般会計、特別会計及び質疑の概要を申し述べましたが、採決の結果、認定第1号から認定第6号は、原案のとおり認定すべきものと決定しました。

これで委員長報告を終わります。

○ 議長 仲地宗市

以上で委員長の報告は終わります。

お諮りします。

委員長報告に対する質疑を省略したいと思います。ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 議長 仲地宗市

異議なしと認めます。

従って、委員長報告に対する質疑を省略することに決定しました。

これから討論を行います。

認定第1号、平成15年度久米島町一般会計歳入歳出決算について討論を行います。

まず、原案に反対者の発言を許します。

○ 議長 仲地宗市

次に、原案に賛成者の発言を許します。

崎村議員。

○ 7番 崎村稔議員

私は今回のこの決算書に対して賛成いたします。今回の政府の三位一体という改悪によって、すごい厳しい財政難の折、決算書を見ましたら、健全かつ賢明な予算措置が全般的に平均的に行われていると感じました。よって、これからも行政のスリム化、そして予算の効率的な運用をお願いし、住民のますますのサービスを要望いたします。

そして、今回の今年の課長人事を見ますと、紅一点、女性が一人もおりません。女性の採用も住民サービスの一環となりますので、次年度はぜひ女性登用もお願いして賛成討論とします。

○ 議長 仲地宗市

次、ありませんか。

討論なしと認めます。

○ 議長 仲地宗市

これから認定第1号、平成15年度久米島町一般会計歳入歳出決算認定について採決します。

本案に対する委員長の報告は原案の認定です。本案は委員長の報告のとおり認定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手多数)

○ 議長 仲地宗市

挙手多数です。従って、本案は、原案のとおり決定しました。

休憩します。(午前 10時27分)

○ 議長 仲地宗市

再開します。(午前 10時28分)

日程第3、認定第2号、平成15年度久米島町国民健康保険特別会計歳入歳出決算について討論を行います。

まず、原案に反対者の発言を許します。

○ 議長 仲地宗市

次に、原案に賛成者の発言を許します。

宮田勇議員。

○ 5番 宮田勇議員

本案に賛成します。15年度の決算においての交付金の削減は、14年度実績に基づいての削減であるという結果が出ています。そして、15年度の決算においては、来年徴収率も0.6%上がったということで、その分、多めにこの決算と別に交付金は余計に入ってくるという課の説明がありますので、その努力が見られているということで、本案に賛成します。以上です。

○ 議長 仲地宗市

これで討論を終わります。

これから認定第2号、平成15年度久米島町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について採決します。

本案に対する委員長の報告は原案認定です。本案は、委員長の報告のとおり認定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手多数)

○ 議長 仲地宗市

挙手多数です。従って、本案は、原案のとおり決定しました。

○ 議長 仲地宗市

日程第4、認定第3号、平成15年度久米島町久米島老人保健特別会計歳入歳出決算認定について討論を行います。

まず、原案に反対者の発言を許します。

○ 議長 仲地宗市

次に、原案に賛成者の発言を許します。

○ 議長 仲地宗市

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

○ 議長 仲地宗市

これから認定第3号、平成15年度久米島町老人保健特別会計歳入歳出決算認定について採決します。

本案に対する委員長の報告は原案認定です。委員長の報告のとおり認定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手多数)

○ 議長 仲地宗市

挙手多数です。従って、本案は、原案のとおり決定しました。

○ 議長 仲地宗市

日程第5、認定第4号、平成15年度久米島町下水道事業特別会計歳入歳出決算について討論を行います。

まず、原案に反対者の発言を許します。

○ 議長 仲地宗市

次に、原案に賛成者の発言を許します。

○ 議長 仲地宗市

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

○ 議長 仲地宗市

これから認定第4号、平成15年度久米島町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について採決します。

本案に対する委員長の報告は原案認定です。本案は、委員長の報告のとおり認定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手多数)

○ 議長 仲地宗市

挙手多数です。従って、本案は原案のとおり決定しました。

○ 議長 仲地宗市

日程第6、認定第5号、平成15年度久米島町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について討論を行います。

まず、原案に反対者の発言を許します。

○ 議長 仲地宗市

次に、原案に賛成者の発言を許します。

○ 議長 仲地宗市

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

○ 議長 仲地宗市

これから、認定第5号、平成15年度久米島町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について採決します。

本案に対する委員長の報告は原案認定です。本案は、委員長の報告のとおり認定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手多数)

○ 議長 仲地宗市

挙手多数です。従って、本案は、原案のとおり決定しました。

○ 議長 仲地宗市

日程第7、認定第6号、平成15年度久米島町水道事業会計歳入歳出決算について討論を行います。

まず、原案に反対者の発言を許します。

○ 議長 仲地宗市

次に、原案に賛成者の発言を許します。

5番宮田勇議員。

○ 5番 宮田勇議員

本案に賛成します。

この企業会計であります。提案理由の町長の説明にもあったとおり、これまで私も十数年、議会の中で審議しておりましたが、ずっと赤字会計決算でありました。よって単年度15年度については108万2千円という経常利益が出ています。そのために累積赤字が108万も減っております。企業努力されたものと十分認めております。しかしまだ、決算審査委員会の中で繰り入れ、一般会計の持ち出しもまだまだ多いので、その削減に向けても努力するようにとの指摘もありましたので、十分そのへんも勘案し、努力されるよう、料金改定の面もありましたので、やっぱり企業会計でありますので、財政に負担のないように十分に努力してほしいものとして要求し、本案に賛成します。

○ 議長 仲地宗市

休憩します。(午前 10時35分)

○ 議長 仲地宗市

再開します。(午前 10時35分)

これで討論を終わります。

○ 議長 仲地宗市

これから認定第6号、平成15年度久米島町水道事業会計歳入歳出決算認定について採決します。

本案に対する委員長の報告は原案認定です。本案は、委員長の報告のとおり認定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手多数)

○ 議長 仲地宗市

挙手多数です。従って、本案は、原案のとおり決定しました。

日程第8 第一次久米島町総合計画（基本構想）について

○ 議長 仲地宗市

日程第8、議案第48号、第一次久米島町総合計画（基本構想）について、本案の提案理由の説明を求めます。

長井聰助役。

（長井聰助役登壇）

○ 助役 長井聰

議案第48号、第一次久米島町総合計画（基本構想）について、ご説明申し上げます。

基本構想は、計画的な行政運営の長期的な基本方針として定める構想であります。合併して誕生いたしました久米島町の最初となります第一次久米島町総合計画基本構想は2013年平成25年を目標年次として目指すべき将来像を豊麗の島久米島とし、その実現ためのしまづくりに関する基本方針、基本条件、政策の目標及び推進姿勢を定めております。

総合計画の策定に当たりましては、「町民が主役」を基本に据え、計画策定に向け、平成14年8月に検討組織であります町おこしプロジェクト委員会を設置し、ご提言をいただいております。

また、町民アンケート調査や各団体からのヒヤリング等を行い、町民の皆様との意見交換会等を開催し、町民皆様の声を反映することに務め、計画原案をまとめました。

その後、久米島町振興計画審議会に諮問し、審議をお願いいたしまして、平成16年3月30日に答申をいただいております。

基本構想では、島の持つ多様な資源を掘り起こし、一人ひとりの個性が輝き、夢見る力を育む、豊麗の島久米島を将来像とし、先人が築いた豊かな伝統を受け継ぎ、恵まれた自

然環境を次代の子供たちに伝え、平和を希求する心を育て、新しい久米島をつくり出していくことを基本としております。

この将来像の実現に向けての目標として、「ホテル飛び交う麗しのしま」、「活みなぎる創業のしま」、「安らぎに満ちた健やかなしま」、「薫り立つ文化を創るしま」、「個性輝き夢追う人を育むしま」、この5つを掲げ、施策の展開方針及び推進を定めてあります。以上、基本構想の概略を申し述べましたが、久米島町における総合かつ計画的な行政の運営を図るため、基本構想を定めるに当たり、地方自治法第2条、第4項の規定により、議会の議決を求めるものでございます。ご審議よろしくお願ひします。

（長井聰助役降壇）

○ 議長 仲地宗市

これで、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

休憩します。（午前 10時40分）

○ 議長 仲地宗市

再開します。（午前 10時46分）

これから質疑を行います。

6番上里総功議員。

○ 6番 上里総功議員

合併のときの町建設計画との整合性はどのようになっていくのか。この骨子を見ると非常に観光産業に重きをおいているような感じがするわけなんですね。第一次産業の状況を見ますと26.7%、第三次産業が53.4%ということですが、私たち離島の基本的な構造というのは、第一次産業だと思っんですよ、そここのところはどう今後ですね、環境問題とか、特に赤土ですよ、そういう面がちよっとしか入ってないと、そこに本当は重きをおいて、

その後いろいろなのが広がっていくと思うんですが、そういうのがあまり見えてこないですよ。そのところほどのように考えているのか。

○ 議長 仲地宗市

山城保雄企画財政課長。

○ 企画財政課長 山城保雄

説明いたします。新町建設計画との整合性については、この総合計画の中に新町建設計画のものを全部網羅していくということで、構想の中には入っております。

それから、産業の面なんですけれども観光業も主要経済として非常に大きなウエイトを占めていると思いますし、町としても重要な産業の位置付けであります。一次産業についてもこの中に、農業でも、生活が立つようなということでの表現で、重要なかたちで盛り込んでおります。やっぱり自然環境を大事にして、そういう第1産業を発展させていかないといけないということで、その施策をどういうふうに展開していくかということが課題だと思われまますので、その辺、力を入れていきたいと考えます。

○ 議長 仲地宗市

6番上里総功議員。

○ 6番 上里総功議員

入れているということではありますが、確かに久米島町においては、サトウキビが主で、今までずっとぜんぜん変わり映えしないと、そうであれば、付加価値のある農作物が必ずあるわけなんですよね。そのところに目をもっていけないと、確かに、高齢化で衰退しているのは、どこも一緒だと思うんですが、そういう付加価値の高いのを必ずありますので、そのところを入れるべきだと思うんで

すが、ぜひ、そのところをご検討してもらうことを期待して質疑を終わります。

○ 議長 仲地宗市

山城保雄企画財政課長。

○ 企画財政課長 山城保雄

ただいま議員から指摘がありましたものも盛り込まれております。いろんな、イモゾウムシとかの根絶もありますので、そういうものも念頭においたサトウキビ一辺倒じゃなくて、いろんな付加価値のある作物、加工品とか、そのような展開についても触れられております。

○ 議長 仲地宗市

他に質疑ありませんか。

10番上江洲盛元議員。

○ 10番 上江洲盛元議員

基本構想案について提案されていますが、町のうるおいのある集落環境、商業・サービスの振興、快適な住環境の創出というところの項目の中に、イーフ地域のことや仲泊地域のことが取り上げられています。

それで、4の施策の展開方針の中の（イ）26ページです。「うるおいのある集落環境をつくる」のところの下、「又、近年新たな生活拠点となりつつある、イーフ地区や振興のものにするという仲泊地区等においては、市街地の機能を充実させ、利便性の向上を目指します」と。

次に27ページの下から上の（4）「商業・サービスの振興、商業については、地域住民の物質的ニーズに安定的かつ効率的に対応できるよう、経営効率化の促進を図る一方で、イーフ地区や仲泊の商業集積地区においては、地域住民や観光客にとって利便性の高い商店街の形成を促進します。」

それから関連して、29ページの真ん中の(5)「快適な住環境の創出、景観や植栽など落ち着いたたたずまいの集落内の住環境を保ち、島の豊かさをだす空間として整備しています。イーフ地区や仲泊等の新しい住宅地域においても地域の界索性や、人々のつながりなどコミュニティー的な環境をつくりつつ、快適な住環境の創出を図ります。」

このことについて、学習会の時に、担当が読み上げているところですが、検討してみますと、イーフと仲泊が、だいぶたわれています。

それで、質問ですが、この検討委員会の中では出ているかどうかお聞きしたいんですが、私、こだわっていることがありますね、一般質問にも出しました。今、道路も大きくして、そこが今後、どうも素晴らしい開発ができそうであると、あれ、全部整備した場合には、例えば、ねは商店がありますでしょう。山城スーパーがあります。J A コープがあります。文房具店があります。食堂があります。薬局があります。その他、全体的に活気のある道路になりそうだなという気配があるんですよ。そこいらについて、何かここいらに入れておく必要があるんじゃないかということ提起したいと思います。いかがですか。

○ 議長 仲地宗市

山城保雄企画財政課長。

○ 企画財政課長 山城保雄

道路の形状とか、住んでいる人たちの地域の環境、そのへんの整合性とか、そういうものを強調しているつもりなんですけれども、各地区、特にイーフと、仲泊商店街については、まとまった形を形成していますので、それと仲泊商店街については、地域からも再開

発の問題とか、道の拡張の問題があって、そこをぜひ盛り込むべきだという、新町建設計画のからみもあって、そういう強調している部分もあるんですけども、この道路の拡張及び地域の住環境との整合性を今後検討していく中では、今、提案あった部分も検討する必要はあるんじゃないかと考えます。今、名称として盛り込んでいないんですけども、その検討をする余地があると思います。

○ 議長 仲地宗市

10番上江洲盛元議員。

○ 10番 上江洲盛元議員

だいぶ発展する街になるんじゃないかと予想していますので、基本計画の中にも検討されて、入れることを要望して終わります。

○ 議長 仲地宗市

山城保雄企画財政課長。

○ 企画財政課長 山城保雄

構想には取り入れてないんですけども、基本計画の段階で検討していきたいと思います。

○ 議長 仲地宗市

9番平田勉議員。

○ 9番 平田勉議員

2点ほどお願いします。この構想の中で住民との協働とか、そういうかたちで住民参加型の行政というのを目指しているなということが感じられます。これは大変いいことだなと思って、それは是非やってほしいという気持ちはあるんですけども、これは最後の方で、この表現の部分が大変気になるのは、今まで住民参加というものが、殆どなかったという行政運営の現状を踏まえて、こういう協働というものが出てきたと思うんですけども、この構想の中では、住民もこれまでのよ

うに行政まかせでは、島は発展しないという
ような表現があるんですね。ということは、
今まで政策立案から実施も含めて、この表現
からすると住民が参加をするいろいろ係われ
る状況があったにもかかわらず住民は行政任
せにしたいというふうな捉え方もできるん
ですね。果たして実態は、そうだったのかど
うか。実際は、上意下達で上で決まったこと
を、「はい、こう決まりましたやって下さい」
というかたちの実態はなかったのかどうか。
この表現からするとそうじゃなくて住民はあ
まりにも行政任せですよというふうな感じの
指摘をしている。こういう感じがするんです
ね。このへんどう理解したらいいのか、上意
下達で押しつけて、言葉は悪いんですけど
も、そういう部分と、あまりにも住民が無関
心で、行政に全部ゲタを預けたという2つの
理解ができるんですけども、私は後者の感
じで、これを書いているのかなと思っている
んですけども、これが1点目です。

2点目に、先ほども整合性の問題が出まし
た。新町建設計画の整合性という表現はある
んですけども、答弁の中では、その部分は
新町建設計画を、これに網羅していくという
話があったんですけども、今、進めている
新町建設計画、あるいはこれに基づいた基本
計画が策定されると思うんですけども、そ
れを踏まえて、今進めている行財政改革です
ね、これとの整合性はどうなるのか、例えば、
基本計画をつくりました。ここでいう、毎年
ローリングという、とした時に、行財政改革
で議論される分は、社会状況の変化というこ
とで毎年毎年のローリングの中で反映をされ
ていくのか、このへんの行財政改革との関連
が、どうもはっきりしないという感じがする

んですけども、そこの説明をお願いします。

○ 議長 仲地宗市

山城保雄企画財政課長。

○ 企画財政課長 山城保雄

住民参画ということは、これまでは国から
のいろんな補助金とか決定される段階におい
ても、ある程度決まってきて、各市町村に下
りてくるというふうなかたちで、国の政策上
もそういうかたちになっていて、これからは、
国も財政が厳しい中で、国民、住民と一体と
なって、いろんなことを進めないといけない
という国全体の流れの中で、これを住民参画
でやらないといけないというふうな考えで
す。

ですから、これまでそういうかたちでやっ
てないということではなくて、これまでもで
きるだけ、そういうかたちでやろうというこ
とでやってきているんですけども、これか
らは、今まで以上に住民参画のもとに行政を
進めていくということでの、住民参加のもと
で事業を進めるというかたちで、あえて盛り
込んでおります。

それから、新町建設計画で盛り込まれた事
業なんですけれども、その当時は、旧具志川、
仲里であった計画を精査しないままに、ほと
んど盛り込むというかたちでやってきており
まして、事業費においても相当の膨らんだか
たちで新町建設計画では盛り込んでおりま
す。それは、新町建設計画に全部盛り込んで
おかないと他の事業の展開も難しいだろうと
いう考え方もありまして、そういうふうによ
ってきたんですけども、三位一体の改革で
非常に財政的に厳しい状況がありますので、
その後は、その財政状況に応じて、実施計画
では、3年のローテーションで事業組んでい

くんですけれども、その中で財政事情において、その財政状況で厳しいものは年度を後ろの方にもっていくとかというかたちでローリングをかけていかないとやっていけませんので、そういうかたちで、新町建設計画があった事業にしても、その年度内にできないものは後年度に持っていかざるを得ない状況にありますので、そのへんは当時と、ぜんぜん事情も変わってきておりますので、これからの財政事情を見ながら、ローリングすべきもの、それから緊急にやるべきもの、そういうかたちで分けて、財政状況に応じて、実施計画を立てていくというかたちになると思います。

○ 議長 仲地宗市

仲村渠一男行政改革推進室長。

○ 行政改革推進室長 仲村渠一男

2点目の行政改革と久米島町総合計画との係わりについてお答えいたします。行財政の改革につきましても最終的には、久米島町総合計画の実現を目指して行われるものであります。この財政状況の急激な変化によりまして、これまでの行政の進め方においては、やはり久米島町総合計画の実現が非常に難しいということで、今、行政改革をしなければならぬということでスタートしているわけです。特に、行政改革を進めていく中においても、この協働の町づくりということを、この行政改革の中でも打ち出しております。そのためには、まず、これまで行政任せという表現のご指摘もございましたが、住民も行政の中身に関して関心が、それほど高くなかったということもあると思います。それはなぜかということ、逆に行政が情報を住民に十分に開示してこなかったということも一因があるかと思われまますので、やはりこれからの行政改

革の進める過程においては、できるだけ町民に情報を積極的に提供して、共にこれからの町づくりを考えていくというような手段が大変重要になってくるかと思えます。

○ 議長 仲地宗市

9番平田勉議員。

○ 9番 平田勉議員

行革推進室長の答弁の最後の部分に出ていた分、実は、ここを言いたかったんですけれどもね、勉強会の時にも情報の提供、情報の公開という話をしたんですけれども、さっきの最初触れた部分ですね、住民の行政任せという話、ここも果たして従来は、情報は公開されていたのかどうか、情報の公開というよりも、説明責任が果たされていたのかどうかなんです。この表現を見ると住民に責任を転嫁しているんじゃないかなという気がするんですよ。そういうのをやってきたけれども、住民は無関心で行政に任せっきりでしたと、こういう理解をするのか、この表現を。僕はここが気になっているわけです。

ですから、今後の行政運営は、この構想の中でも言っているように、住民参加、みんなで作りに上げていく、協働でやる。そのためには情報の公開、説明責任というものが問われてくる。一番大事なのは、この説明責任じゃないかなと思うんですね。これを踏まえて、みんなで知恵を出しあって、みんなが町づくりをしていきたいと思いますやという、こういう住民への問いかけ、投げ方というのが基本だと思うんですね。情報公開の部分は、表現の部分はちょっと工夫しますということで、この間勉強会でもあったんですけれども、そこらへん含めて説明責任の問題、行政任せという表現とか、ここらへんの表現の工夫もぜひし

てほしいなという気がします。

○ 議長 仲地宗市

山城保雄企画財政課長。

○ 企画財政課長 山城保雄

32ページの部分になると思うんですけども、その中で指摘された部分、再度、この情報公開の部分も、どうかたちで盛り込むかということはできないんですけども、再度、その部分は盛り込めるようなかたちで検討したいと思います。

○ 議長 仲地宗市

他に質疑ありませんか。

○ 議長 仲地宗市

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

まず、原案に反対者の発言を許します。

○ 議長 仲地宗市

次に、原案に賛成者の発言を許します。

5番宮田勇議員。

○ 5番 宮田勇議員

総合計画基本構想、これは久米島町の将来像を描くためには、やっぱりこういった計画を立てないと、これから補助メニューの基にもなるわけですね。計画があつてはじめて補助事業も導入できるということでもありますので、大変、重要であります。又、それと同時に先程から指摘があります、政治というのは住民が主人公であります。上からの押しつけの政治でないようにしっかりと、住民の声を反映させながら住民サービスをし、そしてしっかりと行政が運営されるように、これは構想ですから、これに基づいてしっかりと着実に実施されていくことを強く要望して賛成します。

○ 議長 仲地宗市

これで討論を終わります。

これから、議案第48号、第一次久米島町総合計画（基本構想）を採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（挙手多数）

○ 議長 仲地宗市

挙手多数です。従って、議案第48号、第一次久米島町総合計画（基本構想）については、原案のとおり可決されました。

○ 議長 仲地宗市

休憩します。（午前 11時10分）

○ 議長 仲地宗市

再開します。（午前 11時21分）

日程第9 儀間漁港海岸整備工事請負契約について

○ 議長 仲地宗市

日程第9、議案第49号、儀間漁港海岸整備工事請負契約について。本案の提案理由の説明を求めます。

長井聰助役。

（長井聰助役登壇）

○ 助役 長井聰

議案第49号、儀間漁港海岸整備工事請負契約の締結についてご説明申し上げます。

本工事は、儀間漁港東側の海浜を高潮浸食等の被害から守るための環境整備をするものであります。全体計画といたしましての工種と計画数量であります。護岸工、これは傾斜型になります。215m。離岸堤工、120m、養浜工210m。突堤、100m。防潮林の植栽、215mの工事を平成15年度から平成19年度を事業計画年度として整備を行ってまいります。

この内、平成15年度では、測量設計一式とブロック製作を実施しております。本年度は添付資料として、3枚目に掲げられてありますように、護岸工、84mの工事を実施します。工期は150日を予定しています。事業費の負担割合であります。国が90%、町が10%の割合となっております。なお、町負担分につきましては、一般公共事業債を充当する予定でございます。

契約事項は次のとおりであります。

1. 契約の目的 儀間漁港海岸整備工事
2. 契約の方法 指名競争入札
3. 契約金額 5千460万円
4. 契約の相手方

住所 沖縄県島尻郡久米島町字真我里78番地

商号 株式会社 山三組

代表者氏名 代表取締役 山城篤三

以上が、議案第49号、儀間漁港海岸整備請負契約の締結についての説明であります。久米島町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得、又は処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

ご審議よろしくお願いいたします。

(長井聡助役降壇)

○ 議長 仲地宗市

これで提案理由の説明を終わりました。

これから質疑を行います。

6番上里総功議員。

○ 6番 上里総功議員

質問します。この工事は海岸工事ということですが、階段式の護岸なのか、それとも他の方法なのかですね。

それと、現在ある護岸がありますが、その

後ろ側を見たら排水が流れているわけなんです。そこはどのようになるのかお願いします。

○ 議長 仲地宗市

神里稔建設課長。

○ 建設課長 神里稔

お答えいたします。まず、基本的には、断面につきましては傾斜式になります。傾斜式の護岸を10mやって、その間に穴あきのブロックで階段を設けまして、その中に植栽、シダとかを植栽するというので、10mの工法でやっていく予定でございます。

それから、排水につきましては、旧護岸が今の工事で埋め殺しみたいになるものですから、これについてはそれに代わる排水処理をやっていきたいと考えております。

○ 議長 仲地宗市

6番上里総功議員。

○ 6番 上里総功議員

漁港関連道路との関係もありますが、現在は排水は海の方には向けられていないわけですよ。それで、植栽もやるということですが、植栽について、前やったところの植栽が全然防風林として役立っていないような感じがするわけなんです。そのところの植栽については、ぜひまた検討をお願いしたいんですが。

○ 議長 仲地宗市

神里稔建設課長。

○ 建設課長 神里稔

植栽につきましては、背後の旧護岸がございます。それから約前面に5mぐらい、それから後ろの方に15mぐらいの土地がありますので、全体的に、その間については植栽してまいりたいと思います。樹種については、台風

に強いような、地元の方と相談しながらやっていきたいと考えております。

○ 議長 仲地宗市

休憩します。(午前 11時28分)

○ 議長 仲地宗市

再開します。(午前 11時29分)

○ 議長 仲地宗市

他に質疑ありませんか。

7 番 崎村稔議員。

○ 7 番 崎村稔議員

この入札に参加した業者の氏名をお願いします。

○ 議長 仲地宗市

神里稔建設課長。

○ 議長 仲地宗市

休憩します。(午前 11時30分)

○ 議長 仲地宗市

再開します。(午前 11時30分)

○ 議長 仲地宗市

神里稔建設課長。

○ 建設課長 神里稔

ただいまの業者の件ですが、読み上げたいと思います。敬称を略したいと思います。有限会社大昂建設、譜久里建設株式会社、有限会社高良建設、株式会社宮城組、株式会社丸吉組、株式会社山三組、久米建設株式会社、有限会社大田土木、国洋建設株式会社。

○ 議長 仲地宗市

7 番 崎村稔議員。

○ 7 番 崎村稔議員

これも分離分割できなかったか聞きたいですけれども。というのはですね、私の知っている業者でも、従業員の給料を2、3カ月も払えない業者が結構いて、理由を聞いてみますと、仕事がないというのがほとんどの理由

ですけれども、今後は、これは5千万円以上ですけれども、ぜひ分離分割して、そういう業者を助けるようなやり方はできないものか、審査委員長の助役の方よろしく申し上げます。

○ 議長 仲地宗市

長井聰助役。

○ 助役 長井聰

ただいま分離発注の件でございますが、方針としては常に、そういったことでやっておりました。ただ、そういったかたちでできる事業と難しい事業がありますので、今回は分離発注はちょっと無理な状況でございます。そして、加えて申し上げますと、町内にはリンク付けで会社がございます。そういったことで、特A、A、B、C、Dという区分がされておりますが、その区分毎の町の発注事業を見た場合につきましても、いろいろバラツキがありまして、そういった方面も勘案してこれから発注してまいりたいと思います。

○ 議長 仲地宗市

他に質疑ございませんか。

質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

まず、原案に反対者の発言を許します。

○ 議長 仲地宗市

次に、原案に賛成者の発言を許します。

6 番 上里総功議員。

○ 6 番 上里総功議員

この地域は漁港ができたために人工ビーチ的な砂浜がなくなりまして、地域としては非常に不便さを感じていたんですが、今回平成15年度から19年度までに人工ビーチということでできる計画ということでありますので、

この案に賛成であります。

○ 議長 仲地宗市

これで討論を終わります。

これから議案第49号、儀間漁港海岸整備工事請負契約についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手多数)

○ 議長 仲地宗市

挙手多数です。従って、議案第49号、儀間漁港海岸整備工事請負契約については、原案のとおり可決されました。

日程第10 兼城農村総合施設建築工事請負契約について

○ 議長 仲地宗市

日程第10、議案第50号、兼城農村総合施設建築工事請負契約について。

本案の提案理由の説明を求めます。

長井聰助役。

(長井聰助役登壇)

○ 助役 長井聰

議案第50号、兼城農村総合施設建築工事請負契約についてご説明申し上げます。

本工事は農業生産基盤の整備及びこれと関連をもつ農村生活環境の整備を総合的に実施することを事業趣旨としまして、集落地域整備統合補助事業という事業がありますが、この事業を導入いたしまして、老朽化しております字兼城の公民館を整備しようとするものであります。

工事概要であります。皆様にお配りしてあります平面図をご覧ください。

面積は約200㎡でございます。室内の概要であります。会議室、研修室、調理室、そ

して更衣室等、更には便所の区分となっております。それに電気工事一式、機械設備一式となっております。工期は180日を予定しております。

次に、事業の負担割合であります。国が75%、県が15%、受益者であります字兼城が10%の負担割合となっております。

契約事項は次のとおりであります。

1. 契約の目的 兼城農村総合施設建築工事
2. 契約の方法 指名競争入札
3. 契約金額 5千250万円
4. 契約の相手方

住所 沖縄県那覇市字安謝620番地の173

称号 (株) 譜久里組

氏名 代表取締役 譜久里栄孝

以上が議案第50号、兼城農村総合施設建築工事請負契約の締結についての説明であります。久米島町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得、又は処分に関する条例第2条の規定により議会の議決を求めるものであります。

ご審議よろしくお願いいたします。

(長井聰助役降壇)

○ 議長 仲地宗市

これで提案理由の説明を終わりました。

これから質疑を行います。

11番内間久栄議員。

○ 11番 内間久栄議員

議案50号、兼城農村総合施設建設工事請負契約について質問いたします。この建物の面積をよろしければ教えていただきたいと思っております。

それから、この兼城部落の他に、これは関係あるのかわからないんですけども、他の部落にこの施設をつくりたいというあれがあ

ったのかどうか、そのへんご説明をお願いします。

○ 議長 仲地宗市

神里稔建設課長。

○ 建設課長 神里稔

面積につきましては200㎡です。他からの希望があるかということでございますが、あとで補正で出てくるとは思いますけれども、宇宇江城の方から同じような施設の要望が出ております。

○ 議長 仲地宗市

他に質疑ございませんか。

7番崎村稔議員。

○ 7番 崎村稔議員

これも入札業者の氏名をお願いします。特にランクも言ってください。

○ 議長 仲地宗市

神里稔建設課長。

○ 建設課長 神里稔

今、資料を持ち合わせておりませんが、まず、対象が建築のA対象でございます。ところが久米島にA業者が1社しかないということで、その上のランク特Aを指名してございます。

すみません、先ほど持っていないと言いましたが、一応ありましたので報告したいと思います。

株式会社富士建設、株式会社譜久里組、金秀建設株式会社、株式会社山三組、株式会社吉永組、久米建設株式会社、有限会社大田土木、株式会社儀間建設、有限会社富盛建設。以上でございます。

○ 議長 仲地宗市

7番崎村稔議員。

○ 7番 崎村稔議員

全部Aですか。

○ 議長 仲地宗市

神里稔建設課長。

○ 建設課長 神里稔

ちょっと訂正いたしたいと思います。先ほど対象はAでございますが、Aが1社しかないということで、下の方の建築のBクラス、Aクラス、それから特A指名してございます。

○ 議長 仲地宗市

7番崎村稔議員。

○ 7番 崎村稔議員

これもさっきと同じですけれども、技術的にはもっと下のクラスもできるような仕事ですので、これをなんで分割しなかったかという質問になりますけれども、先ほどと同じような答弁だと思いますが、そのところを努力して、本当に住民のことを考えたら、もっと勉強して一生懸命、分離分割する努力をするべきだと思うんですよ。そうじゃないと、助役、三役は要らないという意見が本当にもっともっと強くなってきますよ。その件どう思いますか、反論がありましたらお願いします。あったらどうぞ。

○ 議長 仲地宗市

休憩します。(午前 11時43分)

○ 議長 仲地宗市

再開します。(午前 11時43分)

○ 議長 仲地宗市

神里稔建設課長。

○ 建設課長 神里稔

ランクについてお答えいたします。これは町の指名審査委員会の中で指名審査基準がございまして、いくらからいくらまではAクラス、いくらからいくらまではBクラスという、その基準に基づいて、指名委員会の中で審査

した上での決定でございます。

○ 議長 仲地宗市

休憩します。(午前 11時43分)

○ 議長 仲地宗市

再開します。(午前 11時51分)

○ 議長 仲地宗市

高里久三町長。

○ 町長 高里久三

先ほども助役が答弁したように、条例、規則等に従って実施したと。出来るだけ公平に皆さんに渡るようなことを考えて、そのようにやっていきたいと思えます。

○ 議長 仲地宗市

崎村議員、先ほどからずっと言っているように、これでもう打ち切りたいんですけども。

○ 7番 崎村稔議員

もう1回だけお願いします。

○ 議長 仲地宗市

他の質問をこれから受けていきたいと思えます。

○ 議長 仲地宗市

休憩します。(午前 11時52分)

○ 議長 仲地宗市

再開します。(午前 11時53分)

○ 議長 仲地宗市

崎村議員の質問は、これで3回になりましたけれども、会議規則55条但し書きによって発言を許します。

7番崎村稔議員。

○ 7番 崎村稔議員

条例を変えてまでは分離分割しないということですか。再度、質問します。

○ 議長 仲地宗市

長井聰助役。

○ 助役 長井聰

先程来、申し上げているとおり、工事等発注する場合につきましては、そのような分離発注も勘案した上で発注しております。そして、投資的部分につきましては、町の経済投資効果も即効性がありますので、そのへんも含めまして、全体的なバランスを考えてやっているつもりであります。ですから、現在のところはどのような不備があるのかということの検証もしないといけません。私たちやっているものにつきましては、現在、県とも整合性をもったかたちで規則をつくり、それに基づいてやっております。今後ともそういったかたちでやってまいりたいと思っております。

○ 議長 仲地宗市

11番内間久栄議員。

○ 11番 内間久栄議員

もう1件だけ質問したいんですけども、今回の契約にあたって、地元の業者を優先してもらいたいという業者からの要望があるかと思えますけど、そのへんはどのようにお考えになって、この契約の相手方は那覇市に住んでいらっしゃるんですけど、今回それを指名して、こういう結果になったのかお聞きしたいと思えます。

○ 議長 仲地宗市

神里稔建設課長。

○ 建設課長 神里稔

お答えいたします。先ほど申しましたように、特Aでは1社ということです。それから、建設工事等の請負の指名審査基準の中で、代表者もしくは代表者が久米島出身、あるいは久米島に営業所があれば指名することができるという条文がありますので、それを適用し

てございます。

(「進行」の声あり)

○ 議長 仲地宗市

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

まず、原案に反対者の発言を許します。

○ 議長 仲地宗市

次に、原案に賛成者の発言を許します。

○ 議長 仲地宗市

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから議案第50号、兼城農村総合施設建築工事請負契約についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手多数)

○ 議長 仲地宗市

挙手多数です。従って、議案第50号、兼城農村総合施設建築工事請負契約については、原案のとおり可決されました。

○ 議長 仲地宗市

休憩します。(午前 11時57分)

○ 議長 仲地宗市

午前に引き続き会議を開きます。

(午後 1時37分)

**日程第11 議決内容の一部変更について
(町道奥武島1号線1号橋(P
4橋脚)工事請負契約)**

○ 議長 仲地宗市

日程第11、議案第51号、議決内容の一部変更について(町道奥武島1号線1号橋(P4橋脚)工事請負契約)

本案の提案理由の説明を求めます。

長井聰助役。

(長井聰助役登壇)

○ 助役 長井聰

議案第51号、議決内容の一部変更についてご説明申し上げます。

平成16年第1回久米島町議会定例会で、議案第34号として議決を賜りました町道奥武島1号線1号橋(P4橋脚)工事請負契約に係る議決内容、契約金額4千987万5千円から、契約金額5千545万500円に変更しようとするものであります。

変更する工種内容であります。仮設道路用の被覆石、これは約500km内外でございますが、の購入及び施工であります。

同仮設道路につきましては、次回のP3橋脚工事の際にも引き続き使用するため、被覆石により流出防止等の保護をする必要があるためであります。

以上が議案第51号、議決内容の一部変更についての説明であります。ご審議よろしくお願いたします。

(長井聰助役降壇)

○ 議長 仲地宗市

これで、提案理由の説明を終わりました。

これから質疑を行います。

○ 議長 仲地宗市

11番内間久栄議員。

○ 11番 内間久栄議員

議案第51号は議決内容の一部変更についてですけど、提案理由として、橋桁P4の工事について、工事内容を一部変更する必要があるとなっておりますけれども、この図面を見た範囲内では、その内容がわかりませんので、具体的な説明をお願いします。

○ 議長 仲地宗市

神里稔建設課長。

○ 建設課長 神里稔

お答えいたします。この図面ございますけれど、向かって右側、町道奥武島1号線1号橋P4橋脚、丸で囲った部分がありますけれど、これにつきまして、橋脚部分の工事は既に終わっております。それで、先ほども提案がありましたように、次回P3、表示はしていないんですけど、左手、左の方ですね、今丸したところの、30mの水道がございますけれども、そちらの方に次年度、P3の橋脚を施工するわけがございますけれども、その際、現在つかっている仮設道路をそのまま使用します。そのためにすべりだし防止とか、これを防ぐために500km内外の被覆石でそこを被覆して、流出防止をするということでの内容でございます。

○ 議長 仲地宗市

他に質疑ございませんか。

○ 議長 仲地宗市

質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

まず、原案に反対者の発言を許します。

○ 議長 仲地宗市

次に、原案に賛成者の発言を許します。

○ 議長 仲地宗市

これで討論を終わります。

これから議案第51号、議決内容の一部変更について（町道奥武島1号線1号橋（P4橋脚）工事請負契約）を採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（挙手多数）

○ 議長 仲地宗市

挙手多数です。従って、議案第51号、議決

内容の一部変更について（町道奥武島1号線1号橋（P4橋脚）工事請負契約）は、原案のとおり可決されました。

**日程第12 議決内容の一部変更について
（町道奥武島1号線1号橋（A1、P2橋脚）工事請負契約）**

○ 議長 仲地宗市

日程第12、議案第52号、議決内容の一部変更について（町道奥武島1号線1号橋（A1、P2橋脚）工事請負契約）について、本案の提案理由の説明を求めます。

長井聰助役。

（長井聰助役登壇）

○ 助役 長井聰

議案第52号、議決内容の一部変更についてのご説明を申し上げます。

平成16年第1回久米島町議会定例会で、議案第33号として議決を賜りました町道奥武島1号線1号橋（A1、P2橋脚）工事請負契約に係る議決内容、契約金額4千987万5千円を、請負金額5千44万3千50円に変更しようとするものであります。

変更する工種内容でございますが、仮設材、これは矢板ですが、これの撤去及び後処理でございます。同仮設材は、次回のP3橋脚工事の際にも接ぎ溶接を行い、仮閉切りに使用するため、次回使用できるような状態にしておく必要があるためでございます。

以上が議案第52号、議決内容の一部変更についての説明であります。ご審議よろしくお願いたします。

（長井聰助役降壇）

○ 議長 仲地宗市

これで、提案理由の説明を終わりました。

これから質疑を行います。

○ 議長 仲地宗市

休憩します。(午後 1時46分)

○ 議長 仲地宗市

再開します。(午後 1時47分)

○ 議長 仲地宗市

他に質疑ございませんか。

○ 議長 仲地宗市

質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

まず、原案に反対者の発言を許します。

○ 議長 仲地宗市

次に、原案に賛成者の発言を許します。

○ 議長 仲地宗市

これで討論を終わります。

これから議案第52号、議決内容の一部変更について(町道奥武島1号線1号橋(A1、P2橋脚)工事請負契約)を採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手多数)

○ 議長 仲地宗市

挙手多数です。従って、議案第52号、議決内容の一部変更について(町道奥武島1号線1号橋(A1、P2橋脚)工事請負契約)は、原案のとおり可決されました。

**日程第13 平成16年度久米島町一般会計
補正予算(第3号)について**

○ 議長 仲地宗市

日程第13、議案第53号、平成16年度久米島町一般会計補正予算(第3号)について。

本案の提案理由の説明を求めます。

長井聰助役。

(長井聰助役登壇)

○ 助役 長井聰

議案第53号、平成16年度久米島町一般会計補正予算(第3号)についてご説明申し上げます。

歳入歳出予算でございますが、既決予算額に3千160万円を追加し、歳入歳出の総額を歳入歳出それぞれ70億9千981万4千円と定めるものであります。

次、2ページをお開きください。歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額及び補正後の歳入歳出予算の金額は、2ページに掲げてあります「第1表歳入歳出予算補正」のとおりであります。ご説明申し上げます。

次、6ページをお開きください。地方債の補正でございますが、今回、沖縄県振興資金を2千200万円増額いたしまして、補正後の限度額を6千250万円にしております。そして、臨時財政特例債を580万円増額いたしまして、3億580万円にしております。これによりまして、補正後の限度額は8億5千30万円となっております。

起債の方法、利率、償還の方法につきましては掲げてあるとおりであります。

ここで一つ訂正をお願いいたします。借入時期でございますが、平成15年となっておりますが、16年に訂正をお願いいたします。

18款繰入金でございますが、今回、財政調整基金から380万円の繰り入れを予定しております。町債でございますが、先ほどご説明致しましたとおり、農林水産債、これは沖縄県の振興資金でございますが、2千200万円を増額予定しております。これは充当先は泊のフィッシャリーナの駐艇場の工事に充当する予定でございます。臨時財政対策債が580万

円受入してございます。

歳出のご説明を申し上げます。今回の補正で歳入の起債がございしますが、これは当初、泊のフィッシャリーナの工事を特定防衛施設周辺整備交付金で充当を予定しておりました。これが国と調整している段階の中で、フィッシャリーナ事業には充当できないという国からの指導がありまして、このフィッシャリーナの事業を起債で県の振興資金で充当して実施しようとするものでございます。

なお、この特定防衛施設周辺調整交付金でございしますが、これまでフィッシャリーナに充当していた分でございますが、歳出をご覧ください。その分はまず、委託料といたしまして、宇江城地域の会館実施設計委託料、これは公民館の実実施設計の委託料です。その方に402万4千円充当いたします。宇江城地区と表現されていますが、宇江城14号線、これは立神の駐車場、そしてトイレ、東屋がある地域ですが、そこまでの間の農道の工事をしようということで充当してございます。

更には儀間の12号線工事に充当するということで、2千497万6千円、この分が特定防衛施設周辺調整交付金の充当でございます。

以上が議案第53号、平成16年度久米島町一般会計補正予算（第3号）の説明でございます。ご審議よろしくお願いいたします。

（長井聰助役降壇）

○ 議長 仲地宗市

これで、提案理由の説明を終わりました。
これから質疑を行います。

11番内間久栄議員。

○ 11番 内間久栄議員

今回の補正で、収入は財政調整基金を取り崩して、歳出では道路工事ということで組ま

れているんですけれども、さっきの16日の議会でも話したんですけど、交付税が5億円ぐらい補正がありながら、その補正をしないで地方債を取り崩してやるということは、何かそこに理由があるんじゃないかと考えられます。地方自治法でも予算、質疑の原則ということで、一般会計予算年度における一切の収入及び支出は全てこれを歳入歳出予算に編入しなければならないと、こういうことでうたわれております。そういうことがあるのに、今回、地方債を取り崩してやっているんですけれど、そこに何か理由があるのかご説明お願いします。

○ 議長 仲地宗市

山城保雄企画財政課長。

○ 企画財政課長 山城保雄君

前の2号補正の時にも申し上げましたけれども、12月で交付税の増額分についてはやりたいというふうに考えております。基金についても取り崩しているものを、この2号補正では戻しもしておりますので、その中で財源が足りない部分は、そういう基金からの取り崩して財源を充当するというので、今回こういうふうに予算が国庫から起債に変わりましたので、その分の一般財源の不足分は基金からもってくるということでありまして。

○ 議長 仲地宗市

11番内間久栄議員。

○ 11番 内間久栄議員

今回の補正予算は理解に苦しむんですけれど、以上で私の質疑を終わります。

○ 議長 仲地宗市

1番山城宗太郎議員。

○ 1番 山城宗太郎議員

8ページの歳出の工事請負費、この宇江城

地区というのは、14号線でよろしいかどうか。

○ 議長 仲地宗市

神里稔建設課長。

○ 建設課長 神里稔

はい、そのとおりでございます。

○ 議長 仲地宗市

2番翁長英夫議員。

○ 2番 翁長英夫議員

ただいま1番議員からも質問がありましたのに関連しますが、この14号線の補修工事というふうに今説明されましたが、距離にして何メートルぐらいあるんですか。

○ 議長 仲地宗市

神里稔建設課長。

○ 建設課長 神里稔

現在、1期分で計画しているのは、宇江城基幹農道から下の方の約350mを予定しております。

○ 議長 仲地宗市

2番翁長英夫議員。

○ 2番 翁長英夫議員

これに関連しますが、基幹農道から部落の方に線が続いていますが、これはどのように考えていますか。

○ 議長 仲地宗市

神里稔建設課長。

○ 建設課長 神里稔

上の方につきましては、臨時交付金で対応できるか今検討しているところでございます。

○ 議長 仲地宗市

他に質疑ありませんか。

(「進行」の声あり)

○ 議長 仲地宗市

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

まず、原案に反対者の発言を許します。

○ 議長 仲地宗市

次に、原案に賛成者の発言を許します。

○ 議長 仲地宗市

これで討論を終わります。

これから議案第53号、平成16年度久米島町一般会計予算(第3号)についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手多数)

○ 議長 仲地宗市

挙手多数です。従って、議案第53号、平成16年度久米島町一般会計予算(第3号)については、原案のとおり可決されました。

日程第14 平成15年度株式会社オーランドの経営状況報告について

○ 議長 仲地宗市

日程第14、報告第5号、平成15年度株式会社オーランドの経営状況報告について。

提案理由の説明を求めます。

高里久三町長。

(高里久三町長登壇)

○ 町長 高里久三君

報告第5号、平成15年度株式会社オーランドの経営状況報告について。

地方自治法第243条3第2項の規定により、平成15年度株式会社オーランドの経営状況報告を別冊のとおり報告します。

平成16年9月28日 久米島町長 高里久三
決算報告。平成15年の8月20日から平成16年3月31日までの間になっております。この間は全くオーランドの営業はしておりませ

ん。設立に向けての準備ということになっております。

ページを開けまして、貸借対照表、平成16年度3月31日現在ということです。流動資産が現金預金、それから未収入金、仮払金、開業払金でトータルで1億3千286万640円、これが資産の分になっております。

負債の部で、未払金、それから開業仮受金、それから預り金で4千986万7円になっております。この開業借受金というのは町からの補助金を一応仮に受けておいて、次の17年度の決算で各項目毎に内訳をしていくということで、仮に受けております。

それから、資本が8千300万円、当期剰余金633円になります。これは利息の分だと思えます。資本と負債の合計が1億3千286万640円で、資産の部、負債の部、資本の部の状況になっております。

損益計算書を開けまして、全く営業なしということで、全て開業費で今年度で処理するというので、向こうの仮受金の中で処理しております。そこで損益計算書としては、営業外利益として預金の633円が営業外収益として計上してあります。これが当期利益633円、当期末処分633円でございます。

以上、報告をします。よろしく申し上げます。

(高里久三町長降壇)

○ 議長 仲地宗市

これで報告を終わります。

これから質疑を行います。

○ 議長 仲地宗市

質疑ありませんか。

9番平田勉議員。

○ 9番 平田勉議員

1点だけ教えてください。15年度の決算書の中で、有価証券の部分で1千755万円ですか、あと一つ、出資金による権利ということで、4千750万円というのがありますね。先ほどの提案説明の中で、開業仮受金の部分が町からの補助金の部分を仮受金でという話があったんですけども、このへんの計算書で言っていた部分というのはトータルで6千500万円ぐらいになりますよね。この有価証券の部分は資本金の部分に入っていくのかですね。でしたら、ここでいう開業仮受というのは4千259万円という話なんですけれども、資本金による権利という部分では4千750万円という分で、このへんの町から出していった分の向こうでの分かれ方の部分ですね、もうちょっと計算書で比較して数字がちょっと理解できないものですから、教えてください。

○ 議長 仲地宗市

休憩します。(午後 2時11分)

○ 議長 仲地宗市

再開します。(午後 2時27分)

○ 議長 仲地宗市

高里久三町長。

○ 町長 高里久三

平田議員の質問にお答えします。開業仮払金4千295万5千379円、これは仮に支払っておくと。そこで負債の部のところで3千518万円、これが町からの分、この差額643万7千379円は別のものの分の年で仮受をしておくということでもあります。

それから、指摘のあったさっきの資本金については、8千300万円の中に全部含まれております。

○ 議長 仲地宗市

他に質疑ありませんか。

○ 議長 仲地宗市

これで報告第5号、平成15年度株式会社オーランドの経営状況報告を終わります。

**日程第15 地域高規格道路・南部東道路
の早期実現に関する要請決議**

○ 議長 仲地宗市

日程第15、発議第8号、地域高規格道路・南部東道路の早期実現に関する要請決議について。

本案の提案者の説明を求めます。

1 番山城宗太郎議員。

(山城宗太郎議員登壇)

○ 1 番 山城宗太郎議員

発議第8号 平成16年9月30日

久米島町議会議長 仲地宗市殿

提出者 久米島町議会議員 山城宗太郎

賛成者 久米島町議会議員 大田哲也

地域高規格道路・南部東道路の

早期実現に関する要請決議

記

上記の議案を別紙のとおり、会議規則第14条の規定により提出します。

提案理由

南部地区の観光産業の振興と経済活動の活性化及び市町村合併における地域間の一体化の促進のため、本案を提出する。

地域高規格道路・南部東道路の

早期実現に関する要請決議

沖縄本島南部の東部地域から那覇空港や那覇市内までは25km余もあり、距離的あるいは時間的にも遠距離にあり、通勤通学や経済活動等に不利不便を余儀なくされている地域であります。

これらの地域の知念村、玉城村、佐敷町一

帯から、那覇市内や那覇空港への道路網は国道329号や331号が主要幹線道となっておりますが、当該路線が与那原町及び南風原町を経由する迂回性を伴っており、時間的距離が長く、経済活動にも不利益を被っているところであります。

その解決策として、現在、事業が進められている那覇空港自動車道へのアクセス道路として、那覇空港や那覇市内を結び、さらに中北部地域への連絡道路として重要な役割を果たす南部東道路の整備が必要であります。

特に近年、知念村の安座間サンサンビーチの開設をはじめ、知念海洋レジャーセンターや世界遺産、斎場御嶽、菓草農園、滞在型保養施設等の観光レジャー施設が点在しており、各施設を有機的に連結することにより、南部地域の観光産業の振興と活性化に大きな効果が期待されます。

また、当該地域は、東部側4町村と中央部4町村において、各々市町村合併の法定協議会を設置し、合併に向けての取り組みが進められているところであります。市町村合併において、それぞれの市町村間の円滑な交流が図られ、一体化を形成することが最も重要であり、南部東道路はその役割を果たす道路であるものと確信するものであります。

広域幹線道路網である地域高規格道路・南部東道路は、観光施設の有機的連携による観光産業の振興や都市部と農村部との人的、物的交流機能の強化、経済活動の活性化、更には市町村合併における地域間の一体化の促進など、各面に渡り大きな効果が発揮されるものと期待を寄せるものであります。

つきましては、道路整備の推進を図るために、道路特定財源は全ての道路整備に充当す

ることや、三位一体改革という中で、道路整備補助金等の財源確保を図っていただきまして、現在、整備区間に指定されている地域高規格道路・南部東道路の早期実現方について、特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

以上、決議する。

平成16年3月30日

沖縄県島尻郡久米島町議会

あて先

内閣府沖縄及び北方対策担当大臣

国土交通大臣 沖縄総合事務局長

沖縄県知事

日付の方の訂正をいたします。平成16年3月30日を平成16年9月30日に訂正いたします。

(山城宗太郎議員降壇)

○ 議長 仲地宗市

これで提案理由の説明を終わります。

これから討論を行います。

まず最初に、原案に反対者の発言を許します。

○ 議長 仲地宗市

次に、原案に賛成者の発言を許します。

○ 議長 仲地宗市

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから発議第8号、地域高規格道路・南部東道路の早期実現に関する要請決議についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手多数)

○ 議長 仲地宗市

挙手多数です。従って、発議第8号、地域

高規格道路・南部東道路の早期実現に関する要請決議については、原案のとおり採決されました。

日程第16 農林水産関係補助金廃止に反対する意見書

○ 議長 仲地宗市

日程第16、発議第9号、農林水産関係補助金廃止に反対する意見書について。

本案の提案者の説明を求めます。

13番真栄平勝政議員

(真栄平勝政議員登壇)

○ 13番 真栄平勝政議員

発議第9号

久米島町議会議長 仲地宗市殿

提出者 久米島町議会議員 真栄平勝政

賛成者 久米島町議会議員 上里総功

農林水産関係補助金廃止に反対する意見書

上記の議案を別紙のとおり、会議規則第14条の規定により提出します。

提案理由

財政基盤が脆弱な本町において、本町の基幹産業である農林水産業の更なる振興発展を期するためには、国の各種補助事業の導入が不可欠であるので、本案を提出する。

農林水産関係補助金廃止に反対する意見書

久米島町は、沖縄本島那覇市の西方約100kmの東シナ海に位置する。久米島本島と周辺の奥武島、オーハ島と美しい海浜に囲まれた島々からなる人口9千511名の町です。

本町の産業は農業、漁業を基軸としており、サトウキビを中心に肉用牛、サヤインゲン、ゴーヤ等の野菜、電照菊等の花卉類、葉たばこが生産され、経営の複合化が進んでおります。他に柑橘類及びマンゴー等の熱帯果樹も

栽培され、作物の多様化も進んでいます。

また、周辺海域に好漁場を有しており、通年をとおして漁業は盛んであり、近年ではクルマエビを代表として育てる漁業にも力を入れているところです。

こうした多用な農業、漁業の展開に向け、本町では灌漑排水施設、草地造成や共同利用施設、クルマエビ種苗供給施設等の整備を進めております。

引き続き農業、漁業の基盤づくりに着実に取り組んでいくためには、今後とも各種補助事業の導入が不可欠であります。

しかしながら、現在、検討が進められている三位一体改革においては、農林水産関係の補助金についても廃止が検討されております。補助金を廃止し、財源移譲を行ったとしても、そもそも財源に乏しい農産漁村においては、財政基盤の悪化が懸念されます。また、地方交付税による措置についても、現在の議論からすれば、必ずしも当町に手当てされる保証はありません。

仮に、こうした方法で改革が進められた場合、今後、本町の財政基盤が悪影響が及び、今後の農業、漁業の振興施策の実施に著しく支障を来すことが強く懸念されます。

こうしたことから、今後の農林水産関係の補助金のあり方については、廃止ではなく、地方の裁量、自治性を大幅に拡大することこそが重要と考えます。

本町では、今後とも本町の基幹産業であり、地域社会の維持に向けた農業、漁業の振興に万全を期す所存でありますので、政府においても三位一体改革の実施にあたっては、農林水産関係補助金を廃止しないよう強く要請いたします。

以上、決議します。

平成16年9月30日

沖縄県島尻郡久米島町議会

あて先

内閣総理大臣 内閣官房長官 総務大臣
財務大臣 農林水産大臣

(真栄平勝政降壇)

○ 議長 仲地宗市

これで提案理由の説明を終わります。

これから討論を行います。

まず最初に、原案に反対者の発言を許します。

○ 議長 仲地宗市

次に、原案に賛成者の発言を許します。

○ 議長 仲地宗市

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから発議第9号、農林水産関係補助金廃止に反対する意見書についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手多数)

○ 議長 仲地宗市

挙手多数です。従って、発議第9号、農林水産関係補助金廃止に反対する意見書については、原案のとおり採択されました。

○ 議長 仲地宗市

平成16年第4回久米島町議会定例会に提案されました議案は、全て終了しました。

9月18日から9月30日までの長期にわたりました今定例会は、全議員、そして執行部側のご協力で無事終了することができましたことを感謝申し上げます。

これで平成16年第4回久米島町議会定例会

を閉会します。

(午後 2時27分 閉会)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

久米島町議会議長 仲地 宗市

署名議員（議席番号2番） 翁 長 英 夫

署名議員（議席番号3番） 宮 里 洋 一